

# 登別市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

平成26年5月

登別市



## はじめに

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て関連3法」が平成24年8月に成立し、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年4月から始まります。

この新制度では、安心して子どもを産み育てられる環境を整備していくために「質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供」や「地域における子育て支援の充実」、「保育の量的拡大」を図る必要があることから、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを把握し、適切なサービスの確保を行うことを目的とした「子ども・子育て支援事業計画」を各自治体は策定していくこととしています。

このため、当市における「登別市子ども・子育て支援事業計画」（以下 事業計画）を策定するにあたり、平成25年11月にアンケート形式によるニーズ調査を実施し、この度、「登別市子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」としてとりまとめました。

今後につきましては、「登別市子ども・子育て会議条例」に基づき設置する「登別市子ども・子育て会議」において、報告書を基に事業計画を審議してまいります。

なお、今回の調査報告書につきましては、市ホームページに掲載するとともに市役所や各支所、市民会館、図書館、市民活動センター、子育て支援センターで閲覧することができます。



# 目 次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査実施の目的 .....	3
2. 調査の種類 .....	3
3. 調査方法と回収状況 .....	3
4. 調査項目 .....	3
5. 調査結果を見る上での注意事項 .....	4
6. 居住区域の説明 .....	4
7. 用語の説明 .....	4
<b>第2章 調査結果の概要</b> .....	5
1. 就学前児童調査 .....	7
2. 小学生調査 .....	12
<b>第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）</b> .....	15
1. 基本属性 .....	17
(1) 居住地区 .....	17
(2) 学齢 .....	17
(3) 子どもの人数 .....	17
(4) 調査票回答者 .....	18
(5) 回答者の年代 .....	18
(6) 回答者との配偶関係 .....	18
(7) 子どもの身の回りの世話をを行う方 .....	19
2. 子どもの育ち環境 .....	20
(1) 子どもを預かってもらえる親族や知人の有無 .....	20
(2) 預かりの状況 .....	21
(3) 子育てについて気軽に相談できる人の有無 .....	22
(4) 相談相手 .....	23
(5) 子育てについて気軽に相談できる場所の有無 .....	24
(6) 相談先 .....	25
(7) 子育てをする上であればよいと思うサポート（自由記述） .....	26
3. 子どもの保護者の就労状況 .....	27
(1) 母親の就労状況 .....	27
(2) フルタイム勤務の希望（母親） .....	29
(3) 就労希望（母親） .....	31
(4) 父親の就労状況 .....	34
(5) フルタイム勤務の希望（父親） .....	35
(6) 就労希望（父親） .....	36
4. 子どもを妊娠、出産した時の状況 .....	37

(1) 育児休業の取得状況	37
(2) 母親の出産前後の離職状況	38
(3) 就労継続のために必要な環境	39
5. 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況	40
(1) 幼稚園・保育所などの利用状況	40
(2) 定期的に利用している事業等（平日）	42
(3) 利用している事業等の実施地域	48
(4) 平日定期的な事業等を利用していない理由	49
(5) 定期的に利用したい事業等	50
(6) 利用したい幼稚園・保育所事業等の実施地域	52
6. 土・日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望	53
(1) 土・日・祝日の幼稚園・保育所などの利用希望	53
(2) 幼稚園・保育所などを不定期に利用したい理由（土、日・祝）	55
(3) 長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望	56
(4) 幼稚園・保育所などを不定期に利用したい理由（長期休暇中）	57
7. 子どもの病気の際の対応	58
(1) 病気等で幼稚園・保育所などを利用できなかった経験	58
(2) 病児・病後児保育の利用意向と希望状況	60
(3) 子どもが病気の際に仕事を休んで看たい意向と希望日数	61
8. 一時預かり等の利用状況	62
(1) 一時預かり等の事業の利用状況	62
(2) 私用目的で不定期に利用したい事業	64
(3) 家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去1年間）とその対応	66
9. 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況	68
(1) 市の子育て支援センターや子育てひろばの利用状況および利用意向	68
(2) 子育て支援センターや子育てひろばを利用していない／利用希望がない理由	70
(3) 知っている、利用経験のある事業等	71
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方	72
(1) 小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所	72
(2) 土日祝、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望	74
(3) 療育専門機関による放課後保育の利用意向（障がい児等）	75
(4) 放課後を安心して過ごすために必要な支援（障がい児等）	76
11. 子育て支援全般	77
(1) 子育てをされていて感じること	77
(2) 市の子育てのしやすさとその理由	78
(3) 以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由	79
(4) 市に望む子育て支援策	80
(5) 自由記述	82

1. 基本属性	89
(1) 居住地区	89
(2) 子どもの学年	89
(3) 子どもの人数	89
(4) 調査票回答者	90
(5) 回答者の年代	90
(6) 回答者との配偶関係	90
(7) 子どもの身の回りの世話をを行う方	91
2. 放課後の過ごし方	92
(1) 放課後を過ごしている場所の現状と希望	92
(2) 放課後の療育専門機関の利用意向（障がい児等）	93
(3) 放課後を安心して過ごすために必要な場所やサポート（自由記述）	94
3. 放課後児童クラブの利用希望	95
(1) 放課後児童クラブの利用希望	95
4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用	100
(1) 家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去1年間）とその対応	100
5. 病気の際の対応	102
(1) 病気等で小学校に通学できず特別な対応をとる必要性の発生状況	102
(2) 病児・病後児保育事業の利用意向と希望	104
(3) 仕事を休んでの看病意向と希望日数	105
6. 子育て支援全般	106
(1) 子育てをされていて感じる事	106
(2) 市の子育てのしやすさとその理由	107
(3) 以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由	108
(4) 市に望む子育て支援策	109
(5) 子育て支援に関する意見・要望（自由記述）	111
<b>第5章 調査票</b>	<b>117</b>
就学前児童調査票	119
就学前児童用語説明	131
小学生調査票	133
小学生用語説明	137





# 第1章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

登別市では、新たに「子ども・子育て支援事業計画」を作成するため、就学前児童や小学生を持つ保護者を対象に、教育・保育について日頃の考えていることや、子育てに関する支援サービスの利用状況や今後の希望などを伺い、計画に反映させることを目的に調査を実施した。

## 2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 就学前児童調査	(H19. 4. 2以降生まれ) 市内在住の小学校就学前の保護者
2. 小学生調査	(H13. 4. 2～H19. 4. 1生まれ) 市内在住の小学生の保護者

## 3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成25年11月3日（日）～11月25日（月）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 就学前児童調査	1,000件	654件	65.4%
2. 小学生調査	1,200件	734件	61.2%
合 計	2,200件	1,388件	63.1%

## 4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 就学前児童調査	1. 子どもと家族の状況 2. 子どもの育ち環境 3. 子どもの保護者の就労状況 4. 子どもを妊娠・出産した時の状況 5. 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況 6. 土・日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望 7. 子どもの病気の際の対応 8. 一時預かり等の利用状況 9. 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方 11. 子育て支援全般 12. 自由記述
2. 小学生調査	1. 子どもと家族の状況 2. 放課後の過ごし方 3. 放課後児童クラブの利用希望 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用 5. 病気の際の対応 6. 子育て支援全般 7. 自由記述

## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示している。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示している。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

## 6. 居住区域の説明

報告書内で用いられている居住区域は以下の町名で構成される。

地 区	町 名
登別温泉・ カルルス地区	カルルス町、登別温泉町、上登別町
登別・富浦地区	登別本町、登別港町、登別東町、富浦町、中登別町
幌別地区	幌別町、幸町、新栄町、大和町、中央町、常盤町、柏木町、片倉町、 新川町、富士町、千歳町、来馬町、札内町、青葉町、緑町、桜木町、 鉦山町、川上町
富岸・若山地区	富岸町、若山町
若草・新生地区	若草町、新生町
鷺別・美園地区	鷺別町、栄町、美園町、上鷺別町

## 7. 用語の説明

報告書内で用いられている用語については、131 p（就学前児童）、137 p（小学生）を参照

## 第2章 調査結果の概要



## 1. 就学前児童調査

### (1) 基本属性 (17~19ページ)

- 居住地域は「幌別地区」が43.9%、「鷺別・美園地区」が22.0%、「若草・新生地区」(14.1%)と「富岸・若山地区」(12.4%)が1割台となっている。なお、これは調査票発送時の各地区の割合とほぼ同じである。
- 子どもの年齢は「5歳児」が最も多く23.7%、続いて「4歳児」が17.7%となっており、「0歳児」～「3歳児」は、ほぼ同じ割合、子どもの人数は、「1人」が49.5%と約過半数を占め、「2人」が37.3%でこの2つで86.8%となる。子どもが3人以上いる世帯は13.1%となっている。
- 調査票の回答者は「母親」が92.4%と大部分を占め、回答した保護者の年代は約90%が20代から30代、配偶関係は「配偶者がいる」が93.7%と大部分を占める。
- 子どもの身の回りの世話をを行う人は、「主に母親」が51.1%で最も多く、「父母ともに」は46.9%となっている。

#### 【ポイント】

現在、市内の就学前児童数は、約2,000人であるが年々減少傾向にあり、5年後には約1,800人、10年後には約1,600人程度となることが見込まれる。

### (2) 子どもの育ち環境 (20~26ページ)

- 子どもを預かってもらえる親族や知人がいる方は約8割と多い。預かりの状況については、「緊急時もしくは用事の際」(66.3%)あるいは「日常的に」(40.5%)祖父母等の親族に預かってもらえる状況である。一方、子どもを預けられる友人・知人は「緊急時もしくは用事の際」(13.5%)は1割程度、「日常的に」(2.9%)は1割未満となり、やはり友人・知人よりも祖父母等の親族に預けている傾向が高い。なお、子どもを預かってもらう時の状況としては、「特に問題はない」と答えている方が半数を超えるが、友人・知人に子どもを預けることを心苦しいと感じている人は親族に預ける場合の倍となっている。
- なお、日常的に預かってもらえる人の存在は登別・富浦地区で9割近くと特に多く、相談先としても親族とともに友人・知人が9割に達し、近所の人も1割程度みられるなど、地域ぐるみの子育て支援が行われている様子も伺える。
- 子育てについて気軽に相談できる人がいる人は96%となり、大部分の方が相談できる人がいると答えている。相談相手には祖父母等や家族、親族(93.5%)と友人・知人(79.1%)が多くあげられている。一方、子育てについて気軽に相談できる場所があると答えた人は55.7%、相談先としては子育て支援センターの44.5%が最も多くなっている。

#### 【ポイント】

子育てをする上であればよいと思うサポートとして緊急時に預けられる場所とともに、情報、相談場所、子育て支援センターや市の窓口といった情報提供や相談に関するサポートを挙げる人も多く、身近な親族・知人以外の専門性、継続性を持ったサポート機関の充実が求められている。

### (3) 子どもの保護者の就労状況 (27~36ページ)

- 父親の就労状況としては93.2%と大部分がフルタイムとなっている。
- 母親の就労状況としては、フルタイムが約2割、パート・アルバイトが約2割、未就労が5割強となっている。
- 就労状況に地区別の違いはみられないが、年齢区分別にみると、年齢が高くなるにつれてフルタイムやパート・アルバイトで就労している割合が多い傾向となっている。
- パート・アルバイトで就労している母親のうち、約6割はそのままパート・アルバイトの就労意向を示しているが、1割弱はフルタイム勤務への転換見込みを示している。また、未就労者では約3割が1年以内の就労意向を示している。

#### 【ポイント】

父親、母親それぞれの就労状況を見ると、父フルタイム×母パート・アルバイトという形態を希望している家庭が増加することが見込まれる。今後、このパート・アルバイト就労意向の増加が市内の保育・教育ニーズの増加につながる可能性がある。

### (4) 子どもを妊娠、出産した時の状況 (37~39ページ)

- 育児休業を取得したのは、母親が23.2%、父親では0.8%にとどまる。取得した人の取得期間は、母親が6か月未満、1年未満を合わせると約7割、父親は6か月未満が100%となっている。
- 母親の出産前後それぞれ1年以内の離職状況を見ると約半数が離職しており、出産1年前に既に働いていなかった人を含めると離職した人は約75%となっており、仕事と家庭の両立が難しいことが伺える。
- 就労継続のために必要な環境としては、職場において仕事と家庭の両立支援制度が整っていることや、保育所が確実に利用できることなどが意見として多くあげられている。その一方で約2割の人は「いずれにしても離職した」と答えており、家庭に専念したいと考えている人もいることが伺える。

#### 【ポイント】

育児休業の取得状況は十分とはいえず、特に父親は1%に満たないという状況である。一方で、家庭に専念したいという人も存在しており、それぞれの家庭のワーク・ライフ・バランスを尊重した取り組みが必要である。

### (5) 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況 (40~52ページ)

- 平日定期的に幼稚園や保育所を利用している人は64.8%と半数以上となっている。これは地区別にみても全ての地区において半数以上となり違いはない。年齢別では3歳児以上からは8割以上が利用している。
- 利用している事業としては、幼稚園が最も多く67.2%、続いて認可保育所が22.2%、幼稚園の預かり保育が12.7%となっており、保育所より幼稚園の利用が多い。年齢毎にみると3歳児以降は幼稚園の利用が7割以上となっている。地区別でみると、登別・富浦地区では保育所の利用が、幌別地区では幼稚園の利用が多い。また、利用希望としては、全体として幼稚園が多い中で登別・富浦地区では保育所の希望が多くなっている。
- 幼稚園の利用希望は現状と大きくはかわらないが、利用時間帯の8時、14時、15時の希望に増加がみられ、「あと1時間（早く／遅く）の預かりを希望する」といった傾向がみられる。



- 認可保育所の利用希望と現状では、現状は週5日、利用時間数は平均8.6時間だが、「あと1日、あと1時間利用したい」という傾向がみられる。特に利用時間帯としては約4割の人が18時台まで（現状では6.4%）の利用を希望している。
- 利用している事業の実施地域は市内が約7割、市外は約2割となっている。市外を利用している主な理由は「教育・保育の内容」（42.5%）が最も多く、続いて「勤務先がある」（20.5%）となっており、市内より市外の方が教育・保育の内容が充実していると感じている方や職場に近い施設を利用したいと考えている方がいることが伺える。
- 平日定期的な事業等を利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」が5割以上となっており、3歳くらいになったら利用したいと考えている人が多い。また「利用する必要がない」が37%、「利用したいが経済的な理由で利用できない」が13.7%となっている。
- 利用の有無にかかわらず利用したい事業は、「幼稚園」が70.2%と特に多く、続いて「幼稚園の預かり保育」が28.6%、「認可保育所」が27.5%となっている。現状と同様に、保育以上に教育が求められていることが伺える。また、利用したい幼稚園、保育所事業等の実施地域は、市内が約8割、市外が1割となり、利用の現状以上に市内での利用を希望する声は多くなっている。

#### 【ポイント】

保育・教育ニーズに関しては、母親のパート・アルバイト就労希望の増加に伴い、利用者も増加することが想定される。また、幼稚園、認可保育所、どちらもできればもう少し多く利用したいという要望にどう対応していくかがポイントとなる。また、希望としては市内の施設を利用したいと考える人が圧倒的に多く、その利便性とともな教育・保育の内容を確保していくことが課題である。

#### （6）土・日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望（53～57ページ）

- 土・日の幼稚園・保育所などの利用希望は、土曜日、日祝日ともに半数以上が「利用する必要はない」と答えている。利用したい人の状況では、土曜日は「ほぼ毎週利用したい」が11%、「月に1～2回利用したい」が25.8%、日祝日は「ほぼ毎週利用したい」が3.2%、「月に1～2回利用したい」が18.2%となっており、土曜日の不規則な利用希望が多い。なお利用したい理由としては、「月に数回仕事が入るため」、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」などがあげられている。
- 長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望は、「週に数回利用したい」が47.4%となり、土日以上に利用希望が多い。

#### 【ポイント】

土・日曜日にってはある程度定期的な利用意向がみられるが、利用したい理由を見ると必ずしも幼稚園・保育所である必要はないものもあげられているため、他の一時預かりサービスと合わせた検討が必要である。長期休暇中に関しては利用意向が半数近くと高くなっている。

#### （7）子どもの病気の際の対応（58～61ページ）

- この1年間に子どもが病気やけがで通常の幼稚園・保育所などが利用できなかったことがある人は6割以上となっている。その時の対処方法としては、母親を中心にどちらかが仕事を

休んで対処しているものが大部分を占めている。

- 父親または母親が休んだと答えた方について病児・病後児保育を利用したいと思った方は53.7%と半数を超えており、病気の際の対応ニーズは多い。利用したい事業は「保育所や幼稚園に併設した施設で子どもを預かる」、「小児科などに併設した施設で子どもを預かる」が主な事業となっている。

**【ポイント】**

病児・病後児保育のニーズは高く、子育て家庭にとっては確保してほしいサービスの一つといえる。一方でサービスの性質上、不定期の利用となるため提供体制の確保等の課題がある。

**(8) 一時預かり等の利用状況 (62~67ページ)**

- 一時預かり等を利用したことがある方は26.3%と少なく、利用しなかった方の方が7割以上と多い。主な利用した事業は「幼稚園の預かり保育」が70.3%と最も多く、ほとんどの場合で幼稚園の預かり保育を利用していることが伺える。利用しなかった理由は「特に利用する必要がない」が最も多い72.2%となっている。一方で「利用方法（手続き等）がわからない」といった意見もあげられている。

**【ポイント】**

幼稚園の預かり保育は大切なサービスとして認識されていることがわかる。一方、一時預かり等の事業について、「利用方法が分からない」との意見もあることから、サービスの周知、利用しやすさなどについての見直しも必要である。

**(9) 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況 (68~71ページ)**

- 市の子育て支援センターや子育てひろばを利用したことがある人は1割台、利用したことがない人が8割以上となっている。ただし、地区別で見るとその事業が設定されている地区の利用状況は比較的高くなっており、地域的な偏りを解消していくことを検討する必要がある。

**【ポイント】**

利用したことがない理由には、「時間がない」、「利便性（立地・時間・日数等）が悪く利用しづらい」といった意見とともに、「どのような事業があるかわからない」といった意見もあげられており、開設日数や開設時間の充実とともに、事業の周知不足への対応が必要である。

**(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方 (72~76ページ)**

- 放課後に過ごさせたい場所は「自宅」が最も多く77.4%、続いて「習い事（スポーツ、塾など）」が56.1%となっている。放課後児童クラブの利用意向は約4割となっている。
- また、土・日、祝日、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、土曜日、日祝日に関しては「利用希望はない」と答えた方が半数以上となっているが、長期休暇中になると「低学年（1年生~3年生）の間だけ利用したい」や「小学生の間はずっと利用したい」という回答が合わせて57.4%と半数を超え、長期休暇中の利用希望が高い。

**【ポイント】**

放課後児童クラブについては、小学校高学年時の利用希望が少なからずみられることから、これらを含めた確保策を検討する必要がある。

**(11) 子育て支援全般 (77~86ページ)**

- 登別市は子育てしやすいまちだと思える人は30.1%、しやすいとは思わないと思える人は38.2%、わからないという人は29.8%であった。また、5年前に比べてもあまり変わっていないや、わからないという意見が多く、市の子育て環境としてはあまり高い評価は得られていない。
- 登別市に望む子育て支援策としては「幼稚園・保育所の無償化」(60.4%)、「医療費の免除拡大」(51.1%)、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置」(39.8%)と続いている。また、この上位3項目は地区にかかわらず多くなっており市内の子育て家庭の要望として共通している。
- また、「妊婦検診費の無償化」(32.6%)、「病院の充実」(27.2%)も比較的多く、医療費の免除とともに医療体制の充実への要望として捉えられる。なお、これらの医療体制の充実については特に登別地区で多くなっている。
- 経済的支援、医療体制に続いて、「休日・雨天時の活動施設」が35.9%、「児童館の整備」が17.1%となっており、子どもの遊び場の充実という声が多くなっている。
- また、子育て支援に関する自由記述の中には、特に医療費助成(現状小学校入学前まで1割)、予防接種の減免、放課後児童クラブの利用料について「高い」という指摘が多くなっている。
- また、医療に関しては、医療機関、産婦人科、小児科がない、特に急な病気の対応に苦慮しているという声も多く記入されている。

**【ポイント】**

子育て支援施策要望としては、まず「経済的支援」(幼稚園・保育所の無償化、医療費の免除・妊婦検診費の無償化、及び生活品の割引・優遇)の充実が求められている。また、医療については費用面だけではなく、利用できる施設が足りないという声も多く、より広く「医療対応の充実」が求められている。そして、雨天や冬場の遊び場、身近な公園、児童館、放課後児童クラブといったキーワードで代表される「子どもの居場所づくり」に関する要望が多くなっている。

## 2. 小学生調査

### (1) 基本属性 (89~91ページ)

- 居住地域は「幌別地区」が42.4%、「鷺別・美園地区」(17.3%)、「若草・新生地区」(17.7%)、「富岸・若山地区」(14.9%)が1割台となっている。なお、これは調査票発送時の各地区の割合とほぼ同じである。
- 子どもの学年は、高学年になるにつれて多くなっている傾向があり、「4年生」～「6年生」が2割前後、「1年生」～「3年生」が1割台となっている。
- 子どもの人数は、「2人」が54.1%、「1人」が20.7%でこの2つで74.8%となる。子どもが3人以上いる世帯は25%となっている。
- 調査票の回答者は「母親」(90.9%)が大部分を占め、年代は「30代」が50.8%、「40代」が43.1%、配偶関係は「配偶者がいる」が87.3%と大部分を占める。
- 子どもの身の回りの世話をを行う人は、「主に母親」が51.5%で最も多く、「父母ともに」は43.6%となっている。

#### 【ポイント】

現在、市内の小学生の数は、約2,400人であるが、就学前児童数と同じく年々減少傾向にあり、5年後には約2,100人、10年後には約1,800人程度となることが見込まれる。

### (2) 放課後の過ごし方 (92~94ページ)

- 子どもが放課後を過ごす場所としては「自宅」が91.4%と多く、「習い事(スポーツ、塾など)」(79.8%)や「祖父母宅や友人・知人宅」(71.5%)も多くなっている。また、就学前児童の調査と比較すると、「児童館」(53.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(28.1%)の利用が特に大きくなっている。
- 一方、放課後児童クラブで過ごしている人は17.8%となり、就学前児童における利用希望の38.7%と比べると半数程度となっている。

#### 【ポイント】

児童館、放課後子ども教室、公園等の利用希望が高まっていることから、各施設における設備の充実が求められている。

### (3) 放課後児童クラブの利用希望 (95~99ページ)

- 現在、利用の有無にかかわらず、放課後児童クラブを利用したいと希望している方は、平日が29.6%、土曜日が21.4%、日祝日が14.7%、長期休暇中は40.7%と長期休暇中の利用希望が多い。
- 学年別にみると平日、土曜日、日祝日、長期休暇中いずれの場合についても学年が高学年になるにつれて利用希望は少なくなる。
- 利用したい時間帯をみると平日は「18時台」までが45.2%と最も多く、続いて「17時台」までが34.1%となっている。また「19時台」までの利用希望も10.1%となっている。土曜日、日祝日、長期休暇中ともに利用希望の時間帯が4割以上となっているのは、「8時台」～「17時台」となっており、「18時台」まで利用を希望している人は1割～2割程度となっている。

## 【ポイント】

放課後児童クラブの利用状況と利用意向をみると、現在利用している人17.8%に対して、利用希望は約30%となり倍増している。しかし、その内訳を見ると、平日「週4日以上利用したい」は14.6%、「週1～3日利用したい」が15.0%と2分していることがわかる。放課後児童クラブについては、週4日の定期的な利用希望は現状と同程度であり、単純なニーズの増加への対応よりもむしろ「週に何回か、不定期に利用したい」という意向への対応がポイントとなる。

## (4) 宿泊を伴う一時預かり等の利用 (100～101ページ)

- この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により子どもを家族以外に預けなければならなかったことがある人は約3割となっており、約7割の方は預けたことがなかったと答えている。預けたことがある方の対処方法としては、「親族・知人にみてもらった」と答えた方が約8割以上と、「仕方なく子どもを同行させた」や「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がともに約2割となっている。

## 【ポイント】

全体としては利用していない人が多いが、いざという時の安心感は地域の子育てのしやすさ全般にかかわる要素の一つととらえられる。

## (5) 病気の際の対応 (102～105ページ)

- この1年間に子どもが病気やケガのために学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性があった方は約4割となっている。対応の内容としては「母親が休んだ」(58.5%)、「親族・知人に預けた」(38.7%)が多くなっている。
- 父親または母親が休んだと答えた方の中で、病児・病後児保育を利用したいと希望している人は約4割となっている。利用したい事業は「小児科などに併設した施設で子どもを預かる」や「地域子育て支援拠点施設で子どもを預かる」が主な事業となっている。

## 【ポイント】

就学前児童における病児・病後児保育と同様、子育て家庭にとっては、確保してほしいサービスの一つといえるが、提供体制の確保等に課題がある。

## (6) 子育て支援全般 (106～116ページ)

- 登別市は子育てしやすいまちだと思うは33.7%、しやすいとは思わないは36.1%、わからないが29.3%となっており、子育てしにくいまちと思っている方が多い傾向となっている。また、5年前に比べてもあまり変わっていないや、わからないという意見が多く、就学前同様、市の子育て環境としてはあまり高い評価は得られていない。
- 登別市に望む子育て支援策としては「医療費の免除拡大」(65.1%)、「休日・雨天時の活動施

## 第2章 調査結果の概要

- 設」(50.7%)、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」(45.6%)と続いている。この上位3項目は地区にかかわらず多くなっており市内の子育て家庭の要望として共通している。
- 小学生の医療費の助成制度は通院の場合は対象となっていないことから、対象範囲の拡大を求める意見が多くあげられている。これらは子育て支援に関する自由記述の中でも、多くあげられている。
  - 「児童館の整備」(29.7%)も比較的多く、「休日・雨天時の活動施設」と合わせて、子どもの居場所づくりの充実という観点が求められている。
  - 子育て支援に関する自由記述の中でも、児童館の偏り、遠い、遊具が充実した公園がない、小学校の近くに児童館を、安心して遊べるところをとったものや、放課後児童クラブの受け入れを6年生までにして欲しい、放課後子ども教室をもっと増やして欲しいなどといった声が多く寄せられており、日中の子どもの居場所づくりが必要である。

### 【ポイント】

子育て支援策要望としては、就学前児童の場合とほぼ共通しており、「経済的支援」、「医療の充実」、「公園、遊び場、子どもの居場所」の3点に集約されている。

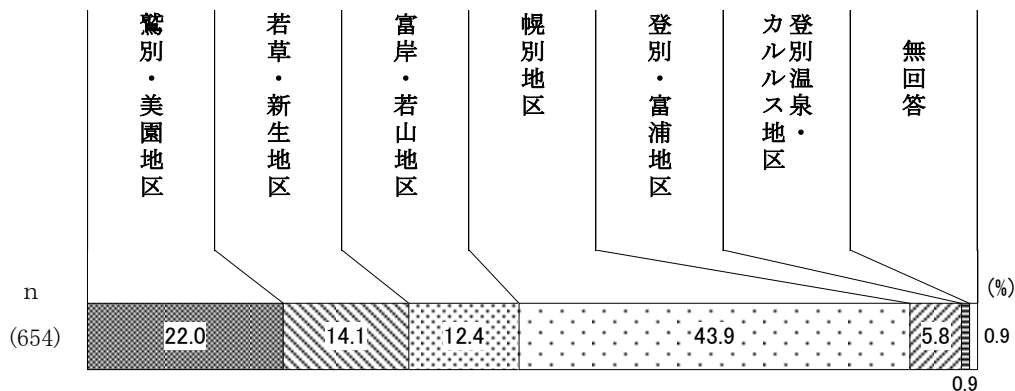
## 第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）





## 1. 基本属性

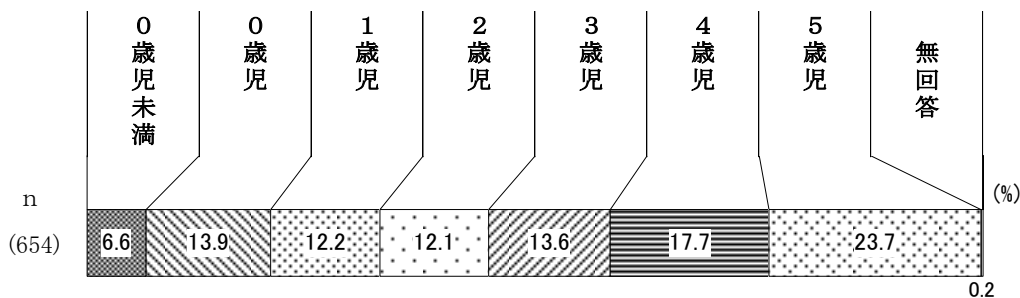
### (1) 居住地区



※各地区を構成する町名は4p参照

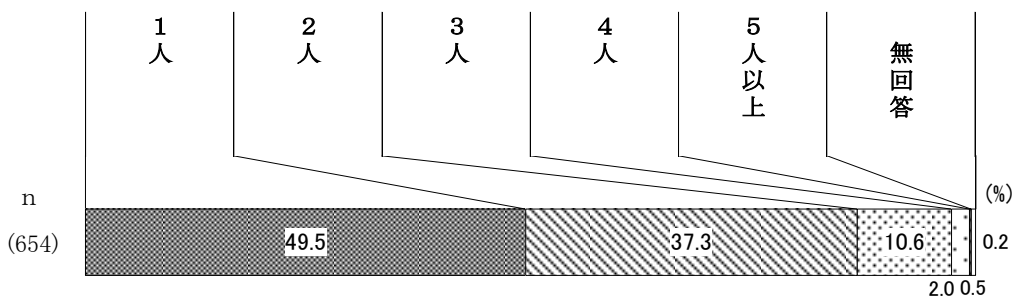
居住地域は、「幌別地区」が43.9%、「鷺別・美園地区」が22.0%となっている。

### (2) 年齢



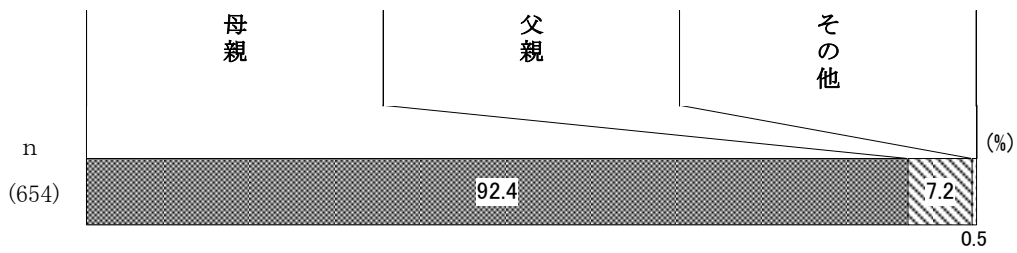
子どもの年齢は、「5歳児」が23.7%で最も多く、「0歳児」～「4歳児」が1割台となっている。

### (3) 子どもの人数



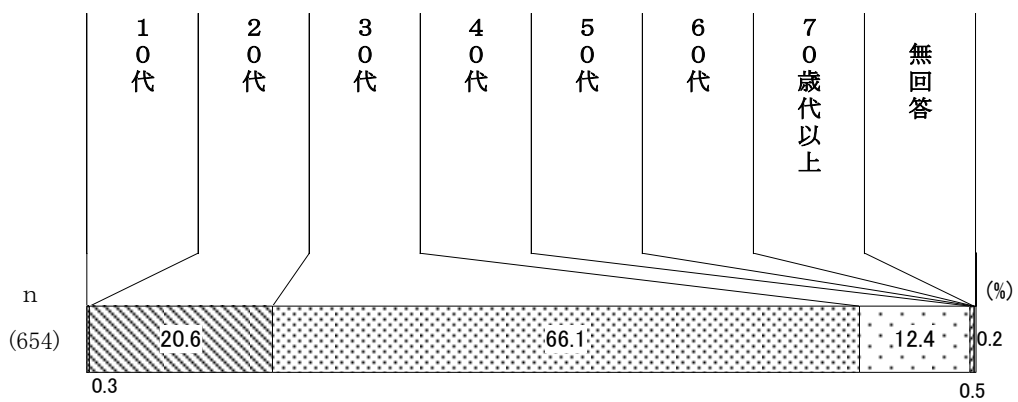
子どもの人数は、「1人」が49.5%と約半数を占め、「2人」が37.3%、「3人」が10.6%となっている。

（4）調査票回答者



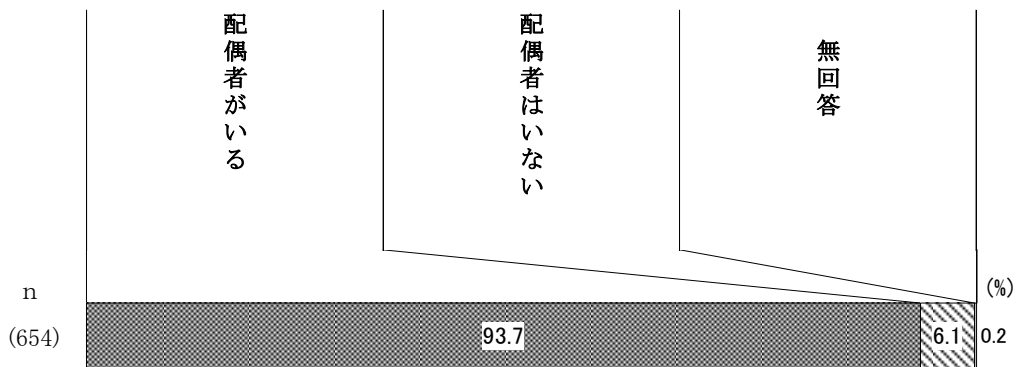
この調査への回答者は、「母親」が92.4%を占めている。

（5）回答者の年代



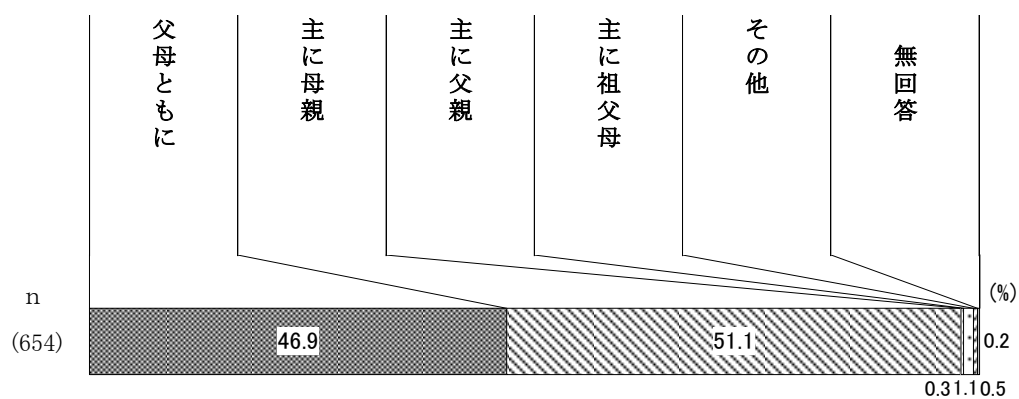
回答者の年代は、「30代」が66.1%で最も多く、「20代」が20.6%、40代が12.4%となっている。なお、60代、70歳代以上は回答者がいなかった。

（6）回答者との配偶関係



回答者との配偶関係は、「配偶者がいる」が93.7%を占め、「配偶者がいない」が6.1%となっている。

(7) 子どもの身の回りの世話をを行う方

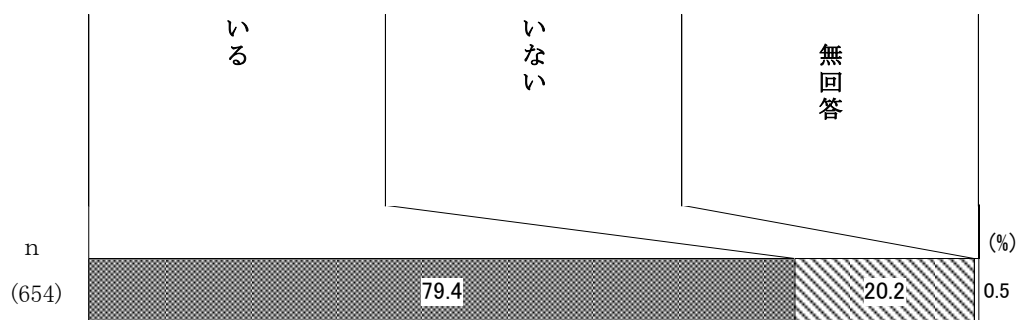


子どもの身の回りの世話は「主に母親」が51.1%で最も多く、「父母ともに」も46.9%と多くなっている。

## 2. 子どもの育ち環境

### （1）子どもを預かってもらえる親族や知人の有無

問8 日頃、お子さんを預かってもらえる親族や知人はいますか。



日頃、子どもを預かってもらえる親族や知人が「いる」は79.4%、「いない」は20.2%となっている。

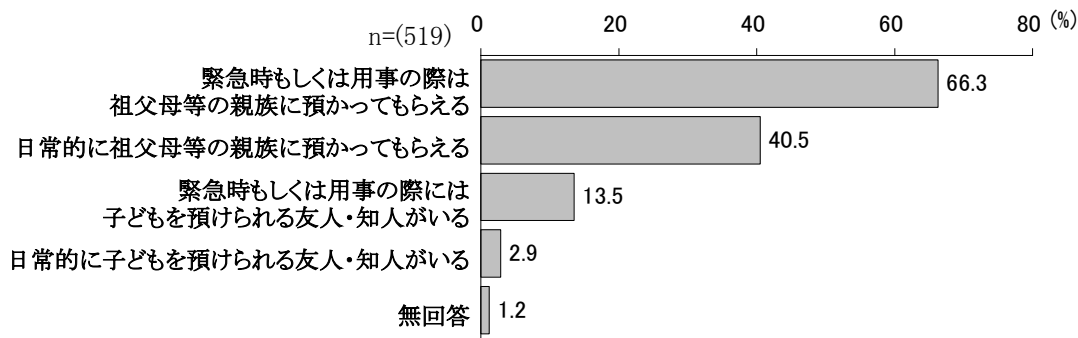
(2) 預かりの状況

<問8で「いる」に○をした方にうかがいます。>

問8-1 「預かってもらえる人」と「預かってもらう時の状況」をお答えください。

【複数選択可】

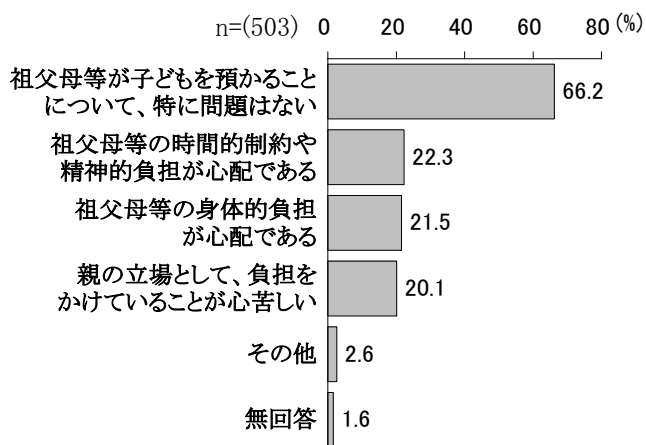
預かってもらえる人【複数選択可】



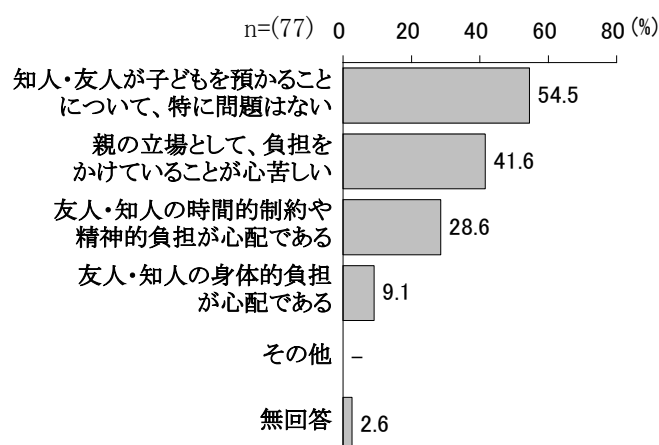
子どもを預かってもらえる人は、「緊急時もしくは用事の際は祖父母等の親族に預かってもらえる」が66.3%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が40.5%でこれに次いでおり、友人・知人に預けるといふ人は少ない。

預かってもらう時の状況【複数選択可】

・「祖父母等の親族に預かってもらえる」  
を選んだ方



・「預けられる友人・知人がいる」  
を選んだ方

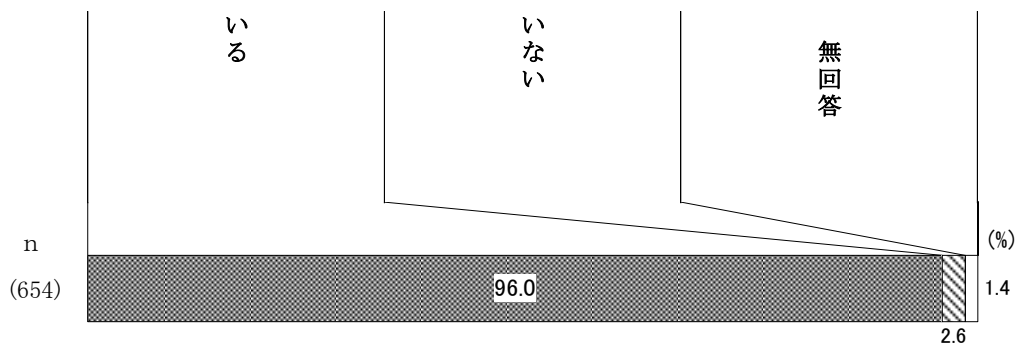


祖父母等の親族に子どもを預かってもらう時の状況は、「祖父母等が子どもを預かることについて、特に問題はない」が66.2%で最も多く、「祖父母等の時間的制約や精神的負担が心配である」(22.3%)、「祖父母等の身体的負担が心配である」(21.5%)、あるいは「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(20.1%)はいずれも2割台となっている。

友人・知人に子どもを預かってもらう時の状況としては、「特に問題はない」が54.5%で最も多く、以下、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(41.6%)、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である」(28.6%)が続いている。

（3）子育てについて気軽に相談できる人の有無

問9 子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。

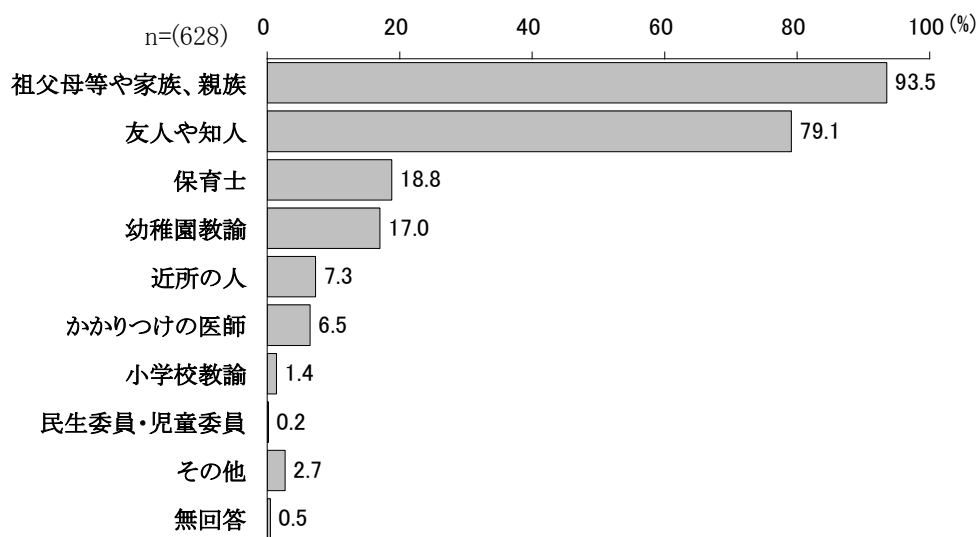


子育てについて、気軽に相談できる人が「いる」は96.0%と全数近くを占めている。

（4）相談相手

＜問9で「いる」に○をした方にうかがいます。＞

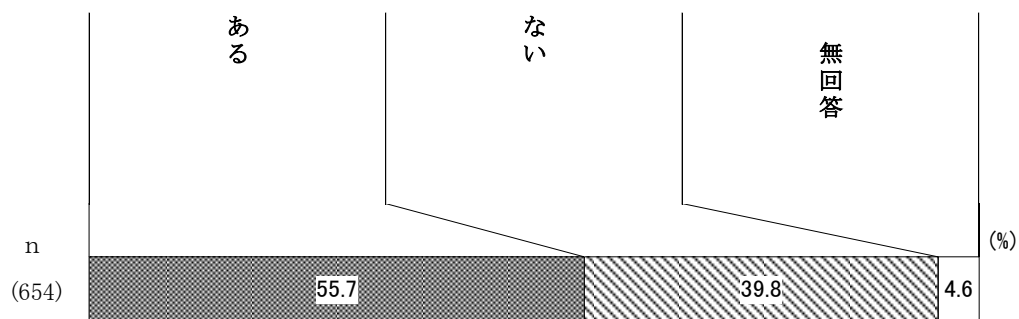
問9-1 相談相手はどのような方ですか。【複数選択可】



相談相手は、「祖父母等や家族、親族」が93.5%、「友人や知人」が79.1%と特にこの2項目が多く、以下、「保育士」（18.8%）、「幼稚園教諭」（17.0%）が1割台が続いている。

（5）子育てについて気軽に相談できる場所の有無

問10 子育てについて、気軽に相談できる場所がありますか。



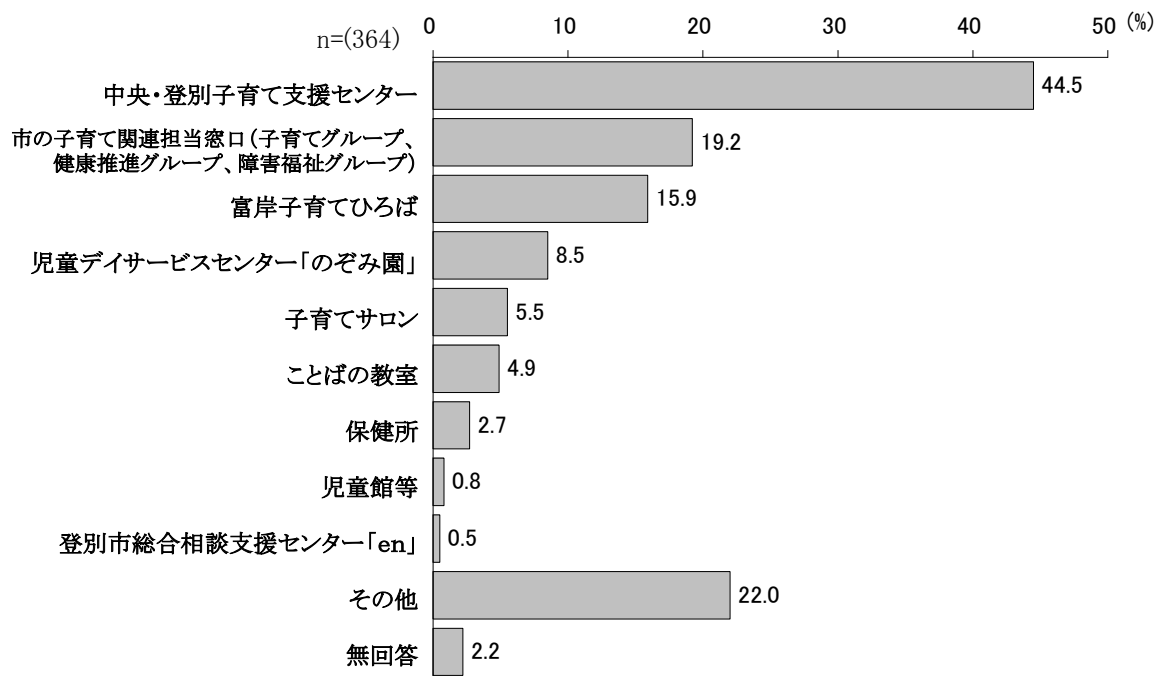
子育てについて、気軽に相談できる場所が「ある」は55.7%、「ない」は39.8%となっている。



（6）相談先

＜問10で「ある」に○をした方にうかがいます。＞

問10-1 相談できる場所はどのような場所ですか。【複数選択可】



相談できる場所は、「中央・登別市子育て支援センター」が44.5%で最も多く、以下、「市の子育て関連担当窓口（子育てグループ、健康推進グループ、障害福祉グループ）」（19.2%）、「富岸子育てひろば」（15.9%）が1割台が続いている。なお、「その他」の内容としては、“幼稚園”（28件）や“保育所”（27件）が特に多くあげられている。

（7）子育てをする上であればよいと思うサポート（自由記述）

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

・周囲とは・・・例：身近な人、保育所、幼稚園、子育て支援センターや市の窓口など

周囲からどのようなサポートがあればよいか自由に記述していただいたところ、276件の記述があった。一人で複数の内容を記述している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

預けられる場所やサービス（特に一時的や急な対応）	81件
情報、相談場所（相手）	47件
子育て支援センターや市の窓口	22件
病児・病後児保育／0歳児保育／夜間保育	18件
十分である／問題ない／必要ない／わからない	18件
交流場所や機会、行事	15件
安心して遊ばせられる場所	11件
保育料の減免、手当等	7件
保育・育児に関わる職員の質・スキル	5件
家族、親族	5件
各種サービスや支援が充実していること	5件
教育・学習	4件
自宅訪問	3件
障害児のサポート	3件
親が用事のある場所に託児所設置	3件
企業の理解、制度	3件
預かり場所への送迎	2件
夕方から夜にかけて使えるひろばやサロン	2件
放課後児童クラブ	2件
育児訪問サービス	2件
産後の母親のための教室・講座	2件
育児サポートの広域連携	2件
就学前相談と就学後の子どものケア	1件
保育所や幼稚園の職員との交流会	1件
市実施の子どものための習い事教室	1件
その他	11件

### 3. 子どもの保護者の就労状況

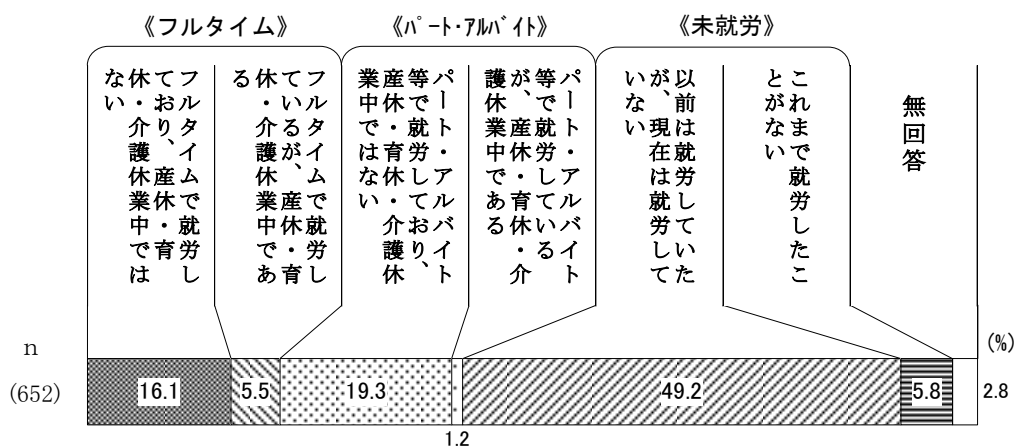
#### (1) 母親の就労状況

問12 母親の現在の就労状況についてお答えください。（父子家庭の場合は問13へ進んでください。）

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

・フルタイムとは1週5日程度で1日8時間程度の就労を指します。

(1) 母親の就労状況（1つに○）

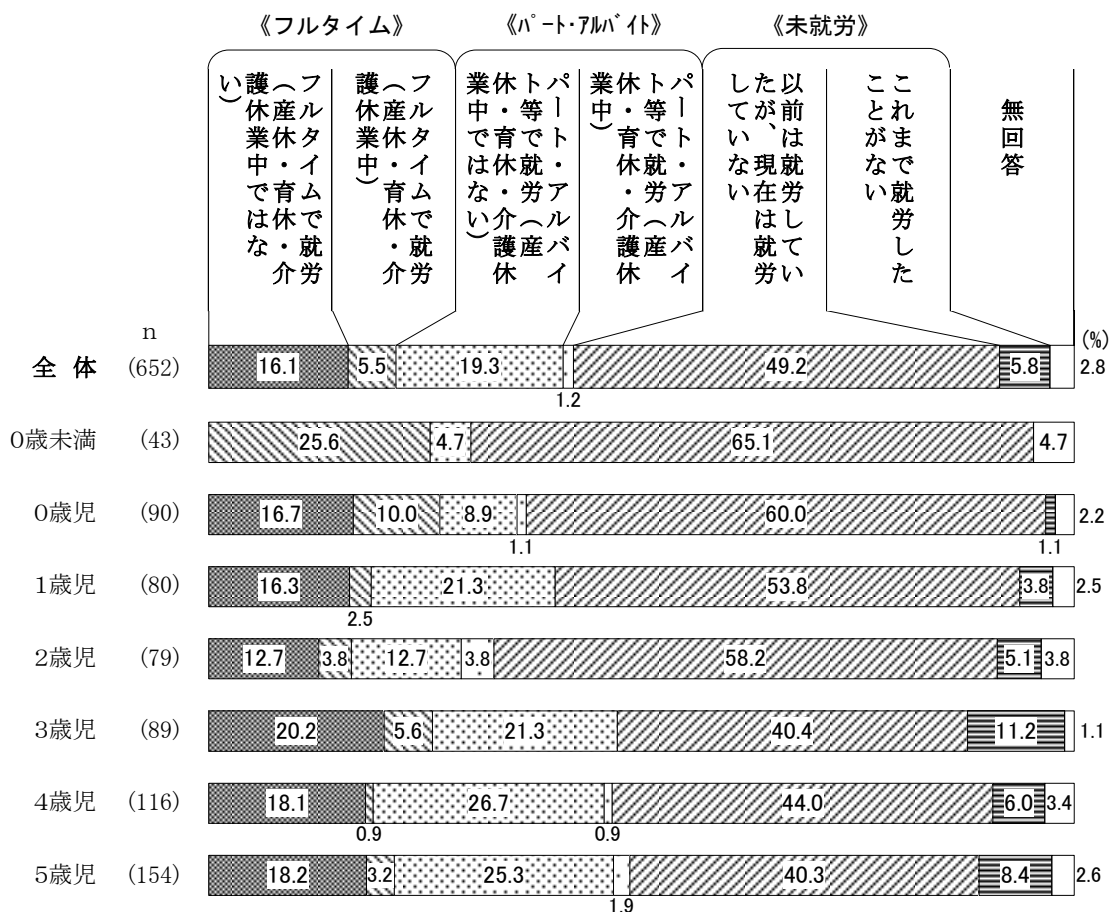


母親の就労状況は、《フルタイム》では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が16.1%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が5.5%で、両者をあわせると21.6%となる。《パート・アルバイト》では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が19.3%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.2%で、両者をあわせると20.5%となる。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は49.2%と多く、「これまで就労したことがない」(5.8%)をあわせた《未就労》は55.0%と半数以上を占めている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

年齢区別にみると、《フルタイム》は0歳未満（25.6%：すべて「フルタイムで就労（産休・育児・介護休業中）」）、0歳児（26.7%）、3歳児（25.8%）、5歳児（21.4%）が2割台となっている。《パート・アルバイト》は1歳児と3歳児（ともに21.3%）、4歳児（27.6%）、5歳児（27.2%）が2割台となっている。また、《未就労》は5歳児以外のすべての年齢で5割以上となっており、0歳未満（65.1%）と0歳児（61.1%）、2歳児（63.3%）では6割台となっている。

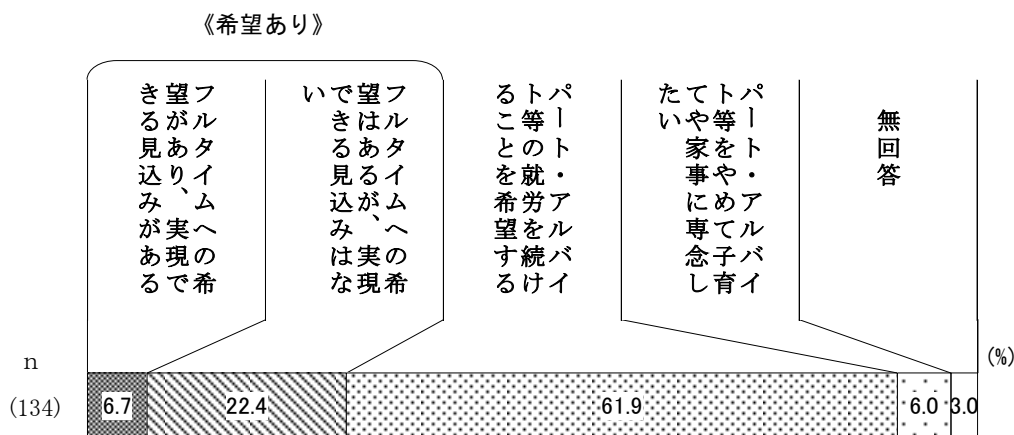
年齢区分別



（2）フルタイム勤務の希望（母親）

＜問12で「パート・アルバイト等で就労」している方にうかがいます。＞

（2）フルタイムへの希望はありますか。（1つに○）



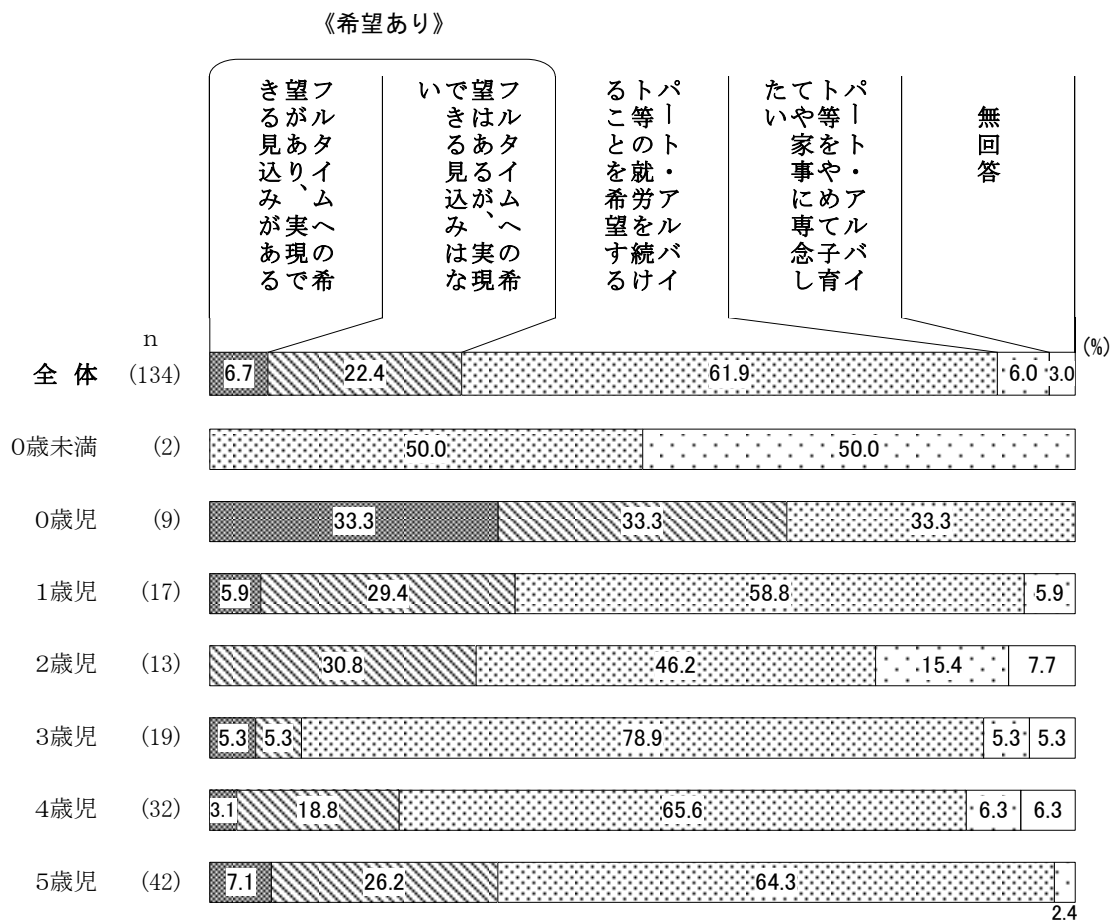
パート・アルバイト等で勤務している人にフルタイム勤務への希望を聞いたところ、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」（6.7%）と「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」（22.4%）をあわせた《希望あり》は29.1%である。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は61.9%と多く、フルタイムへの希望は一定数あるものの、パート・アルバイト等を継続希望される方が倍以上となっている。

また、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」の理由としては、「（保育所や親族等）預ける先がない」が8件、「子どもが小さいため」が6件、「子どもが病気の際の対応に困る」が4件などがあげられている。

第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

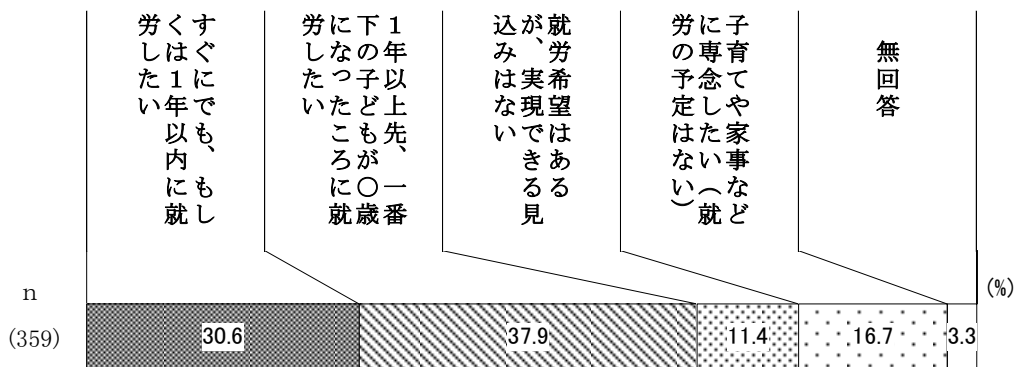
年齢区別は回答者数が少ないため参考程度となるが、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」の割合がいずれの年齢でも多くなっている。

年齢区別



（3）就労希望（母親）

<問12で「就労していない」方にうかがいます。>  
 （3）就労したいという希望はありますか。

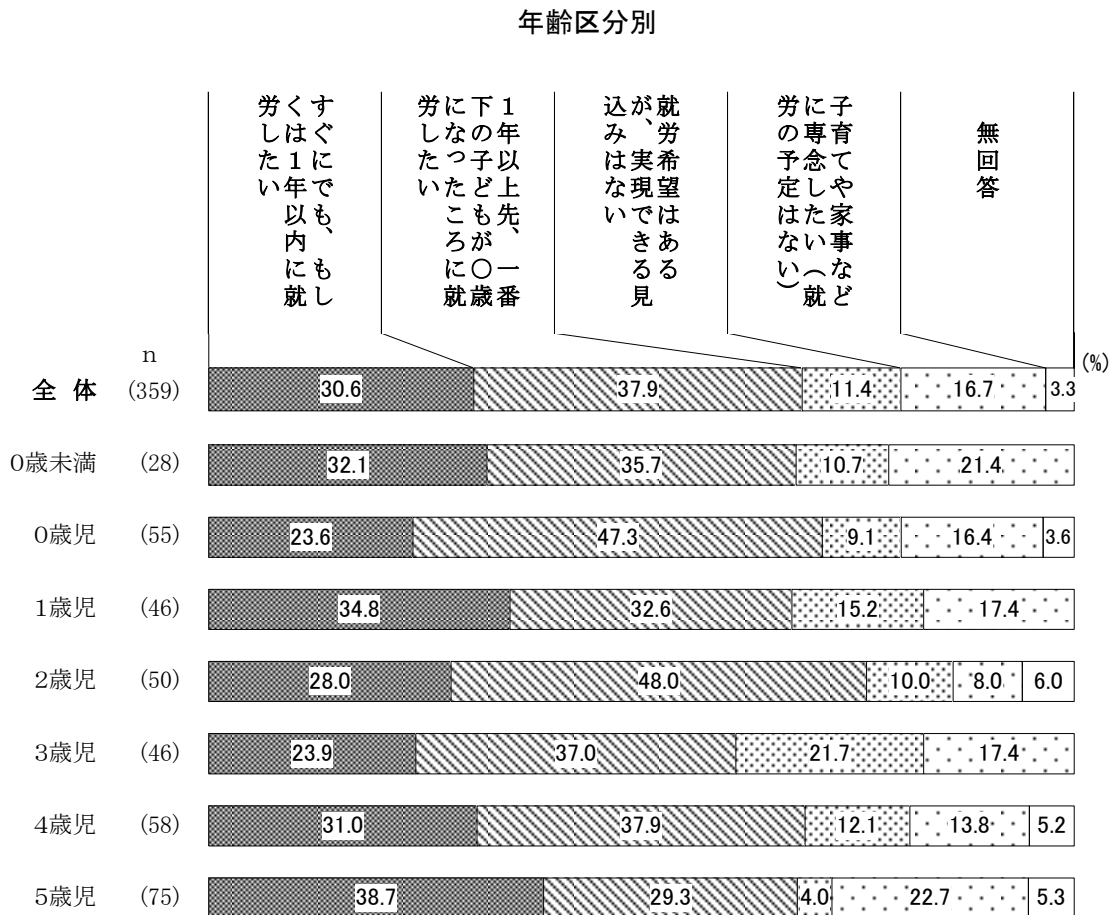


就労希望としては、「1年以上先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が37.9%となっている。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は30.6%であった。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は16.7%となっている。

また、「就労希望はあるが、実現できる見込みはない」の理由としては、「子どもが急な病気や長期休みの際の対応ができない」が7件、「夫の転勤や勤務形態の都合のため」、「保育所や親族等、預け先が見つからない」、「求人がない／条件にあう仕事が見つからない」がそれぞれ6件、「妊娠中／出産予定あり」が5件、「保育料のための経済的な余裕がない」が4件などがあげられている。

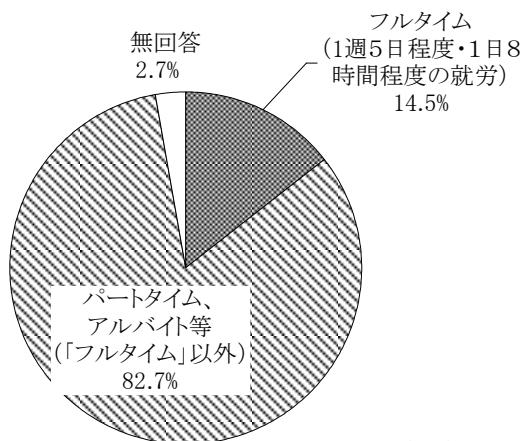
### 第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

年齢区別にみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は0歳未満（32.1%）、1歳児（34.8%）、4歳児（31.0%）、5歳児（38.7%）が3割台となっている。「1年以上先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」は5歳児以外のすべての年齢で3割以上となっており、特に0歳児（47.3%）や2歳児（48.0%）では4割台となっている。一方、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は0歳未満（21.4%）と5歳児（22.7%）が2割台となっている。





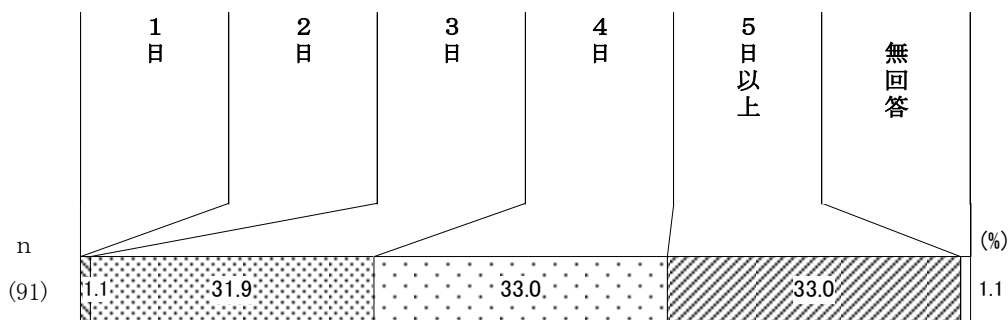
希望する就労形態【どちらか選択】－「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方



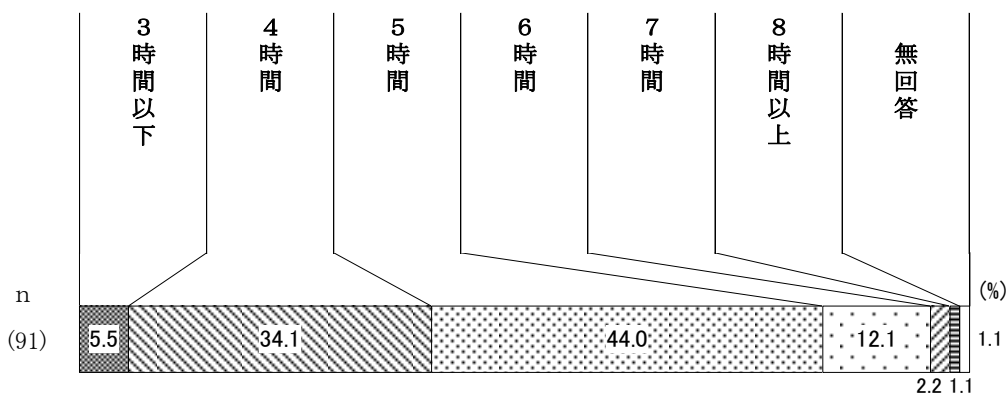
n = (110)

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいを選んだ人の希望就労形態は、「パートタイム、アルバイト等「フルタイム」以外」とする人が82.7%を占めて多く、「フルタイム」は14.5%にとどまる。

希望する就労日数（週）－希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ方



希望する就労時間数（日）－希望する就労形態で「パートタイム、アルバイト等」を選んだ方



「パートタイム、アルバイト等」の就労形態を選んだ人の希望就労日数は、1週当たり「4日」と「5日以上」がともに33.0%、「3日」が31.9%とそれぞれ3割台となっている。希望する就労時間は1日当たり「5時間」が44.0%、「4時間」が34.1%となっている。

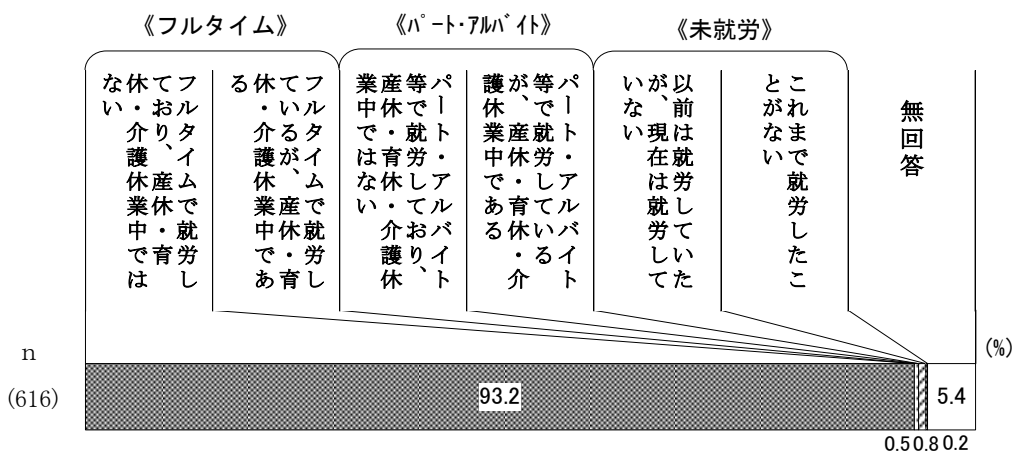
（4）父親の就労状況

問13 父親の現在の就労状況についてお答えください。

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

・フルタイムとは1週5日程度で1日8時間程度の就労を指します。

（1）父親の就労状況（1つに○）

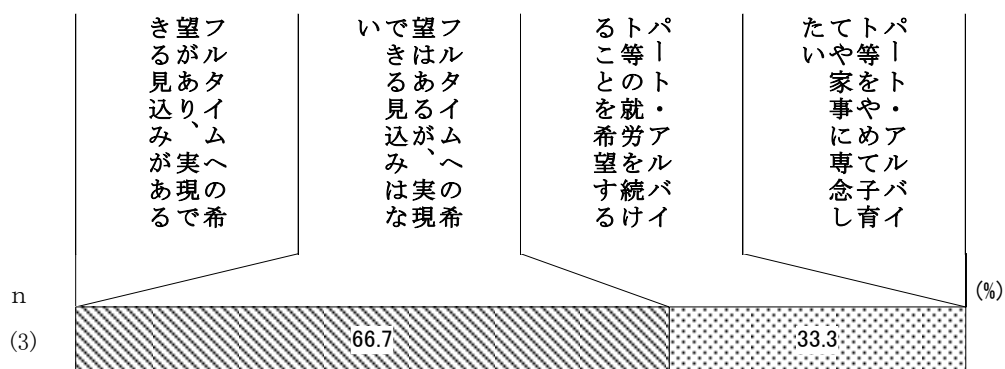


父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.2%を占めている。

(5) フルタイム勤務の希望（父親）

＜問13で「パート・アルバイト等で就労」している方にうかがいます。＞

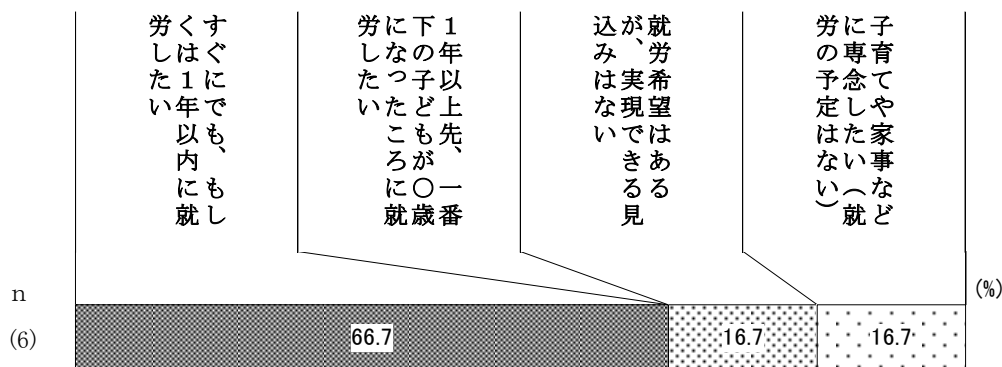
(2) フルタイムへの希望はありますか。(1つに○)



パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの希望は回答者が少ないため、図を参考とする。「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」を選んだ2名の理由としては、「共働きで子どもが小さく、仕事の関係で母親の仕事を優先しているため」が1件、未記入が1件となっている。

（6）就労希望（父親）

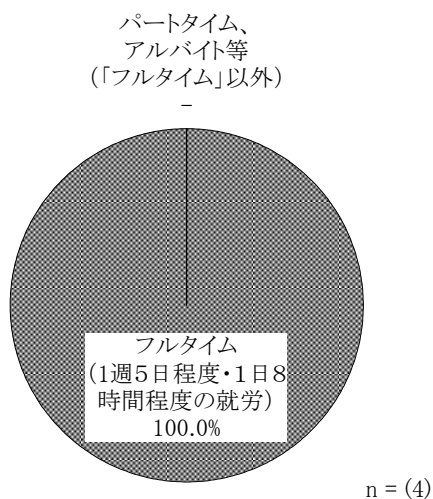
<問13で「就労していない」方にうかがいます。>  
 （3）就労したいという希望はありますか。



就労希望は回答者が少ないため、図を参考とするが、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」（66.7%）を選ぶ人が最も多い。

また、「就労希望はあるが、実現できる見込みはない」を選んだ1名の理由としては、「働く場所がない」となっている。

希望する就労形態【どちらか選択】－「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

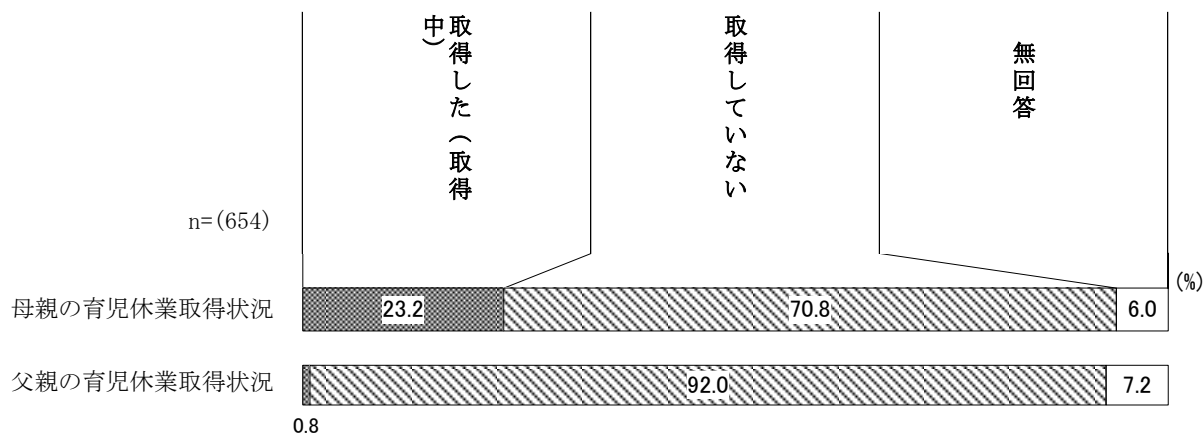


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ人の希望就労形態は「フルタイム」が100%となっている。

## 4. 子どもを妊娠、出産した時の状況

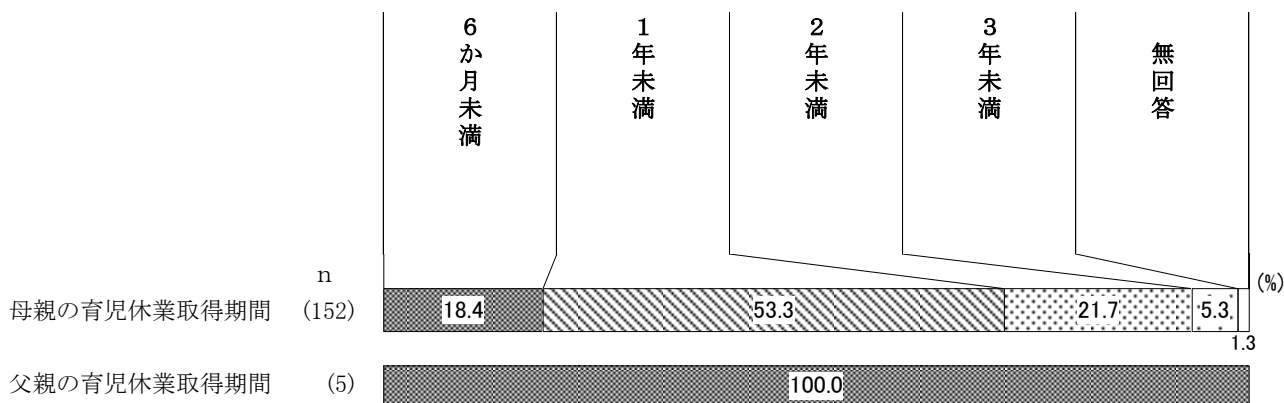
### (1) 育児休業の取得状況

問14 あて名のお子さんが生まれた後、育児休業を取得しましたか。また取得した場合の期間はどれくらいですか。当てはまる番号に○をしてください。



母親の育児休業の取得状況は「取得した（取得中）」が23.2%、「取得していない」が70.8%となっている。父親の育児休業の取得状況は「取得した（取得中）」が0.8%にとどまり、「取得していない」が92.0%を占めている。

### 取得期間—「取得した（取得中）」を選んだ方

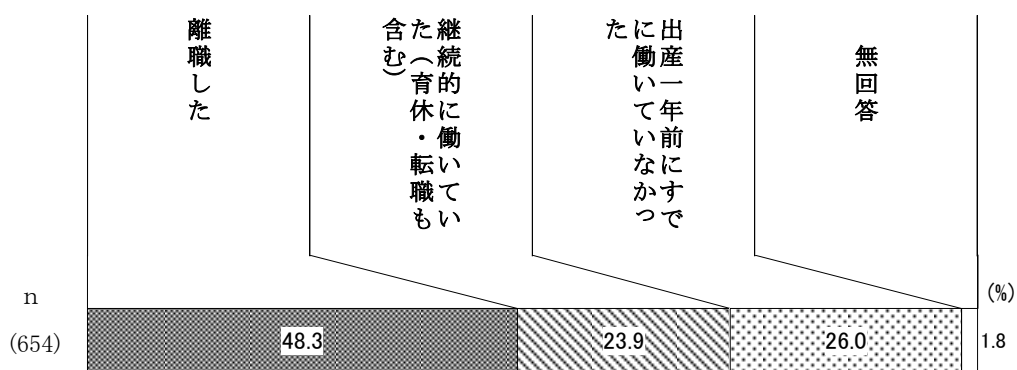


「取得した（取得中）」を選んだ母親の取得期間は「1年未満」が53.3%を占め、その前後の「2年未満」（21.7%）、「6か月未満」（18.4%）が2割前後となっている。

「取得した（取得中）」を選んだ父親の取得期間は回答者数が少ないため、図を参考とする。

（2）母親の出産前後の離職状況

問15 あて名のお子さんの母親は、出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。（1つに○）



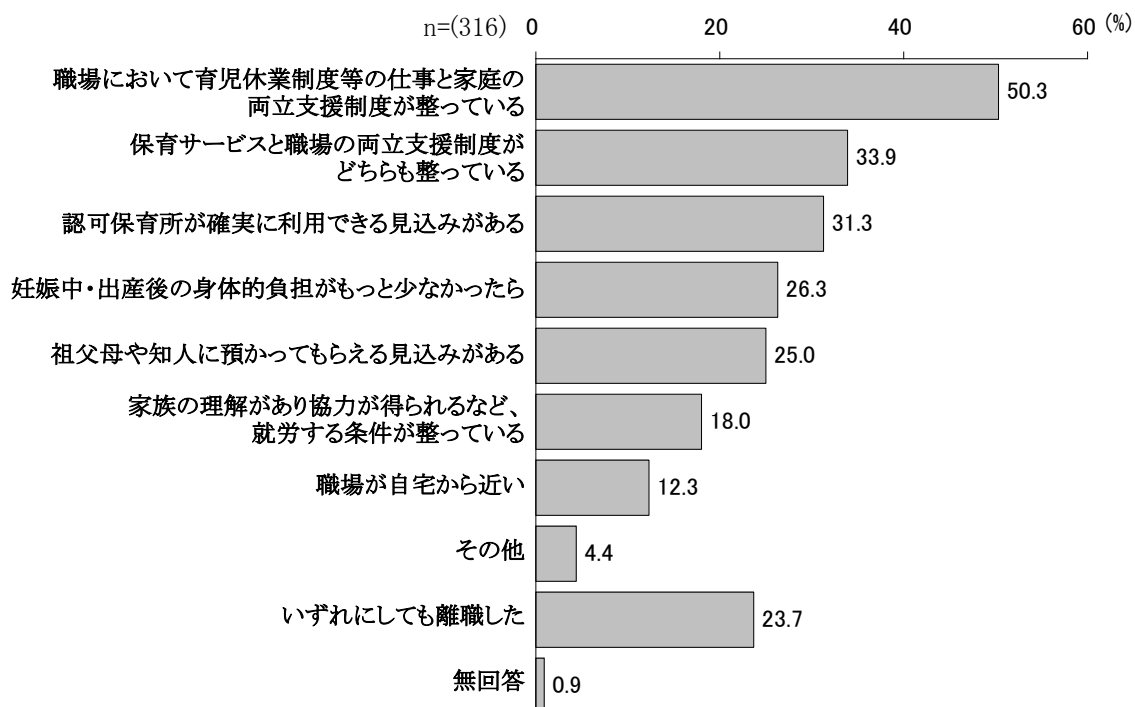
母親の出産前後（前後それぞれ1年以内）の離職状況は、「離職した」が48.3%で最も多く、「出産一年前にすでに働いていなかった」（26.0%）と「継続的に働いていた（育休・転職も含む）」（23.9%）が2割台となっている。

（3）就労継続のために必要な環境

＜問15で「離職した」に○をした方にうかがいます。＞

問15—1 どのような環境が整っていたら、お仕事を続けましたか。

（当てはまる番号すべてに○）

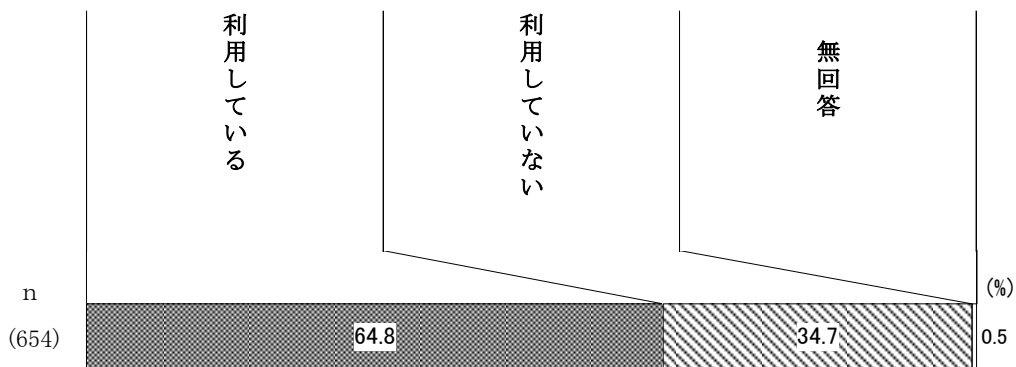


離職した人にどのような環境が整っていたら、仕事を続けていたか聞いたところ、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っている」（50.3%）が最も多く、以下、「保育サービスと職場の両立支援制度がどちらも整っている」（33.9%）、「認可保育所が確実に利用できる見込みがある」（31.3%）が3割台、「妊娠中・出産後の身体的負担がもっと少なかったら」（26.3%）、「祖父母や知人に預かってもらえる見込みがある」（25.0%）が2割台で続いている。また、「いずれにしても離職した」も23.7%と比較的多くなっている。

## 5. 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況

### (1) 幼稚園・保育所などの利用状況

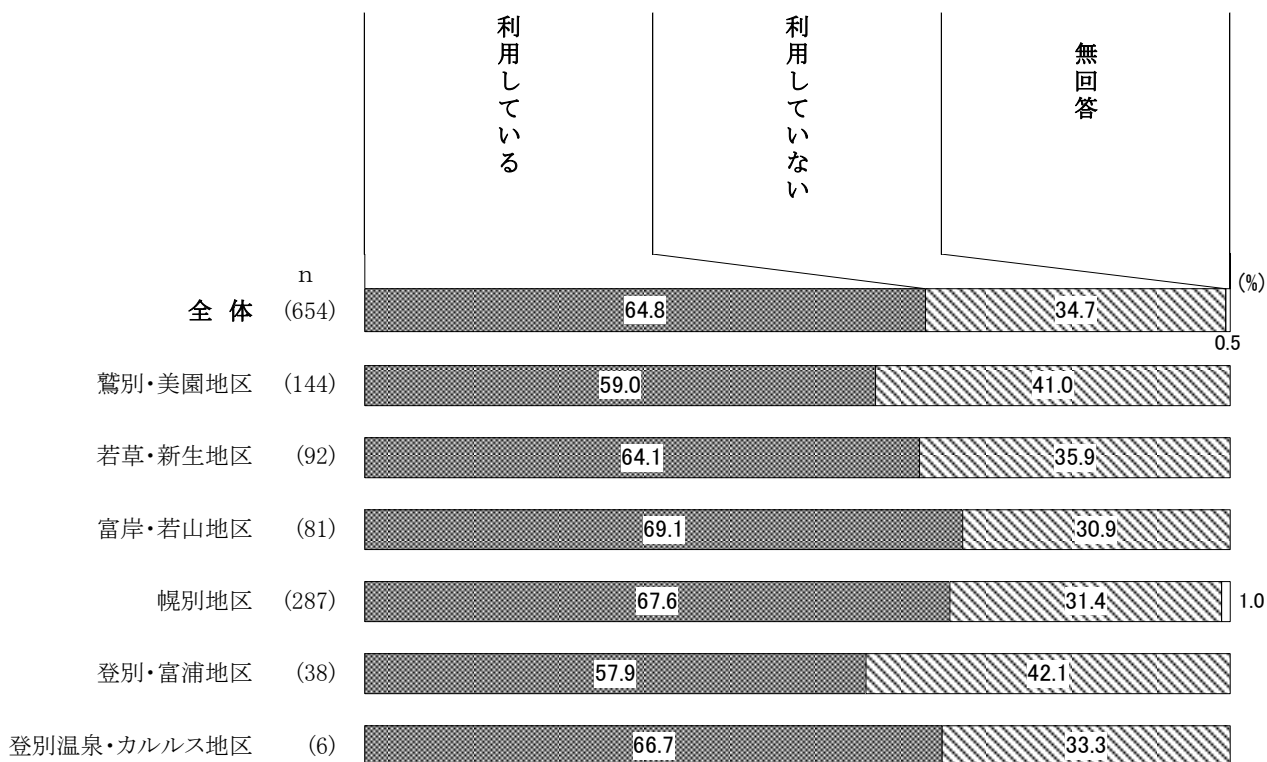
問16 あて名のお子さんは現在、幼稚園・保育所などを平日定期的に利用していますか。  
 当てはまる番号に○をしてください。  
 ・ここでいう定期的とは、月単位で利用していることを指します。



幼稚園・保育所などを平日定期的に「利用している」は64.8%、「利用していない」は34.7%となっている。

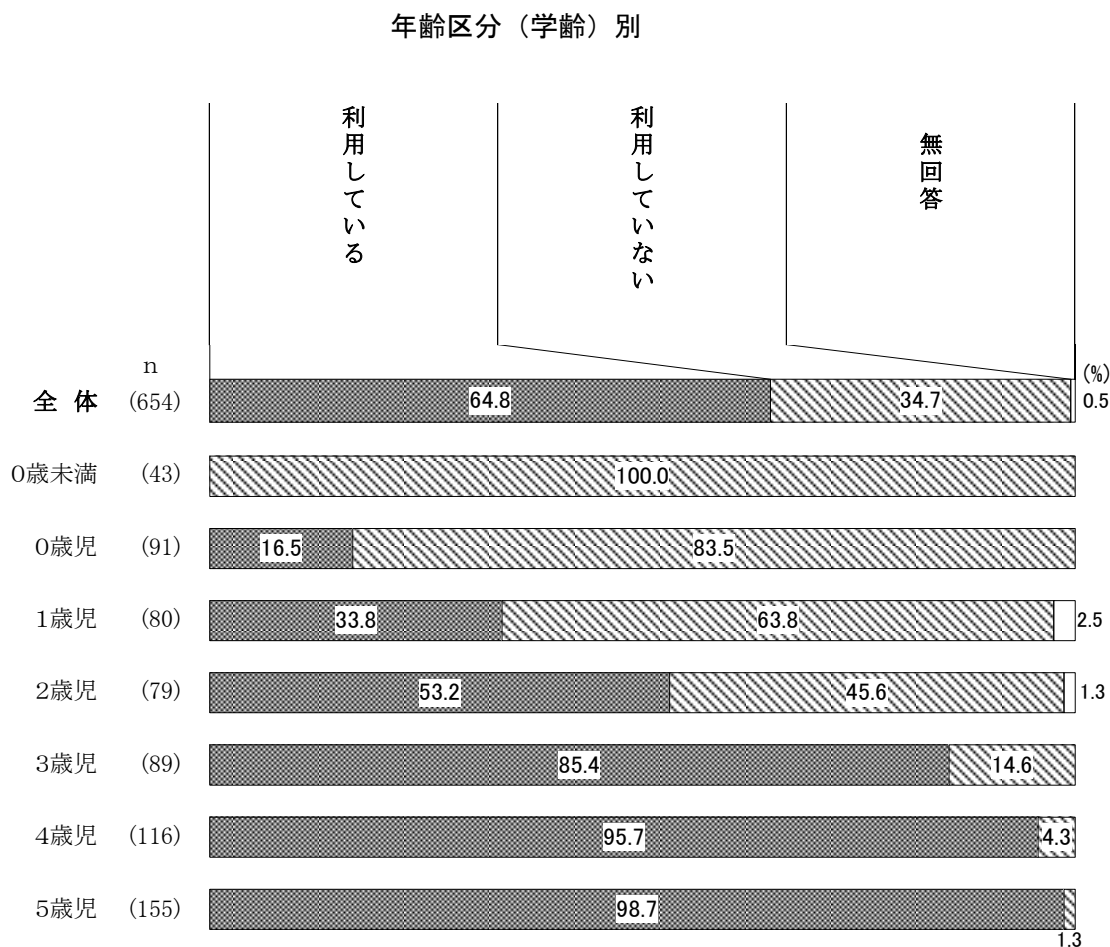
居住地区別にみると、いずれの地区でも「利用している」が5割以上となっている。

#### 居住地区別





年齢区分別にみると、「利用している」は年齢が上がるほど多くなり、3歳児で85.4%、4歳児以上では9割台を占めている。



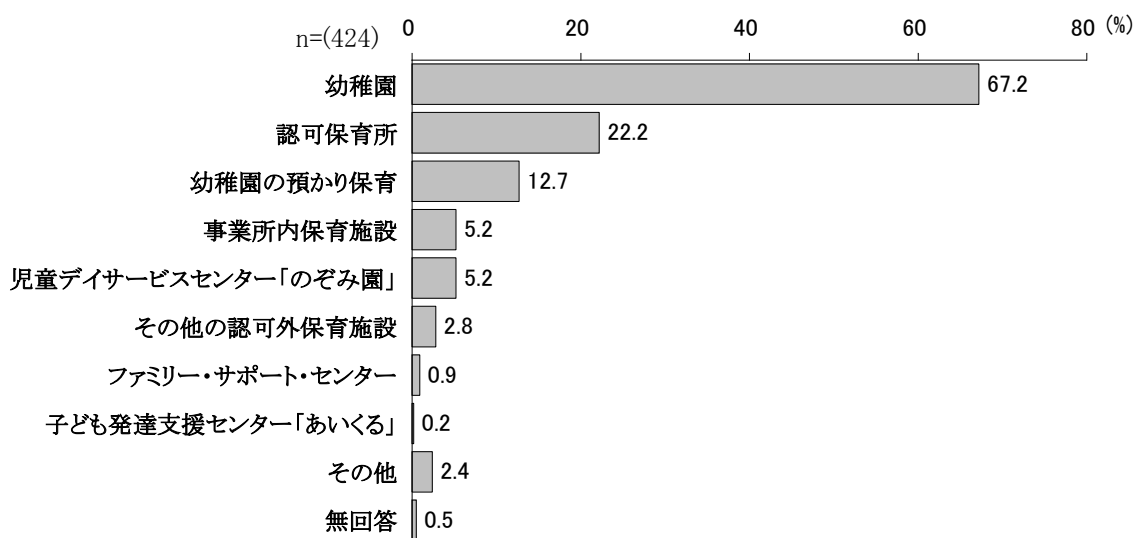
（2）定期的に利用している事業等（平日）

＜問16で「利用している」に○をした方にうかがいます。＞

問16-1 あて名のお子さんが年間を通じて平日定期的に利用している事業等をお答えください。（当てはまる番号すべてに○）また、現在の週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間、利用時間帯をお答えください。なお、希望日数等もあわせてお答えください。

・利用時間の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

平日定期的に利用している事業等

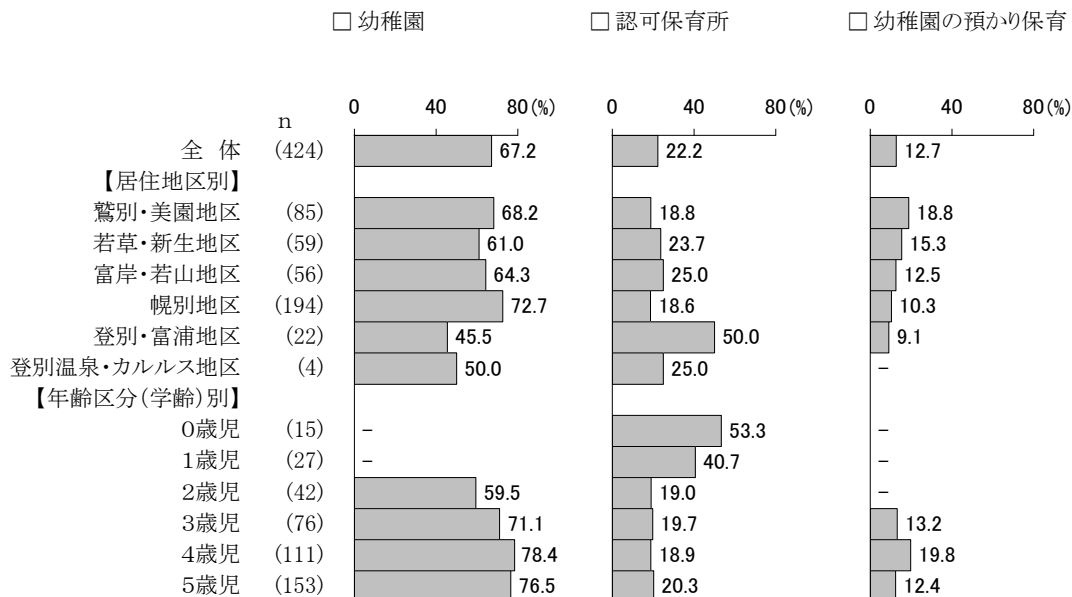


平日定期的に利用している事業等は、「幼稚園」が67.2%で最も多く、「認可保育所」（22.2%）、「幼稚園の預かり保育」（12.7%）が続いており、それ以外の事業等の利用は1割未満にとどまっている。

居住地区別にみると、「幼稚園」は幌別地区が72.7%、「認可保育所」は登別・富浦地区が50.0%と多くなっている。

年齢区分別にみると、「幼稚園」は3歳児から5歳児にかけて7割台と多く、2歳児でも59.5%となっている。「認可保育所」は0歳児と1歳児での利用が多くみられる。

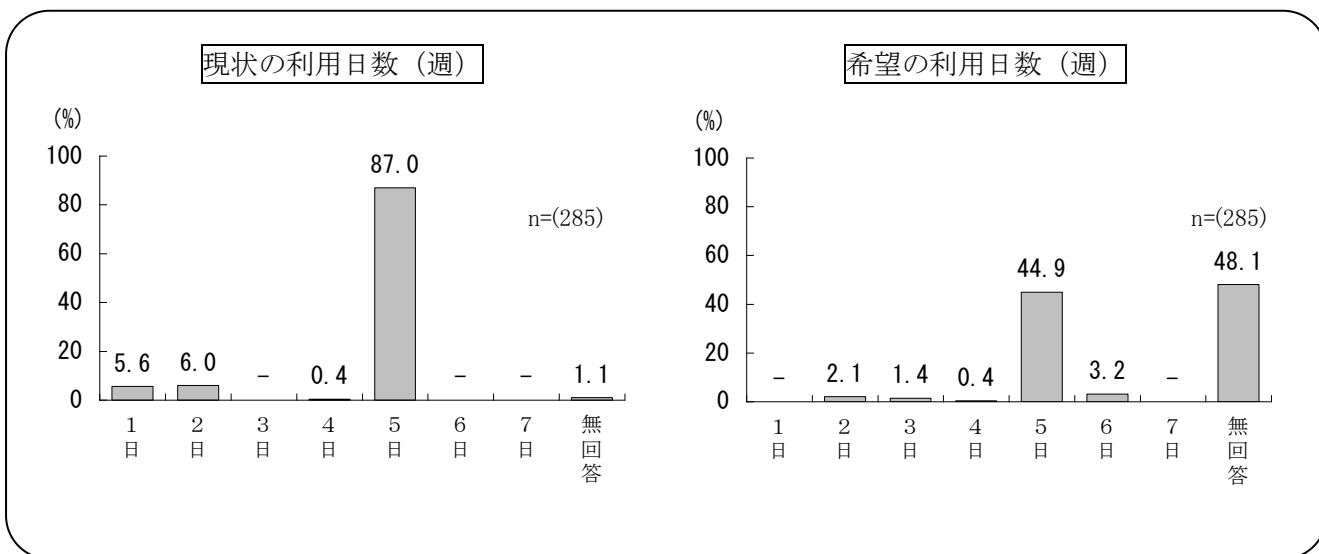
居住地区別、年齢区分別（上位3項目）



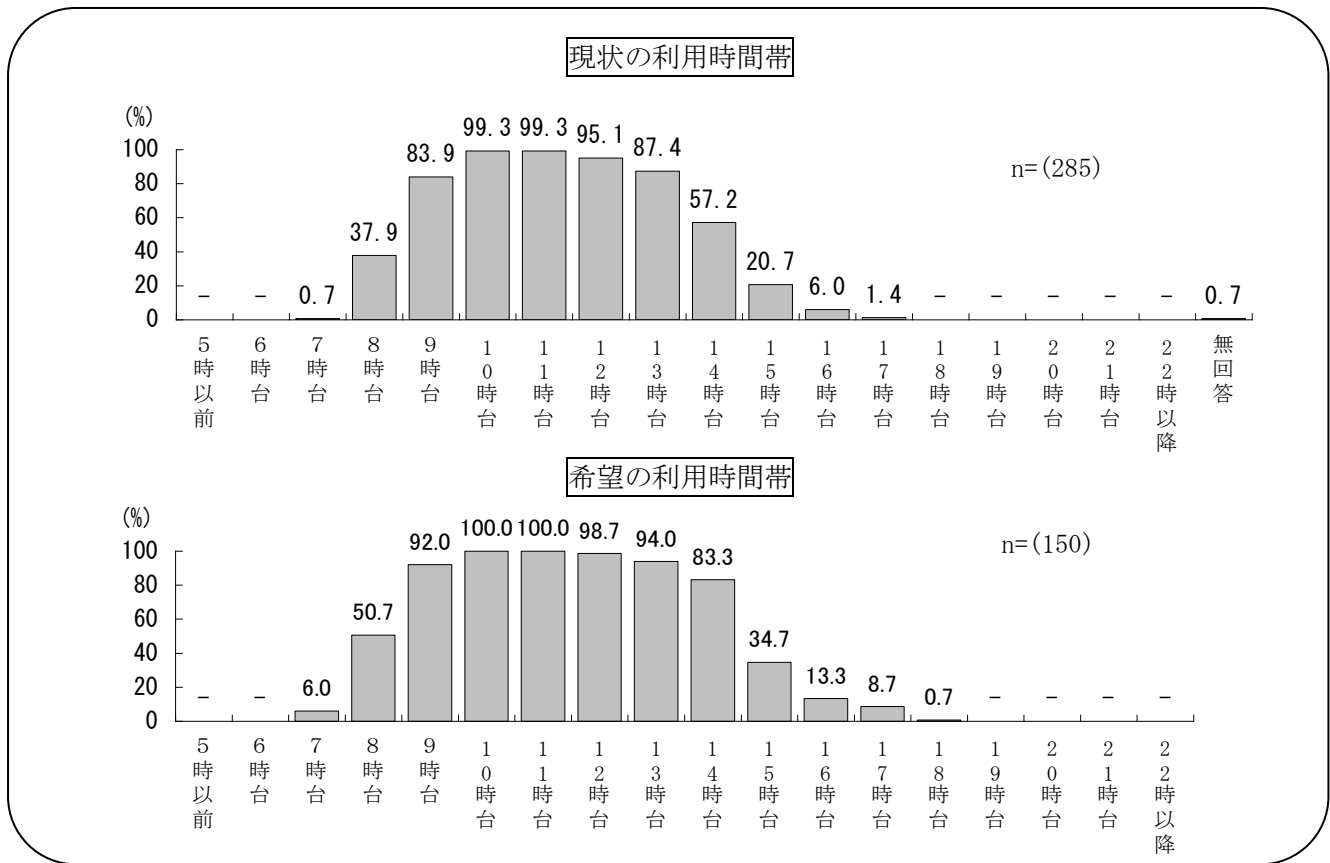
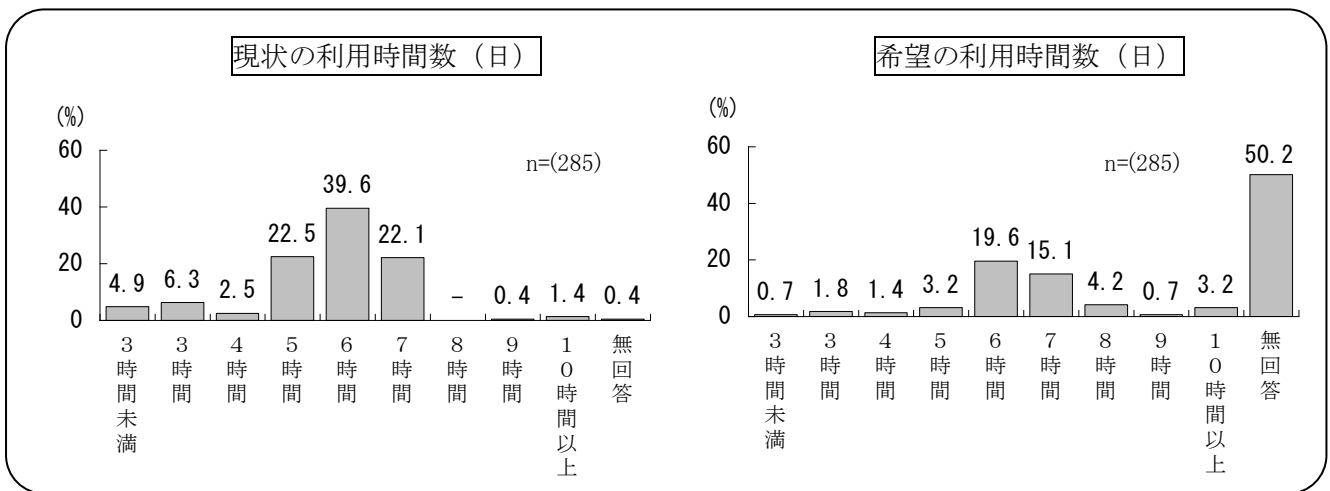
※年齢区分別の0歳児未満は回答者なし

◆上位3項目の利用日数（週）／利用時間数（日）／利用時間帯の現状と希望

(1) 幼稚園



第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

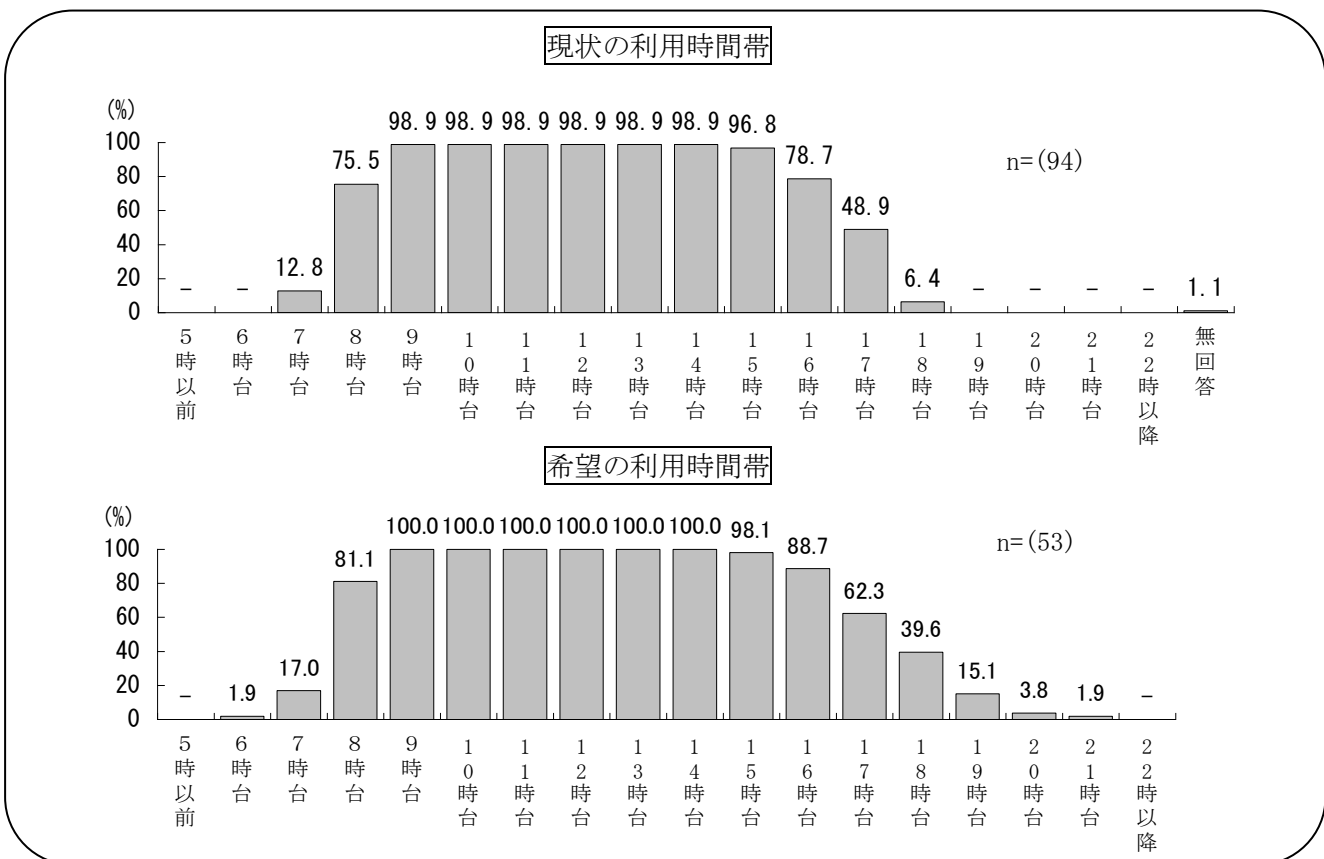
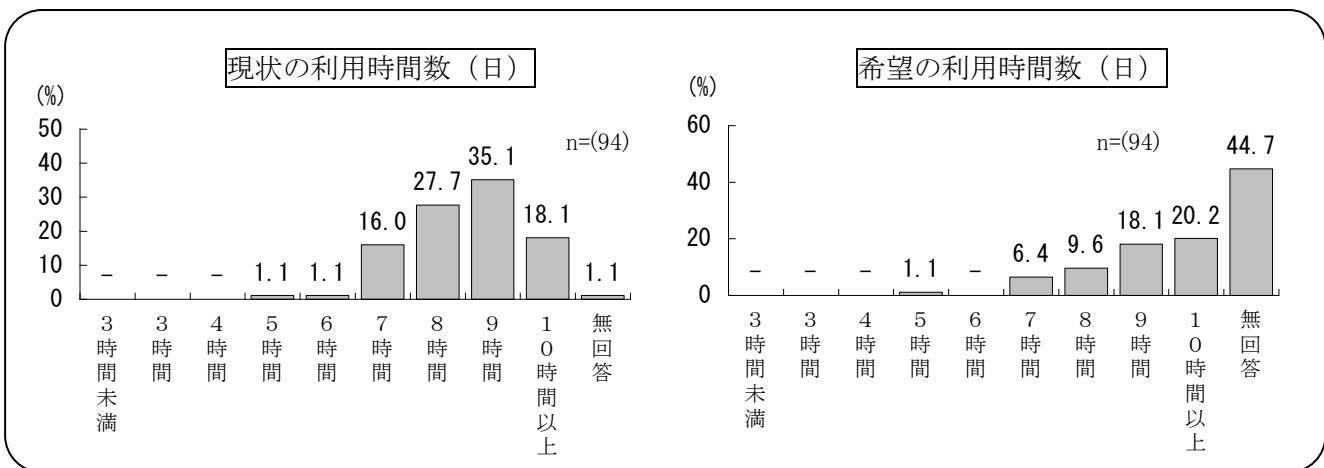
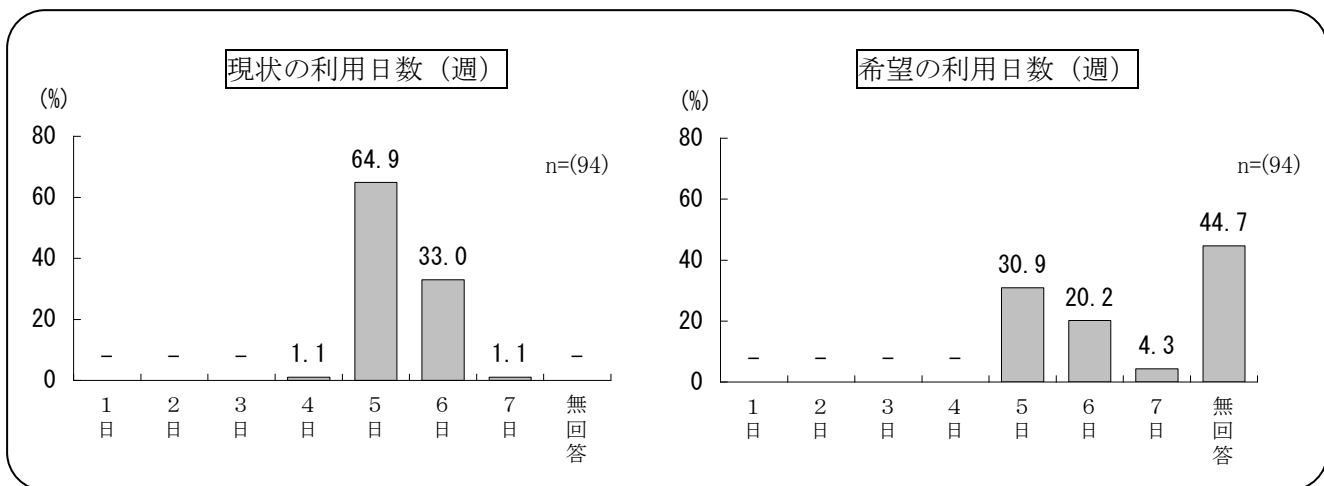


現状の幼稚園の週あたりの利用日数は、「5日」が87.0%を占めている。希望の利用日数では「5日」が44.9%で特に多くなっており、「6日」（3.2%）も多少みられる。

現状の一日あたりの利用時間数は「6時間」の39.6%を中心に、前後の「5時間」（22.5%）、「7時間」（22.1%）が2割台となっている。希望の利用時間数では「6時間」（19.6%）と「7時間」（15.1%）が多いが、「8時間」や「10時間以上」も多少みられる。

現状の利用時間帯は「9時台」～「13時台」が8割から9割台を占めて多く、「14時台」も57.2%となっている。希望の利用時間帯では「9時台」～「13時台」が9割以上、「14時台」も83.3%となっている。また、現状と比べると「15時台」～「17時台」での希望も比較的多い。

(2) 認可保育所



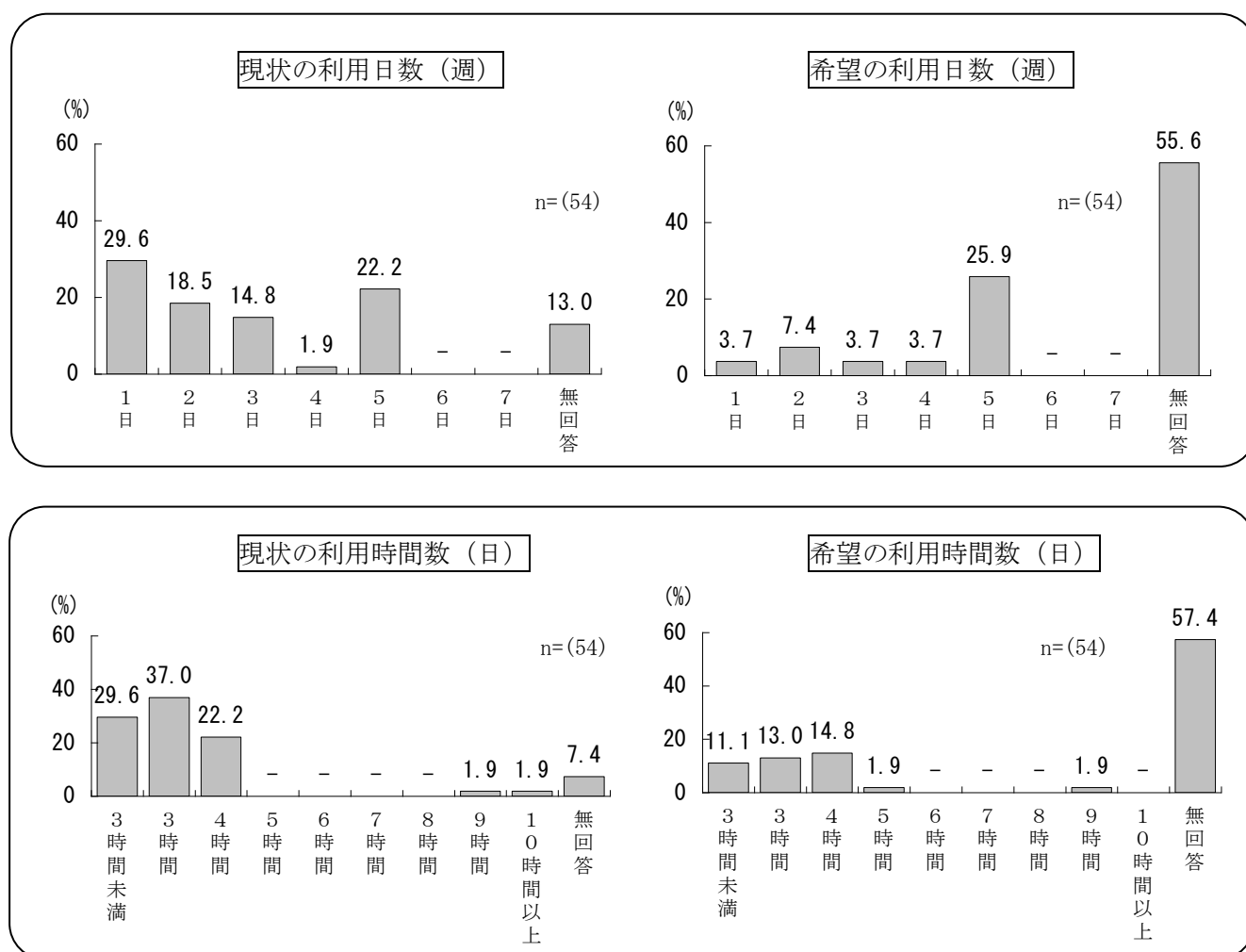
### 第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

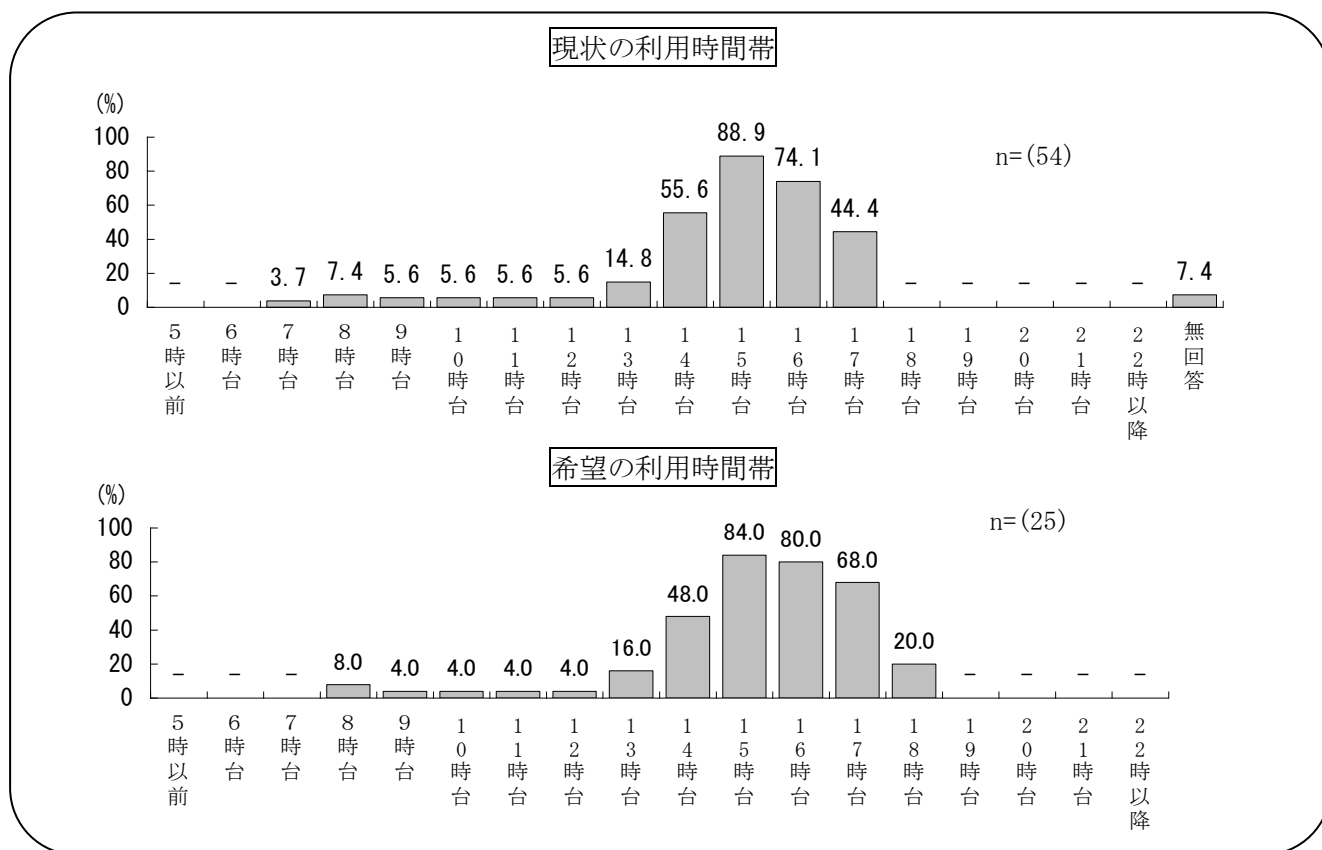
現状の認可保育所の週当たりの利用日数は、「5日」が64.9%と多く、「6日」も33.0%となっている。希望の利用日数では「5日」が30.9%、「6日」が20.2%となっている。また、「7日」（4.3%）も多少みられる。

現状の一日当たりの利用時間数は「9時間」が35.1%と多く、「8時間」が27.7%となっている。希望の利用時間数では9時間以上（「9時間」：18.1%、「10時間以上」：20.2%）が多くなっている。

現状の利用時間帯は「9時台」～「15時台」が9割台を占め、「8時台」（75.5%）と「16時台」（78.7%）でも7割台、「17時台」も48.9%となっている。希望の利用時間帯は「8時台」～「16時台」で8割以上を占め、「9時台」～「14時台」ではすべて全数となっている。また、「17時台」も62.3%、「18時台」以降も時間とともに減少するが一定数の希望がみられる。

#### （3）幼稚園の預かり保育





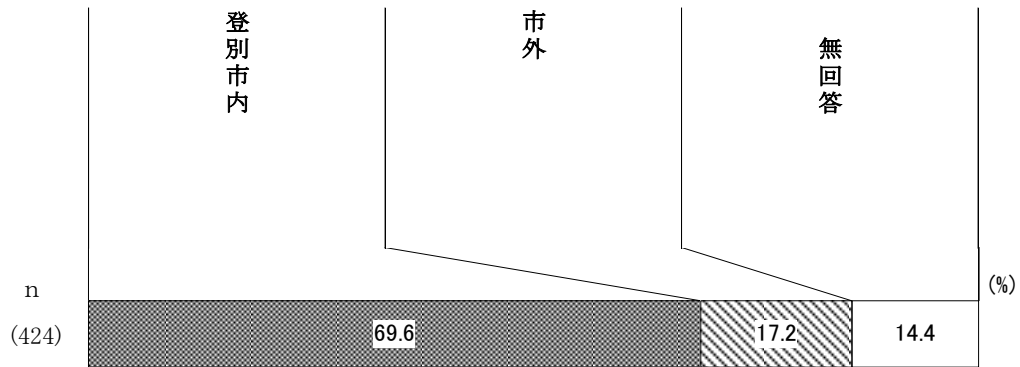
現状の幼稚園の預かり保育の週当たりの利用日数は、「1日」が29.6%で最も多く、「5日」が22.2%、「2日」(18.5%)、「3日」(14.8%)となっている。希望の利用日数では「5日」が25.9%で特に多くなっている。

現状の一日当たりの利用時間数は「3時間」の37.0%を中心に、前後の「3時間未満」(29.6%)と「4時間」(22.2%)も2割台となっている。希望の利用時間数では「3時間未満」～「4時間」が1割台となっており、「5時間」(1.9%)も多少みられる。

現状の利用時間帯は「15時台」が88.9%、「16時台」が74.1%と多く、「14時台」(55.6%)、「17時台」(44.4%)でも比較的多くなっている。希望の利用時間帯では「15時台」から「16時台」が8割台と多く、「17時台」(68.0%)や「14時台」(48.0%)も比較的多くなっている。また、「18時台」も20.0%の希望がみられる。

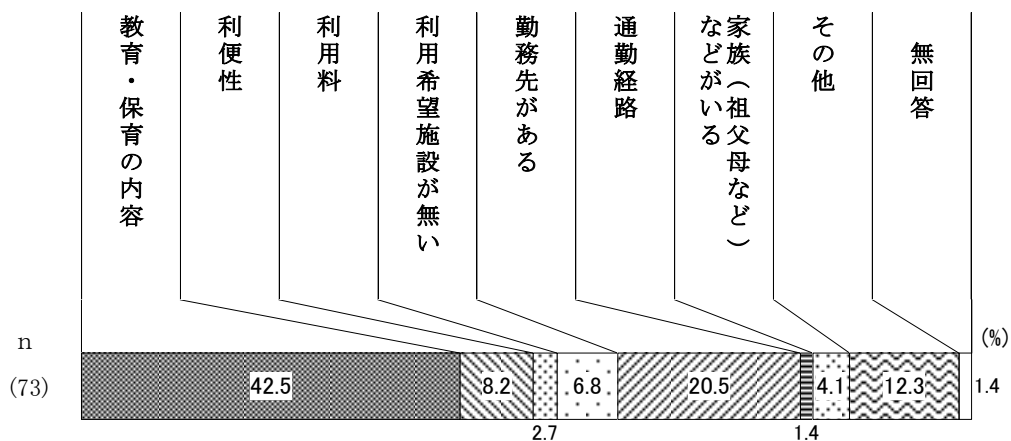
（3）利用している事業等の実施地域

問16-2 利用している事業等の場所はどこですか。（当てはまる番号すべてに○）



利用している事業等の場所は「登別市内」が69.6%、「市外」が17.2%となっている。

他市町村を利用している最も大きい理由【1つ選択】－「市外」を選んだ方



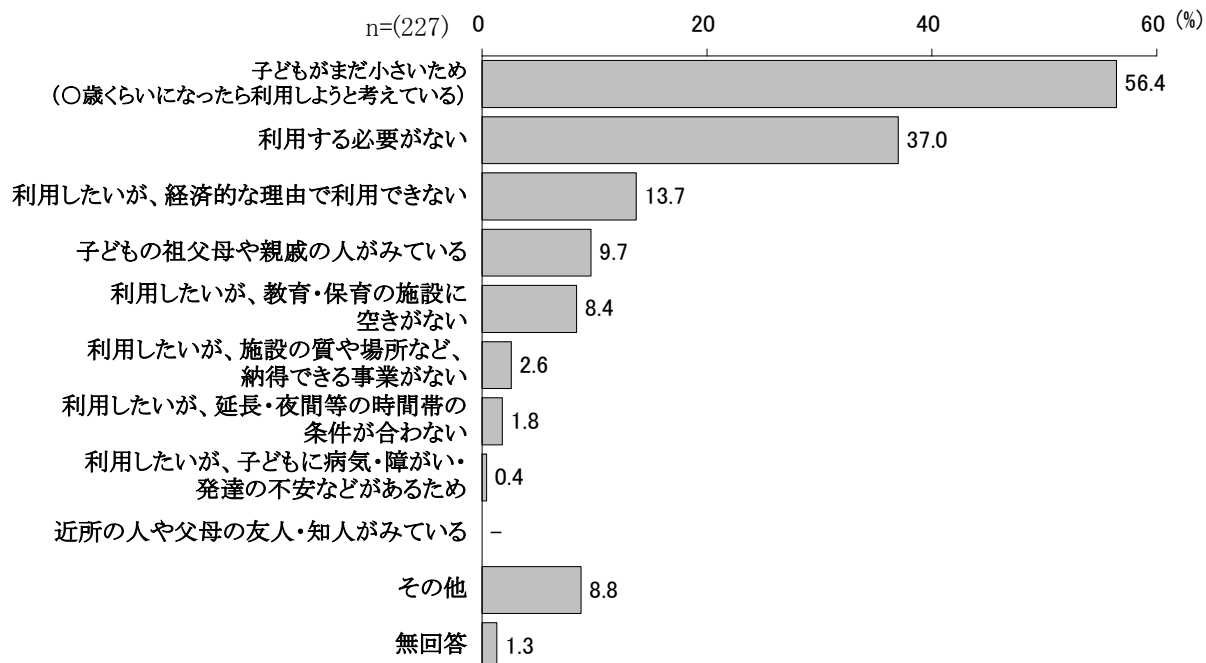
他市町村を利用している最も大きい理由は、「教育・保育の内容」が42.5%で最も多く、これに「勤務先がある」（20.5%）が次いでいる。



（4）平日定期的な事業等を利用していない理由

＜問16で「利用していない」に○をした方にうかがいます。＞

問16-3 利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

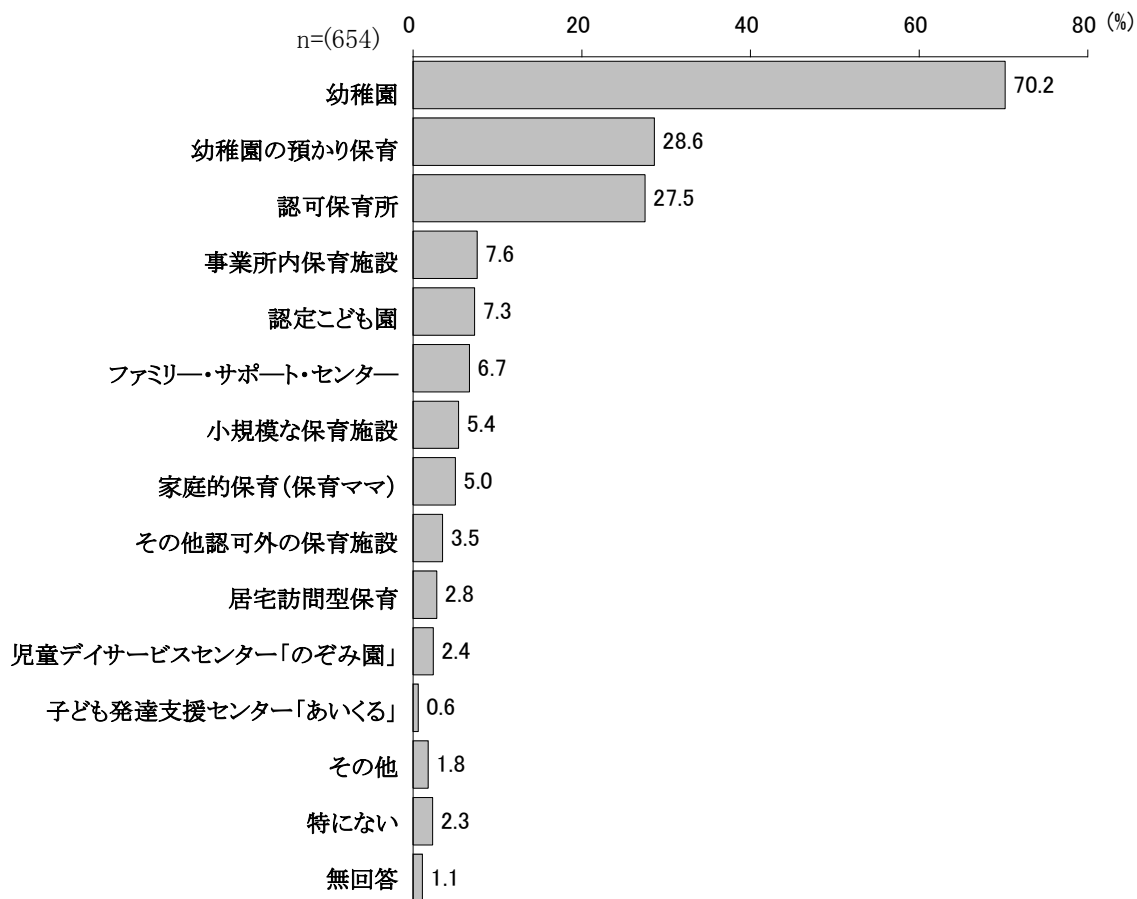


幼稚園や保育所などを平日定期的にご利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため（○歳くらいになったら利用しようと考えている）」が56.4%で最も多くなっている。利用しようとする子どもの年齢は平均3歳であった。以下、「利用する必要がある」（37.0%）、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」（13.7%）などが続いている。

（5）定期的に利用したい事業等

問17 現在、利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんが、「定期的に」利用したいと考える幼稚園・保育所などの事業等がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

・なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、世帯の所得に応じて金額が変わります。

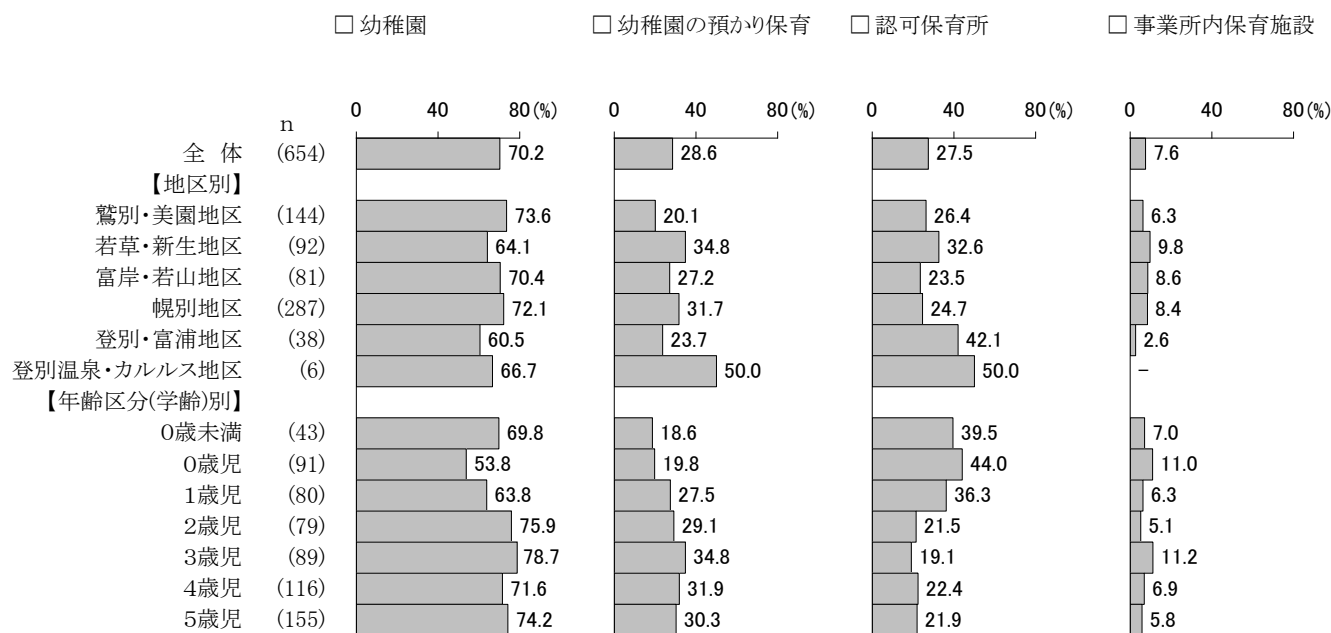


現在の利用の有無にかかわらず、定期的に利用したいと考える幼稚園・保育所などの事業等は、「幼稚園」が70.2%で特に多く、以下、「幼稚園の預かり保育」(28.6%)、「認可保育所」(27.5%)が2割台で続いている。

居住地区別にみると、「幼稚園」は鷺別・美園地区、富岸・若山地区、幌別地区が7割台、それ以外の地区では6割台となっている。「認可保育所」は登別・富浦地区が42.1%となっている。

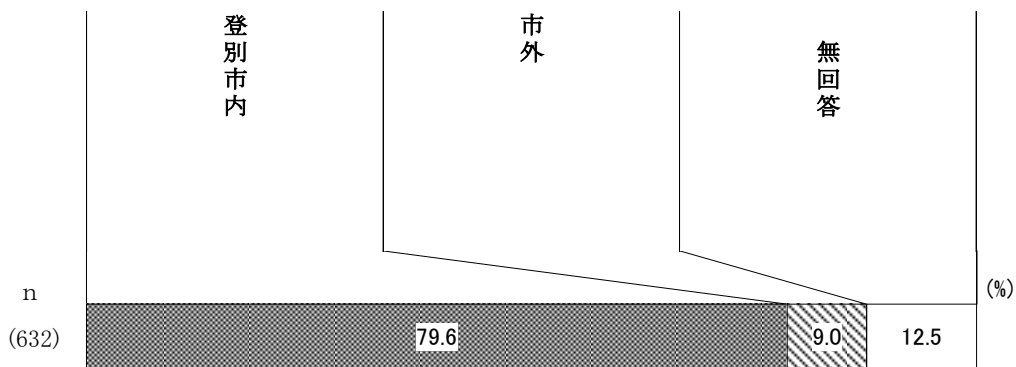
年齢区分別にみると、「幼稚園」はすべての年齢で5割を超え、2歳児以上では7割台と多くなっている。「幼稚園の預かり保育」は3歳児以降で3割台となっている。また、「認可保育所」は0歳未満から1歳児にかけて3割以上となっており、0歳児が44.0%となっている。

居住地区別、年齢区分別（上位4項目）



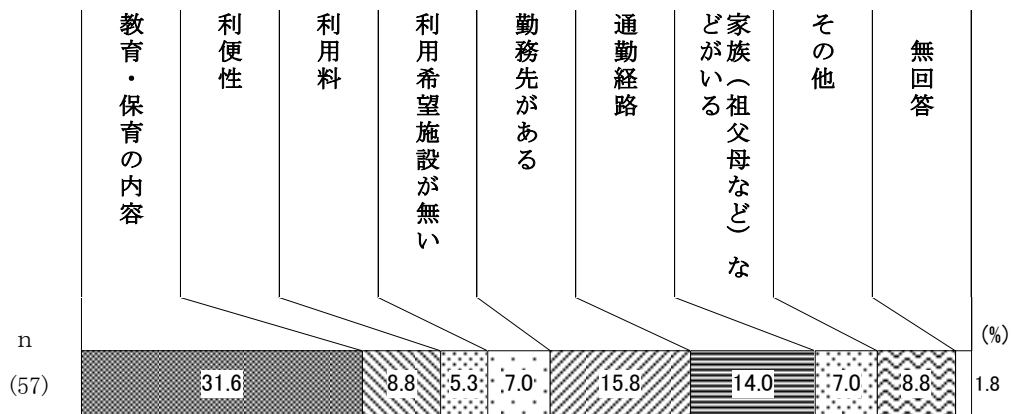
（6）利用したい幼稚園・保育所事業等の実施地域

<問17で何かしらの幼稚園・保育所事業等に○をつけた方（「その他」「特になし」以外）に  
うかがいます。>  
問17-1 利用したい場所はどちらですか。



幼稚園・保育所などの事業等を定期的にご利用したい場所は、「登別市内」が79.6%を占め、「市外」は9.0%となっている。

他市町村を利用したい最も大きい理由【1つ選択】－「市外」を選んだ方



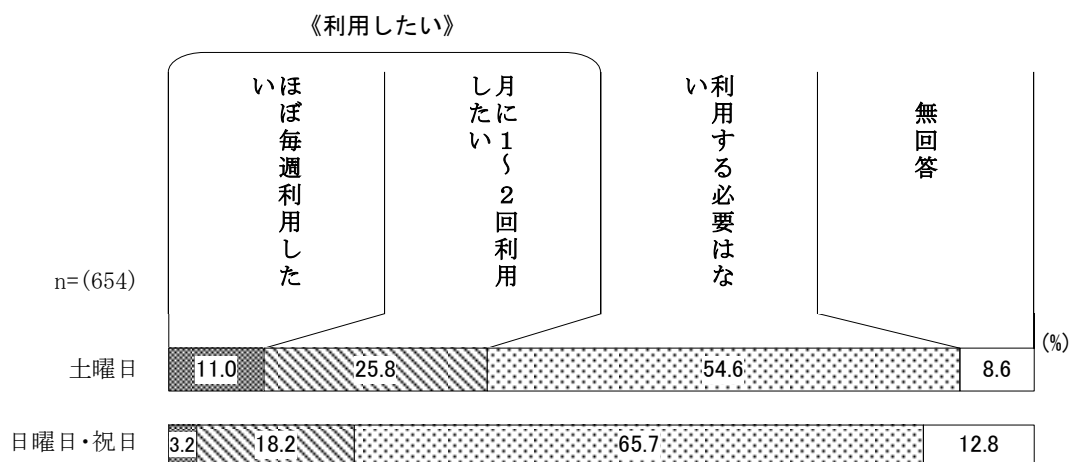
他市町村を利用したい最も大きい理由は、「教育・保育の内容」が31.6%で最も多く、以下、「勤務先がある」（15.8%）、「通勤経路」（14.0%）が1割台で続いている。

## 6. 土・日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望

### (1) 土・日・祝日の幼稚園・保育所などの利用希望

問18 あて名のお子さんについて、土・日・祝日における定期的な幼稚園・保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除く）。「土曜日」、「日曜日・祝日」ごとに当てはまる番号に○をつけてください。また、利用希望がある方は時間帯も記入してください。利用時間の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

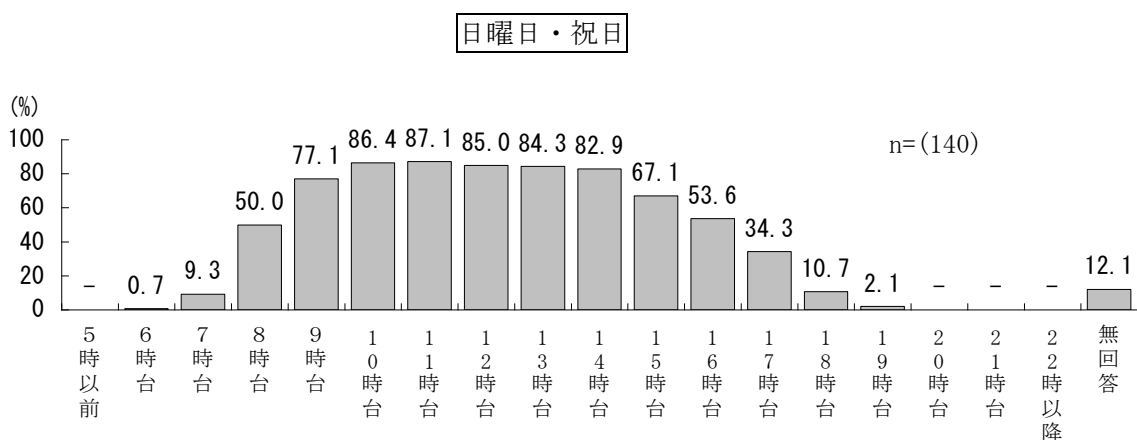
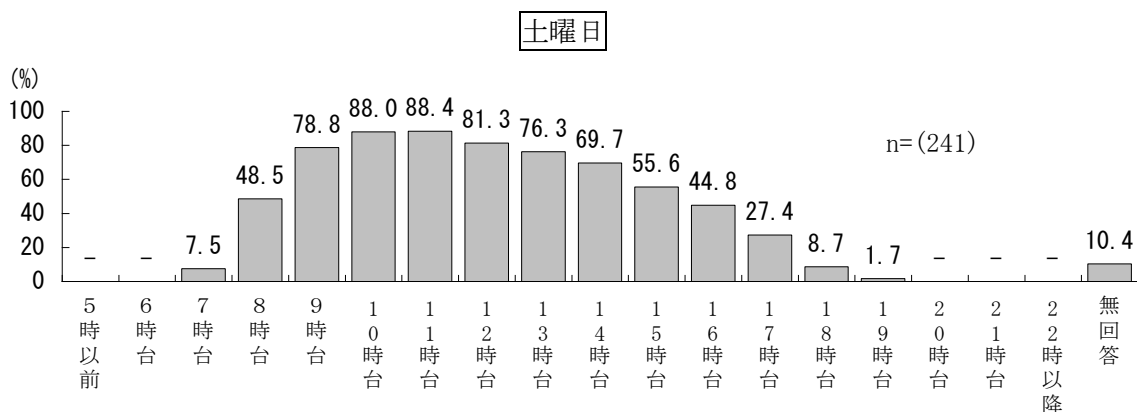
#### 利用意向



土曜日における定期的な幼稚園・保育所などの利用希望（一時的利用は除外）は、「ほぼ毎週利用したい」が11.0%、「月に1～2回利用したい」が25.8%で、両者をあわせた《利用したい》は36.8%となっている。一方、「利用する必要はない」は54.6%となっている。

日曜日・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が3.2%、「月に1～2回利用したい」が18.2%で、両者をあわせた《利用したい》は21.4%と土曜日より少なくなっている。

利用したい時間帯－《利用したい》を選んだ方

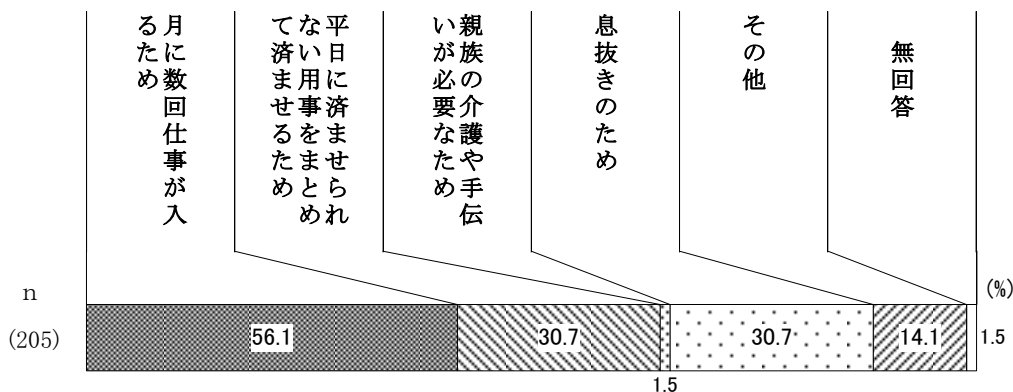


《利用したい》人の土曜日の利用希望時間帯は「10時台」～「12時台」が8割台を占め、「9時台」(78.8%)と「13時台」(76.3%)が7割台、「14時台」でも69.7%と多くなっている。

日曜日・祝日の利用希望時間帯は「10時台」～「14時台」が8割台を占め、「9時台」(77.1%)、「15時台」(67.1%)も多くなっている。

（2）幼稚園・保育所などを不定期に利用したい理由（土、日・祝）

＜問18の土曜日または日曜日・祝日で「月に1～2回利用したい」に1つでも○をつけた方にうかがいます。＞  
 問18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



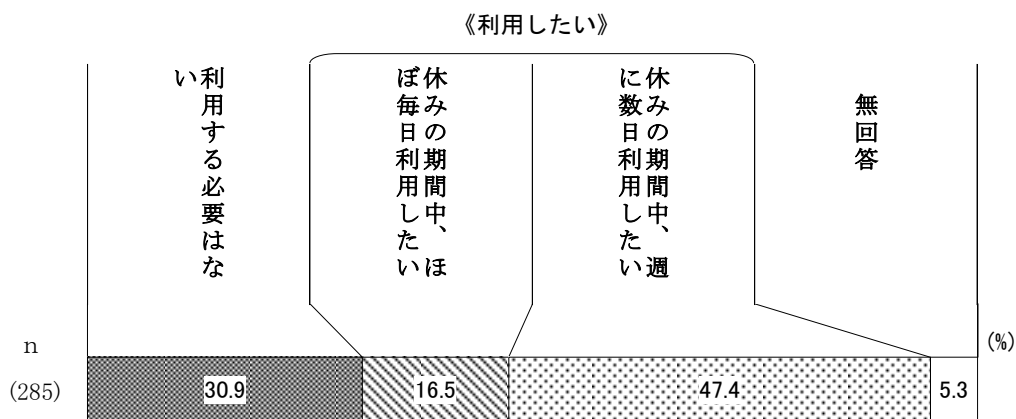
土曜日または日曜日・祝日で、ほぼ毎週の利用希望ではなく、月に1～2回利用したい理由を聞いたところ、「月に数回仕事が入るため」が56.1%で最も多く、これに「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」と「息抜きのため」がともに30.7%が続いている。

（3）長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望

＜「幼稚園を利用されている方」にうかがいます。＞

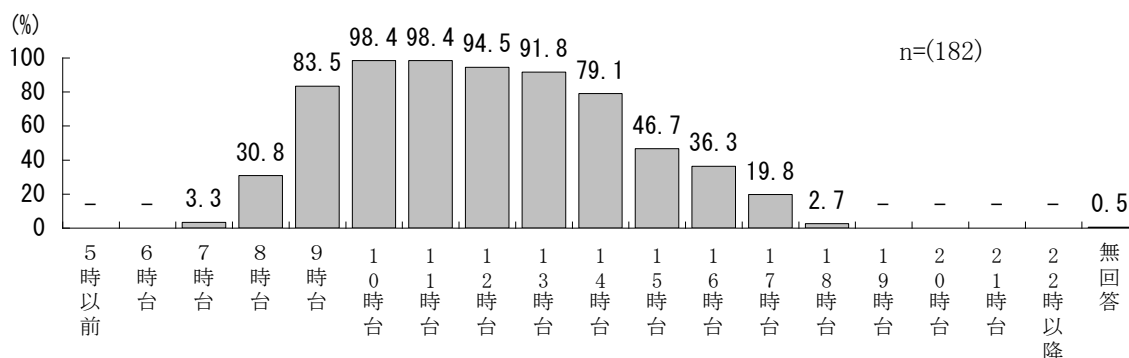
問19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中に幼稚園・保育所などの利用を希望しますか。希望する場合は利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

利用意向



夏休み・冬休みなど長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.4%で、両者をあわせた《利用したい》は63.9%となっている。一方、「利用する必要はない」も30.9%と比較的多くなっている。

利用したい時間帯－《利用したい》を選んだ方



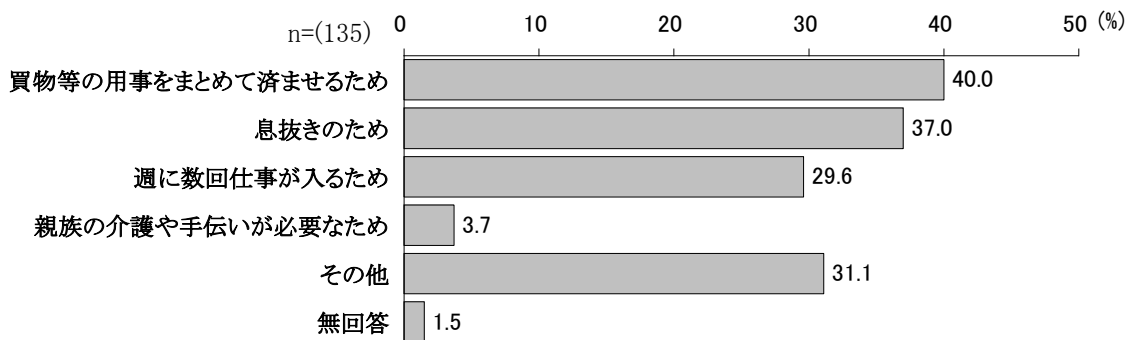
《利用したい》人の利用希望時間帯は「10時台」～「13時台」が9割台を占め、「9時台」（83.5%）、「14時台」（79.1%）も多くなっている。



（4）幼稚園・保育所などを不定期に利用したい理由（長期休暇中）

＜問19で「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。＞

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。



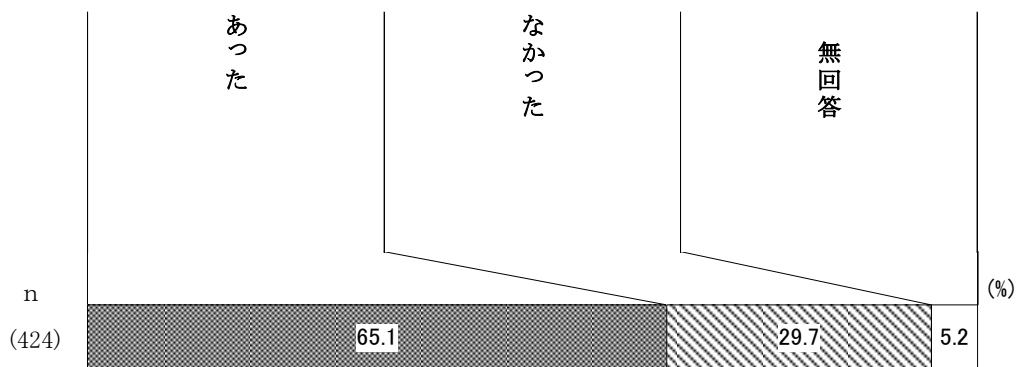
夏休み・冬休みなど長期休暇中、ほぼ毎日の利用希望ではなく、週に数日利用したい理由を聞いたところ、「買物等の用事をまとめて済ませるため」が40.0%で最も多く、以下、「息抜きのため」（37.0%）、「週に数回仕事が入るため」（29.6%）などが続いている。なお、「その他」の内容としては、“子どもの気分転換のため”（20件）が特に多く、“就労のため”（6件）、“預けている祖父母の負担軽減のため”（4件）などがあげられている。

## 7. 子どもの病気の際の対応

### (1) 病気等で幼稚園・保育所などを利用できなかった経験

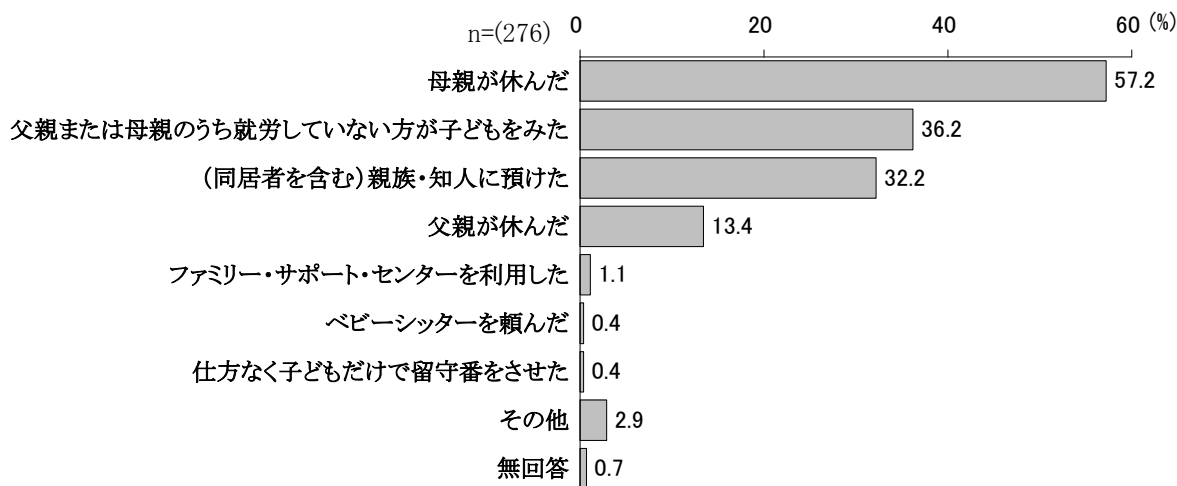
＜問16で幼稚園・保育所などを平日、定期的にご利用していると答えた方へうかがいます。＞  
 ＜利用していない方は、問21へお進みください。＞  
 問20 この1年間にあて名のお子さんが病気やケガのために通常の幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありますか。利用できなかったことがあった場合は「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数もお答えください。

#### 利用できなかったことの有無【どちらか選択】



子どもが病気やけがで通常の幼稚園・保育所などの利用ができなかったことが「あった」は65.1%、「なかった」は29.7%となっている。

#### 1年間の対処方法【複数選択可】－（利用できないことが）「あった」を選んだ方



利用できないことがあった人の1年間の対処方法としては、「母親が休んだ」が57.2%で最も多く、以下、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」(36.2%)、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(32.2%)が3割台で続いている。

**年間日数【数字を記入】**

	調査数	日／年 (平均)
父親が休んだ	36	3
母親が休んだ	137	8
(同居者を含む) 親族・知人に預けた	82	7
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	83	8
ファミリー・サポート・センターを利用した	3	2
ベビーシッターを頼んだ	1	20
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	3
その他	8	6

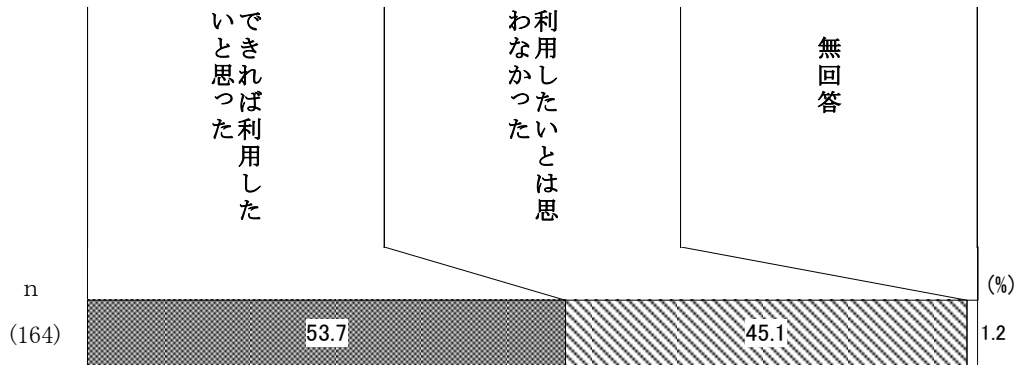
年間の平均日数は、「母親が休んだ」と「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が8日、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」が7日となっている。

### （2）病児・病後児保育の利用意向と希望状況

＜問20の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方にかがいます。＞

問20-1 その際、できれば「病児・病後児保育」を利用したいと思われましたか。思われた場合は年間の希望日数と利用したい事業をお答えください。

#### 病気の際の意向【どちらか選択】



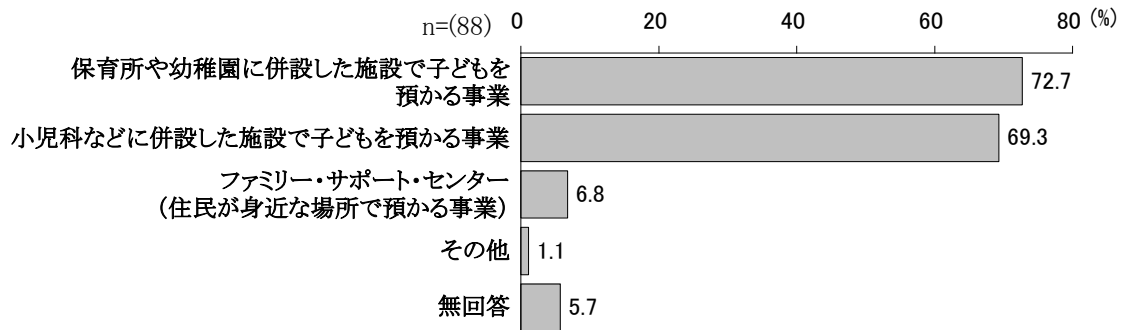
父親あるいは母親が休んで対処した際、病児・病後児保育を「できれば利用したいと思った」は53.7%、「利用したいとは思わなかった」は45.1%となっている。

#### 希望日数【数字を記入】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方

調査数	日/年 (平均)
78	9

病児・病後児保育を利用したいと思った方の希望日数は平均9日となっている。

#### 利用したい事業【複数選択可】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方



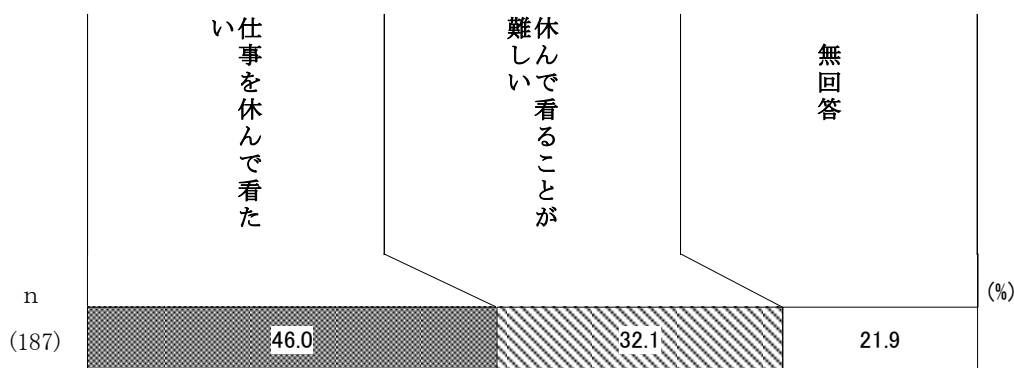
病児・病後児保育で利用したい事業は、「保育所や幼稚園に併設した施設で子どもを預かる事業」が72.7%、「小児科などに併設した施設で子どもを預かる事業」が69.3%で多くなっている。

（3）子どもが病気の際に仕事を休んで看たい意向と希望日数

＜問20の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方にうかがいます。＞

問20-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。思われた場合は「仕事を休んで看たい」年間の希望日数をお答えください。

希望の有無【どちらか選択】



父親、あるいは母親が仕事を休んで子どもを看ることができなかった際、仕事を休んで看たいと思ったかどうか聞いた。「仕事を休んで看たい」は46.0%、「休んで看ることが難しい」は32.1%となっている。

希望日数【数字を記入】－「仕事を休んで看たい」を選んだ方

調査数	日/年 (平均)
83	8

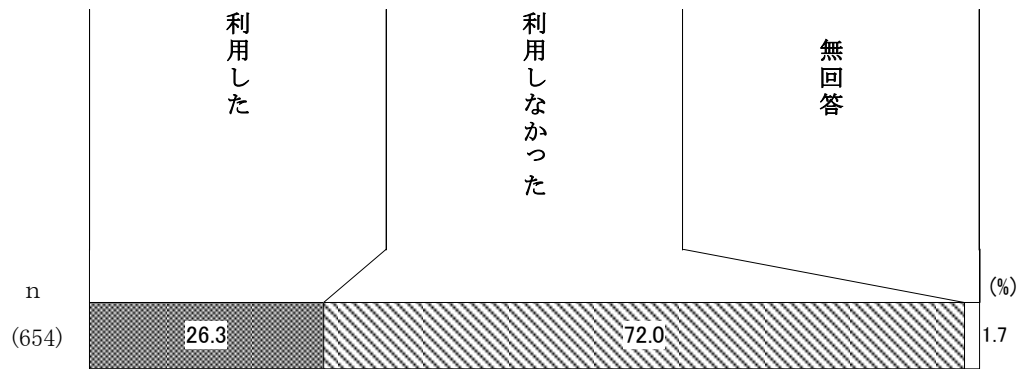
仕事を休んで看たい希望日数は、平均8日となっている。

## 8. 一時預かり等の利用状況

### (1) 一時預かり等の事業の利用状況

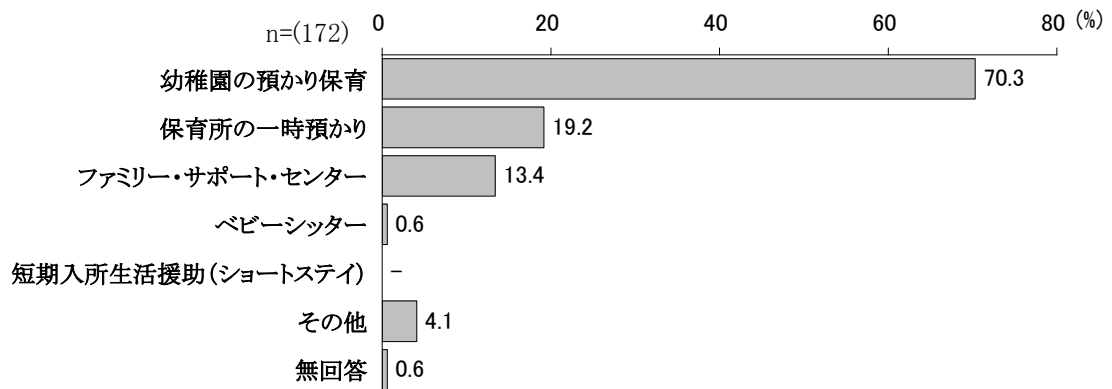
問2 1 あて名のお子さんについて、一時預かり等の事業を利用したことがありますか。

#### 利用の有無【どちらか選択】



一時預かり等の事業の利用状況は「利用した」が26.3%、「利用しなかった」が72.0%を占めている。

#### 利用した事業【複数選択可】－「利用した」を選んだ方



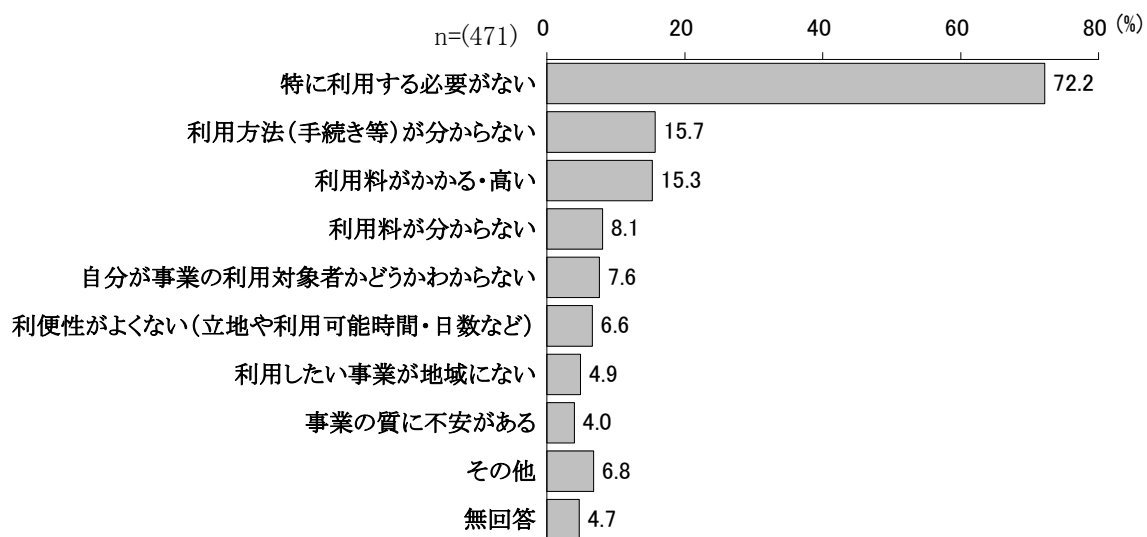
利用した事業は、「幼稚園の預かり保育」が70.3%で特に多く、「保育所の一時預かり」(19.2%)、「ファミリー・サポート・センター」(13.4%)が1割台となっている。

## 年間利用日数【数字を記入】

	調査数	日／年 (平均)
保育所の一時預かり	29	18
幼稚園の預かり保育	117	17
ファミリー・サポート・センター	22	12
短期入所生活援助（ショートステイ）	—	—
ベビーシッター	1	4
その他	6	17

年間の平均利用日数は、「保育所の一時預かり」が18日、「幼稚園の預かり保育」が17日、「ファミリー・サポート・センター」が12日となっている。

## 利用しなかった理由【複数選択可】－「利用しなかった」を選んだ方

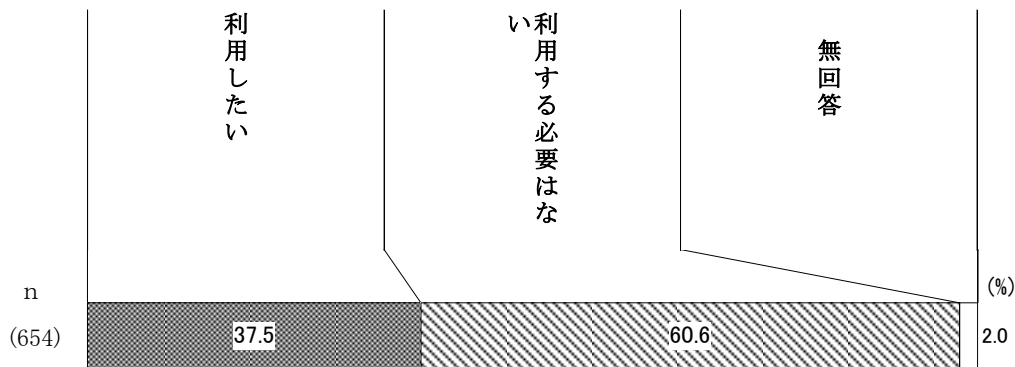


一時預かり等の事業を利用しなかった理由は、「特に利用する必要がない」が72.2%で特に多く、以下、「利用方法（手続き等）が分からない」（15.7%）、「利用料がかかる・高い」（15.3%）が1割台で続いている。

（2）私用目的で不定期に利用したい事業

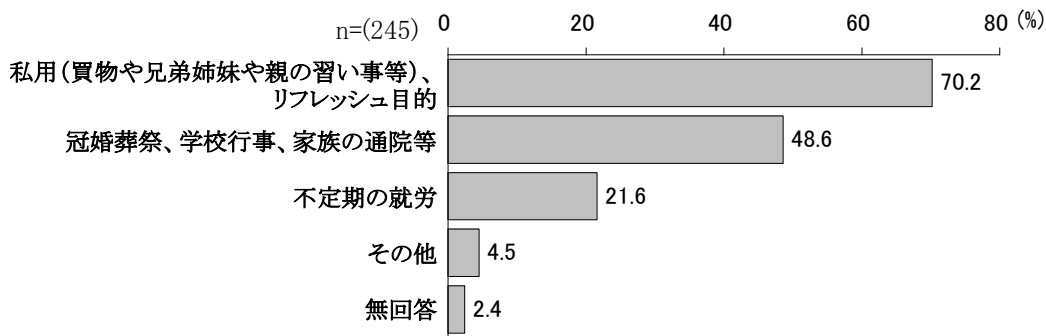
問22 あて名のお子さんについて、幼稚園・保育所などや病気のための事業以外に、私用（買い物・習い事等）の目的で不定期に利用したい事業はありますか。

利用希望の有無【どちらか選択】



私用の目的で不定期に事業を「利用したい」は37.5%、「利用する必要はない」は60.6%となっている。

利用目的【複数選択可】－「利用したい」を選んだ方



利用目的は、「私用（買い物や兄弟姉妹や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が70.2%で特に多く、以下、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」（48.6%）、「不定期の就労」（21.6%）が続いている。

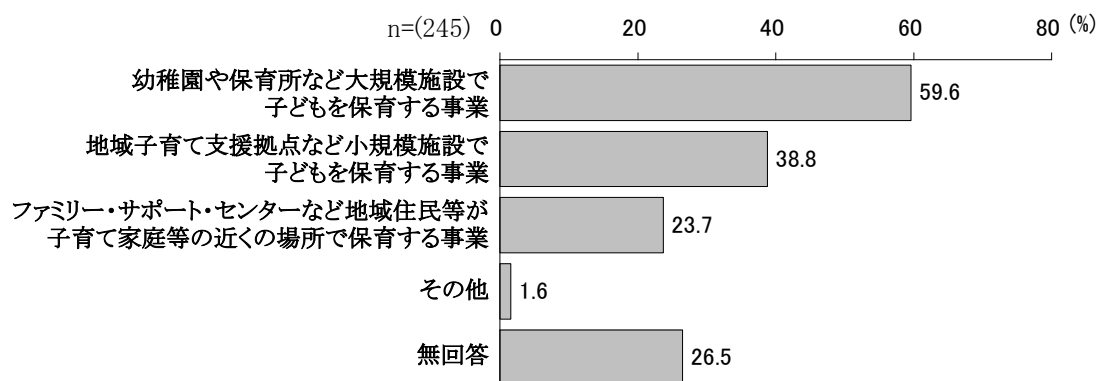


**年間利用希望日数【数字を記入】**

	調査数	日／年 (平均)
私用の利用希望日数	150	14
冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等の利用希望日数	98	7
不定期の就労の利用希望日数	35	18
その他の利用希望日数	11	22

年間の平均利用希望日数は「不定期の就労」が18日、「私用（買物や兄弟姉妹や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が14日、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が7日となっている。

**利用したい事業【複数選択可】－「利用したい」を選んだ方**

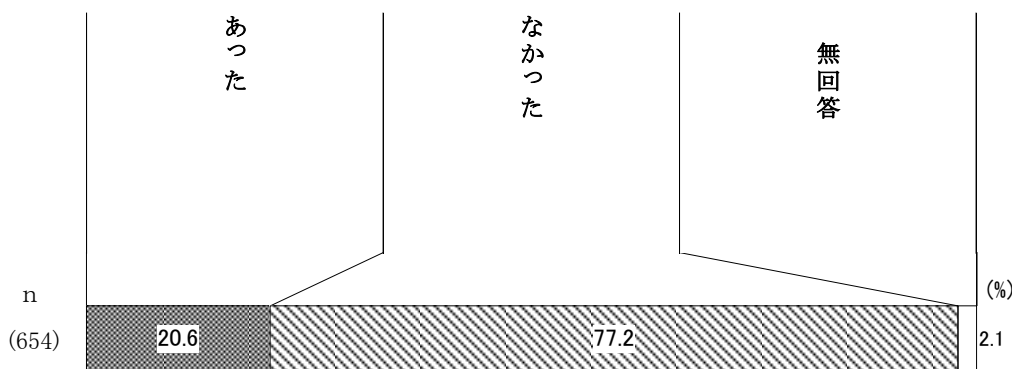


利用したい事業は、「幼稚園や保育所など大規模施設で子どもを保育する事業」が59.6%で最も多く、以下、「地域子育て支援拠点など小規模施設で子どもを保育する事業」（38.8%）、「ファミリー・サポート・センターなど地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」（23.7%）が続いている。

（3）家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去1年間）とその対応

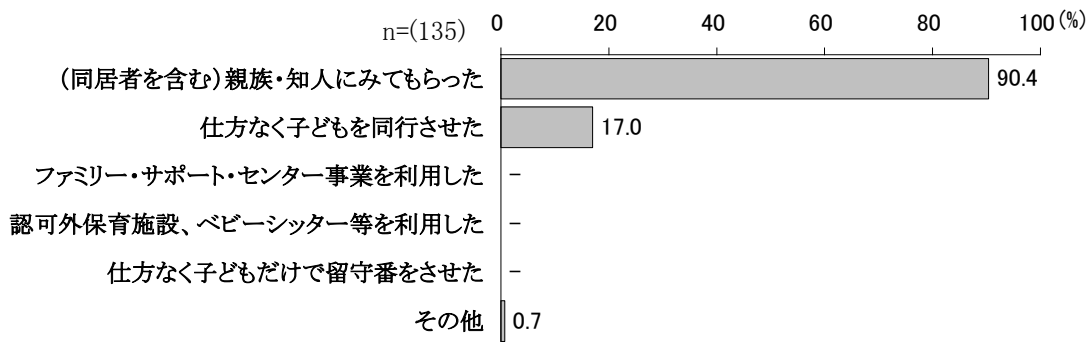
問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合には「その際の対応」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

発生状況【どちらか選択】



この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」は20.6%、「なかった」は77.2%となっている。

その際の対応【複数選択可】－（みてもらう必要が）「あった」を選んだ方



この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対応は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が90.4%で特に多く、これに「仕方なく子どもを同行させた」(17.0%)が続いている。

## 年間利用日数【数字を記入】

	調査数	日／年 (平均)
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	117	8
ファミリー・サポート・センター事業を利用した	—	—
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	—	—
仕方なく子どもを同行させた	19	7
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	—	—
その他	1	48

年間の平均利用日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が8日、「仕方なく子どもを同行させた」が7日となっている。

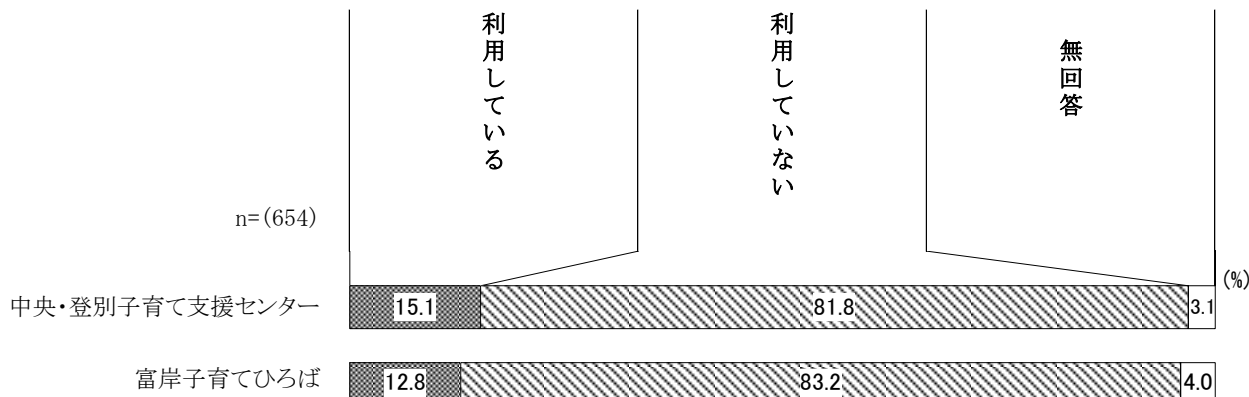
## 9. 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況

### (1) 市の子育て支援センターや子育てひろばの利用状況および利用意向

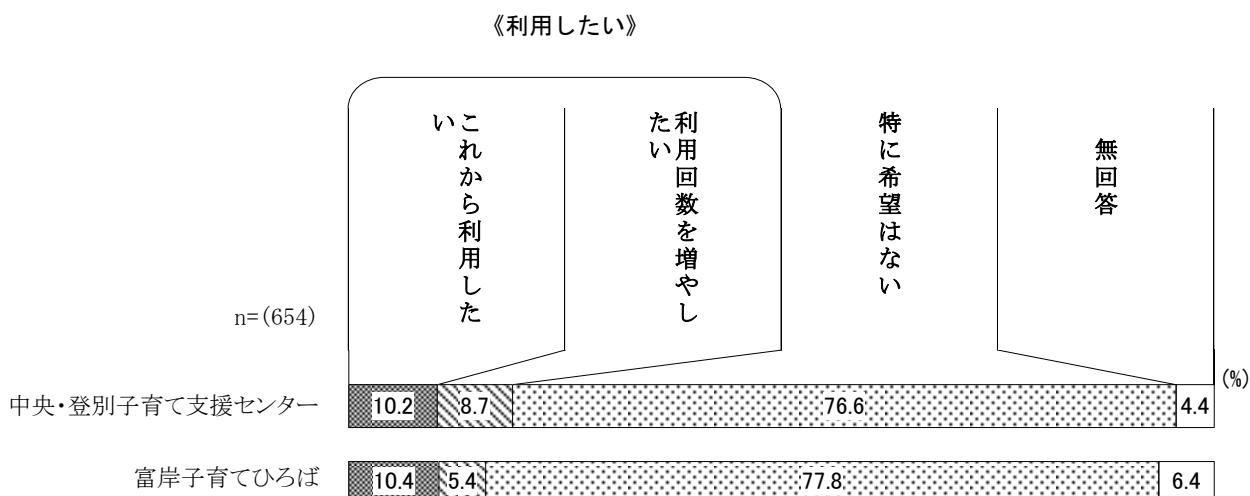
問24 あて名のお子さんについて、現在、「中央・登別子育て支援センター」や「富岸子育てひろば」を利用していますか。

問25 今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいという希望はありますか。

#### 利用状況



#### 利用希望



#### ◆「中央・登別子育て支援センター」

現在、中央・登別子育て支援センターを「利用している」は15.1%、「利用していない」は81.8%となっている。今後の利用意向では、「これから利用したい」が10.2%、「利用回数を増やしたい」が8.7%で両者をあわせた《利用希望あり》は18.9%となっている。

#### ◆「富岸子育てひろば」

現在、富岸子育てひろばを「利用している」は12.8%、「利用していない」は83.2%となっている。今後の利用意向では、「これから利用したい」が10.4%、「利用回数を増やしたい」が5.4%で両者をあわせた《利用希望あり》は15.8%となっている。

利用回数（1週当たり／1月当たり）－現状：「利用している」／希望：「これから利用したい」、  
あるいは「利用回数を増やしたい」を選んだ方

	「中央・登別子育て支援センター」				「富岸子育てひろば」			
	調査数	回／週 (平均)	調査数	回／月 (平均)	調査数	回／週 (平均)	調査数	回／月 (平均)
現 状	33	2	72	2	17	2	65	2
希 望	58	2	53	3	44	2	41	3

◆「中央・登別子育て支援センター」

現在、中央・登別子育て支援センターを「利用している人」の1週当たりの平均利用回数は現状、希望ともに2回となっている。また1月当たりの平均利用回数では現状が2回、希望が3回となっている。

◆「富岸子育てひろば」

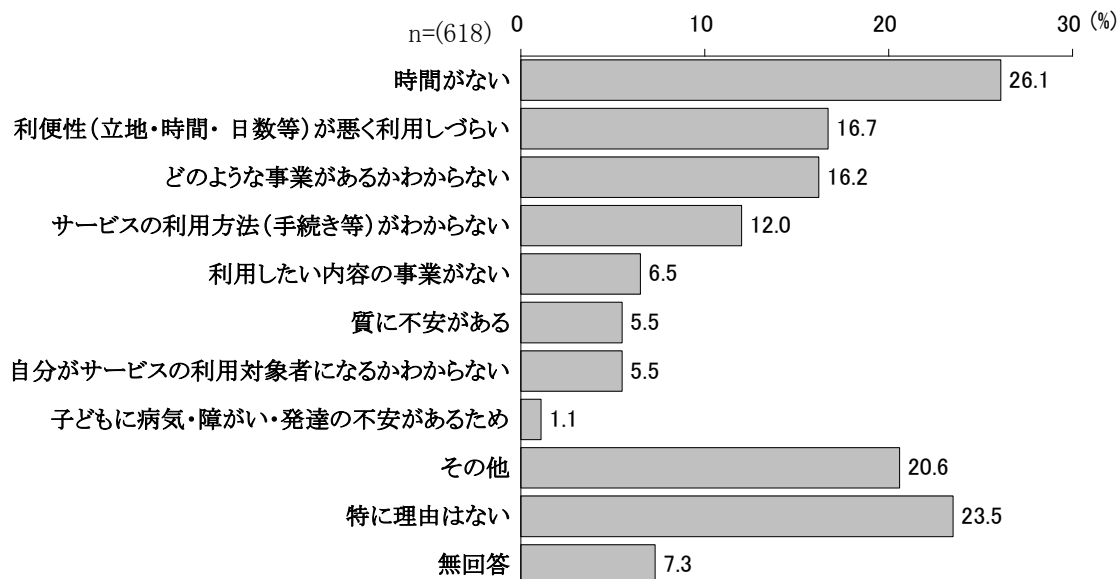
現在、富岸子育てひろばを「利用している」人の1週当たりの平均利用回数は現状、希望ともに2回となっている。また1月当たりの平均利用回数は現状が2回、希望が3回となっている。

（2）子育て支援センターや子育てひろばを利用していない／利用希望がない理由

＜問24で「利用していない」、または問25で「特に希望はない」を1つでも選んだ方におたずねします。＞

問25-1 現在利用していない、または今後特に希望はない理由をお答えください。

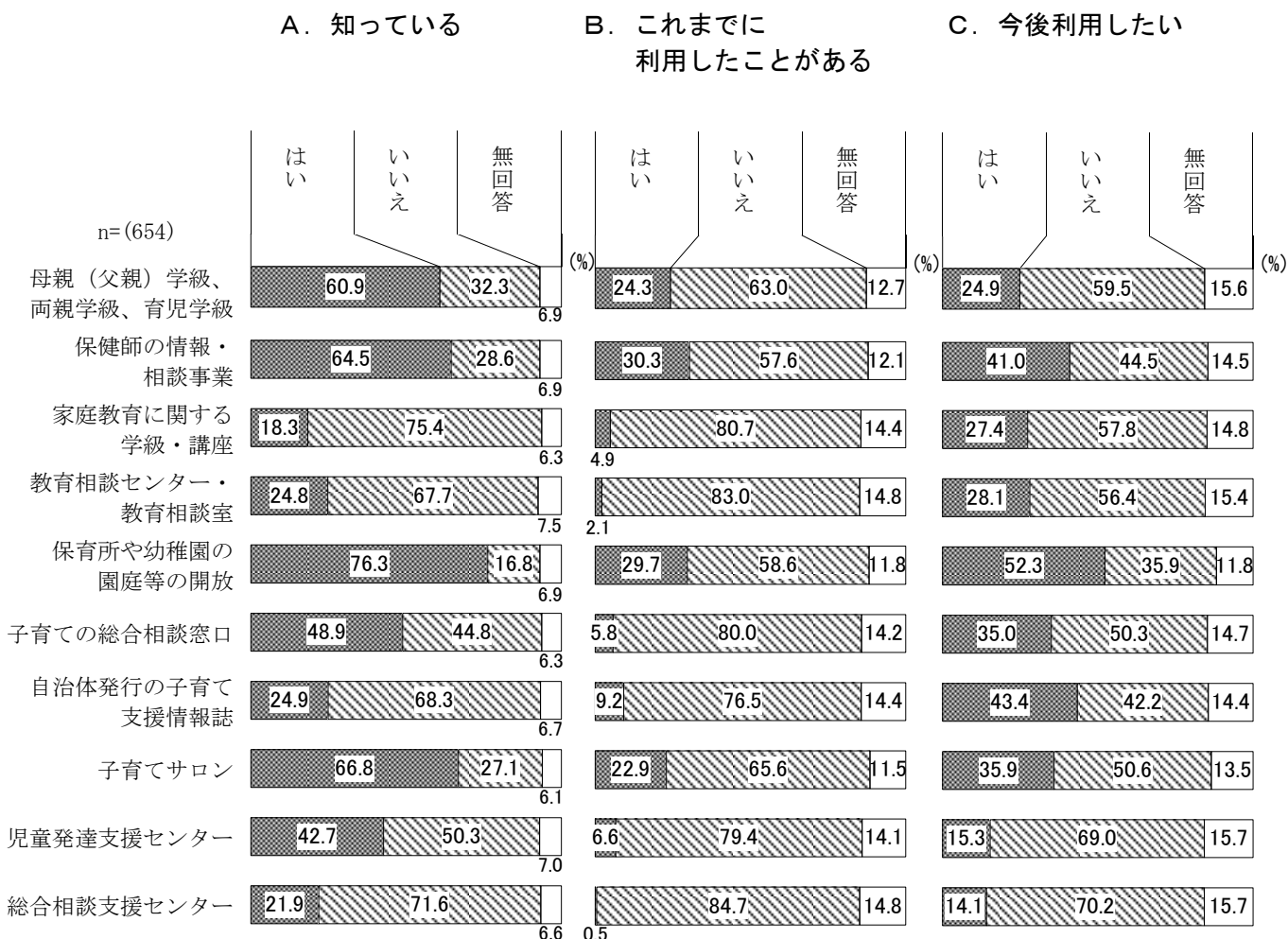
（当てはまる番号すべてに○）



現在利用していない、または今後特に希望はない理由は、「時間がない」が26.1%で最も多く、以下、「利便性（立地・時間・日数等）が悪く利用しづらい」（16.7%）、「どのような事業があるかわからない」（16.2%）、「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」（12.0%）が1割台で続いている。また、「特に理由はない」も23.5%と比較的多くなっている。

（3）知っている、利用経験のある事業等

問26 次の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。（1）～（10）の事業等ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。  
 ・お住まいの地域によっては、実施されていないものもあります。



上記の事業等で知っているものは、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が76.3%で最も多く、「子育てサロン」（66.8%）、「保健師の情報・相談事業」（64.5%）、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（60.9%）が6割台、「子育ての総合相談窓口」（48.9%）、「児童発達支援センター」（42.7%）が4割台となっている。

これまでに利用したことがあるものは、「保健師の情報・相談事業」が30.3%で最も多く、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（29.7%）、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」（24.3%）、「子育てサロン」（22.9%）が2割台となっている。

今後利用したいと思うものは、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が52.3%で最も多く、「自治体発行の子育て支援情報誌」（43.4%）、「保健師の情報・相談事業」（41.0%）が4割台となっている。

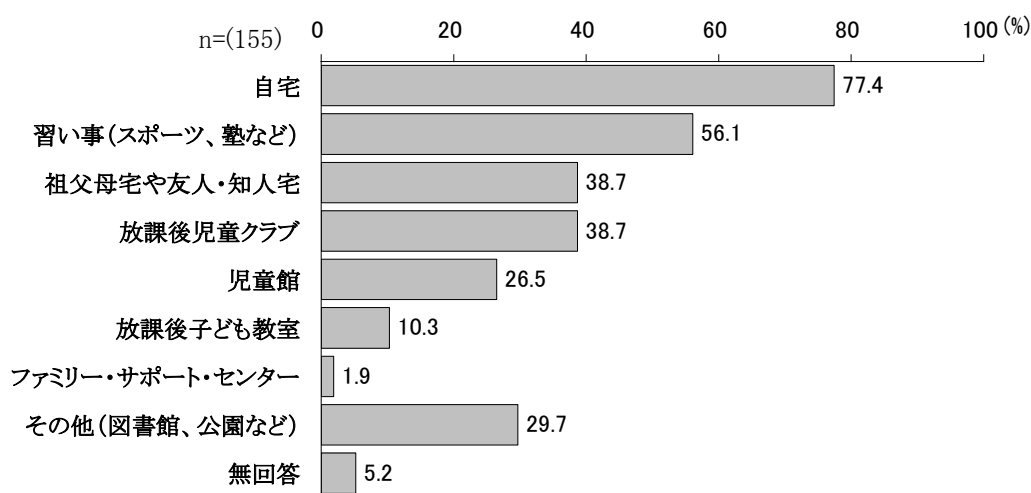
## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方

<子どもが来年（H26.4.1）から小学生になる方>

### （1）小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所

問27 お子さんが小学校に就学された後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいとお考えですか。低学年時（1～3年生）と高学年時（4～6年生）に分けて、それぞれ希望する場所と週当たりの希望日数をお答えください。

#### 希望する場所【複数選択可】



子どもが小学校に就学した後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかを聞いたところ、「自宅」が77.4%で最も多く、以下、「習い事（スポーツ、塾など）」（56.1%）、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後児童クラブ」（ともに38.7%）が続いている。

#### 週当たりの希望日数【数字を記入】

	低学年時(1～3年生)		高学年時(4～6年生)	
	調査数	日/週 (平均)	調査数	日/週 (平均)
自宅	102	3.5	99	3.3
祖父母宅や友人・知人宅	55	2.2	47	2.2
習い事(スポーツ、塾など)	77	1.6	72	2.1
ファミリー・サポート・センター	3	3.7	2	3.0
児童館	35	2.4	30	2.7
放課後児童クラブ	60	4.4	27	3.9
・放課後児童クラブの利用希望(終了時間)	54	1.7時	19	1.8時
放課後子ども教室	15	2.5	14	2.4
その他(図書館、公園など)	45	2.4	39	2.7

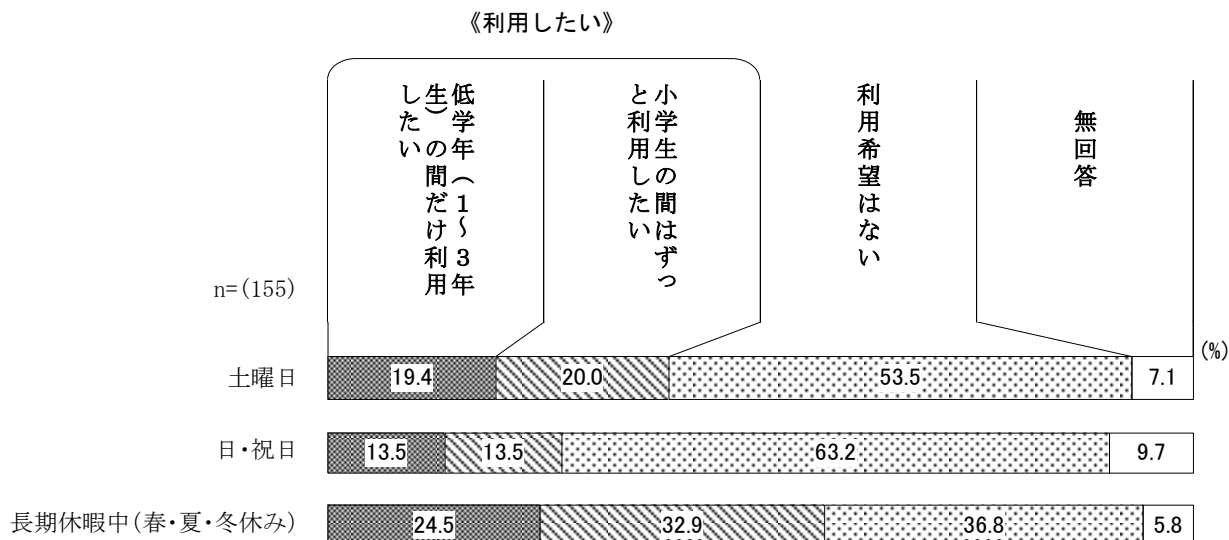


週当たりの希望日数を低学年時（1～3年生）と高学年時（4～6年生）に分けて聞いた。

低学年時では、「放課後児童クラブ」が平均4.4日、「ファミリー・サポート・センター」が平均3.7日、「自宅」が平均3.5日となっている。高学年時では、「放課後児童クラブ」が平均3.9日、「自宅」が平均3.3日、「ファミリー・サポート・センター」が平均3.0日となっている。なお、「放課後児童クラブ」の利用希望（終了時間）の平均時間は低学年時が17時、高学年時が18時となっている。

（2）土日祝、長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望

問28 土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）について、放課後児童クラブの利用希望をお答えください。



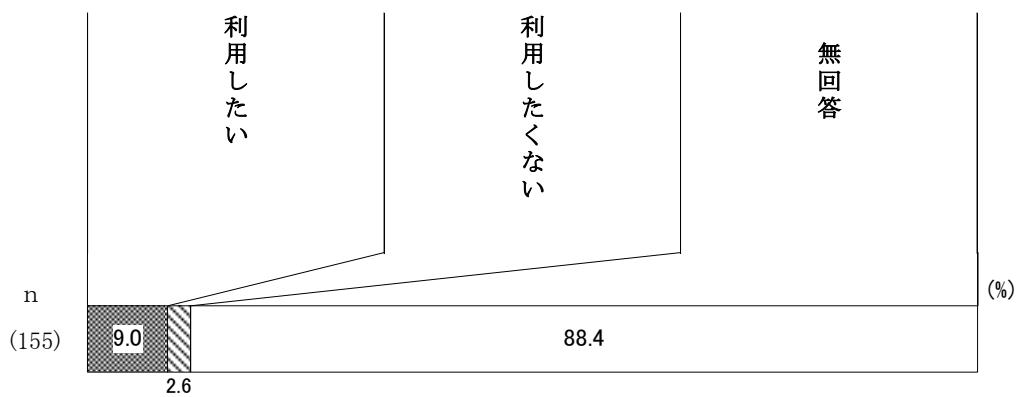
土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）の放課後児童クラブの利用希望について聞いた。土曜日では、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」が19.4%、「小学生の間はずっと利用したい」が20.0%で、両者をあわせた《利用したい》は39.4%となっている。

日・祝日では、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」と「小学生の間はずっと利用したい」がともに13.5%で、両者をあわせた《利用したい》は27.0%となっている。

長期休暇中（春・夏・冬休み）では、「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」が24.5%、「小学生の間はずっと利用したい」が32.9%で、両者をあわせた《利用したい》は57.4%となっており、長期休暇中の利用希望が土曜日、日・祝日より多くなっている。

（3）療育専門機関による放課後保育の利用意向（障がい児等）

問29 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にうかがいます。  
療育の専門機関で放課後の保育を実施したら利用したいですか。



療育の専門機関で放課後の保育を実施した場合、「利用したい」は9.0%、「利用したくない」は2.6%となっている。

（4）放課後を安心して過ごすために必要な支援（障がい児等）

問29-1 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にうかがいます。放課後を安心して過ごすためには、どのような支援があればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

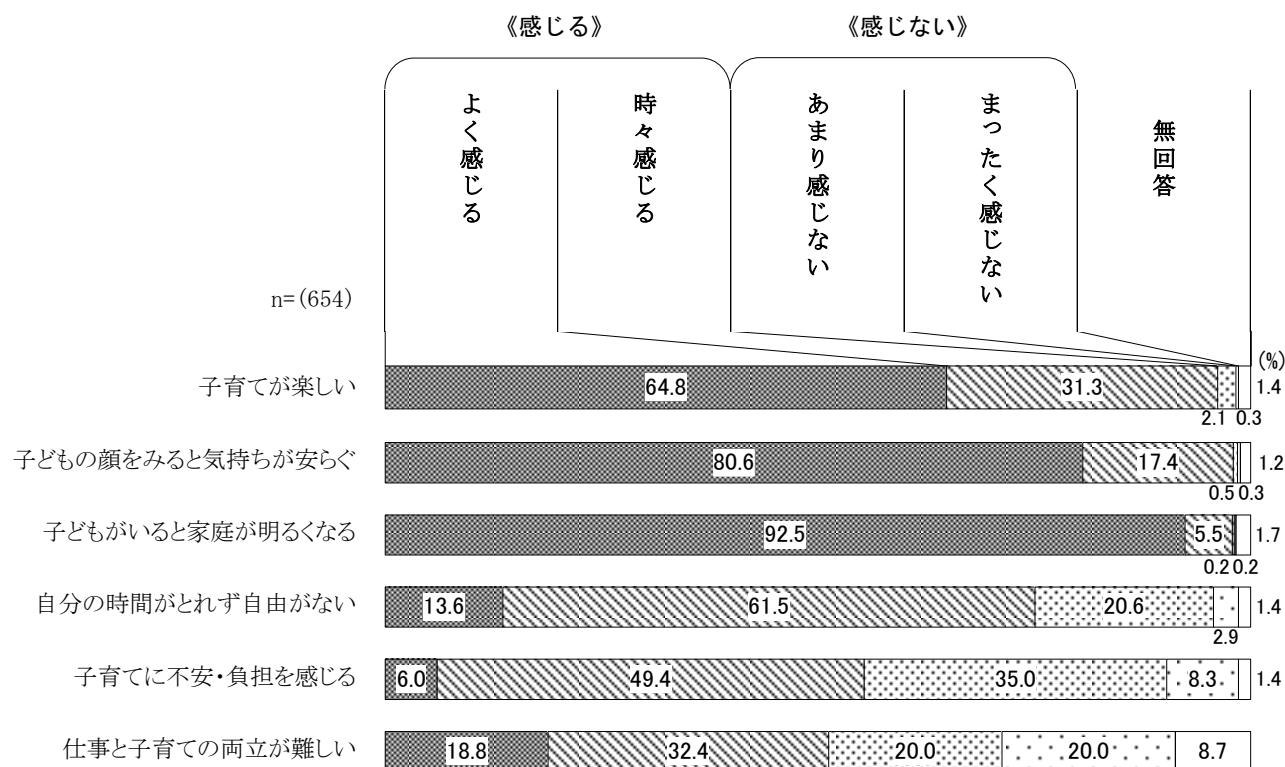
記入は12件のため全文を掲載する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブでも専門の先生をつけてくれると助かると思います。あと障害のことについて相談できる人をつけてほしいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の激しい道を歩くときに大人の目があったら安心</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと先生方（専門の）がそばにいて様子を見てくれたら安心です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気や障害についてもっと知識や理解のある専門の方がついてみていただければ安心だと思います。その個々によって性格や違いがあるので、もっと勉強されてはよいかと思います。はっきり言って、登別市の療育機関はまだまだ勉強不足だと思います。（言葉づかいや指導の仕方をみていて思いました）もっと本気で子どもたちと向き合ってほしいと思いました。（デイサービスのぞみ園の方）。今はデイサービスのぞみ園には行かず、ことばの教室に行っております。ことばの教室の先生方はとても親身にいろいろご指導していただいておりますが、デイサービスの見学の際、いろいろな不安な所がたくさんあって、行くのをやめました。それぞれの指導によって偏りがあるのは親として不安になる事はでてくると思います。登別の中だけの療育ではなく、他の市や街での療育を見聞されて勉強する事も大切です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強について行けるかが不安なので、子どものペースに合わせて教えてもらえる放課後学級がある（授業時に理解できなかった所を）と助かる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内で先生1人か2人で預かってもらうといいのでは。他の場所へ歩いて移動とかより、通っている学校の図書室などでお迎えを待っていてくれる方が安心する。病気や障がいだけに限らず、通っている学校に仕事が終わったら子どもを迎えに行けるようにしてほしいです。あと、放課後習い事を学校内で先生を呼んで受けたい人だけ受ける習い事もあれば利用したいです（特別授業的なもの、英語とか体操など体を使う事）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はまだわかりません。実際に就学してから色々な希望が出てくると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブの時、1人先生についてもらいたいです。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の専門機関での実施。障がいに理解のある方に支援していただきたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の関わりをサポートしてくれる支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気や障がい、発達に不安がある子、親ともに多くの事に悩みます。それを理解していただける保育者の方々や環境があれば、子どもも安心して過ごせる事から親も安心して預けられると思います。その子その子に合った対応が出来る保育者が第1かも知れません。密な連絡の取り合い。いつも目がいきとどける状態。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる所に児童クラブがないので作ってほしい。母子に対して配慮があまりにも薄く、預ける施設があっても料金がかかり、家計の負担になり、生活が困難になるので結局預ける事ができない。市の対応があまりにも悪すぎ。</li> </ul>

## 11. 子育て支援全般

### (1) 子育てをされていて感じること

問30 子育てをされていて感じることはありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。



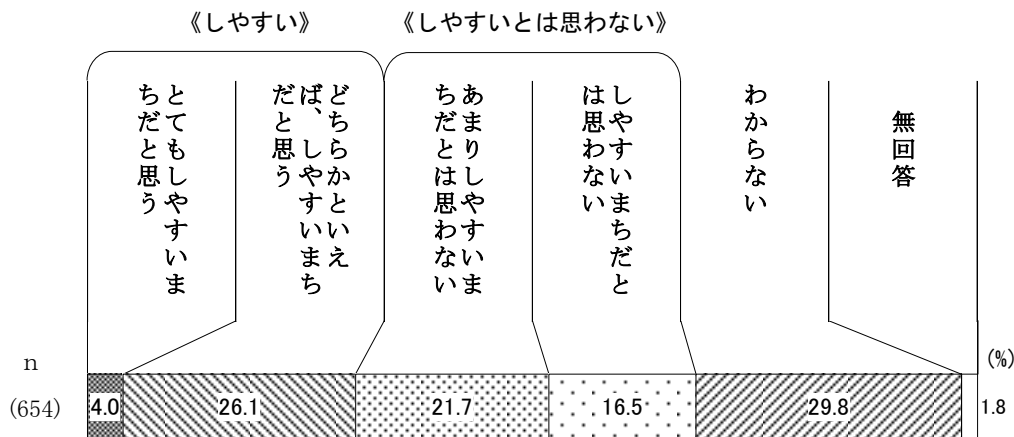
子育てをされていて感じることを聞いた。

「よく感じる」は“子どもがいると家庭が明るくなる”が92.5%と多く、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”でも80.6%と多くなっている。これに「時々感じる」をあわせた《感じる》で見ると、“子どもがいると家庭が明るくなる”、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”（ともに98.0%）、“子育てが楽しい”（96.1%）といったプラス的な項目ではいずれも9割台を占めて多くなっている。

一方、マイナス的な項目として《感じる》では、“自分の時間がとれず自由がない”が75.1%と多く、“子育てに不安・負担を感じる”や“仕事と子育ての両立が難しい”も5割台となっている。

（2）市の子育てのしやすさとその理由

問3 1 登別市は子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（1つに○）



登別市が子育てしやすいまちかどうか聞いたところ、「とてもしやすいまちだと思う」は4.0%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思う」は26.1%で、両者をあわせた《しやすいまち》は30.1%となっている。一方、「しやすいまちだとは思わない」は16.5%、「あまりしやすいまちだとは思わない」は21.7%で、両者をあわせた《しやすいとは思わない》は38.2%となっている。また、「わからない」も約3割と比較的が多くなっている。

◆ 《しやすい》まちだと思う理由

しやすいと思う理由は、「施設やサービス、手当などが充実しているから」が30件と最も多い。以下、「遊び場（屋内外）や公園が多い／充実している」（22件）、「自然が多い」や「イベントや講座が多い／充実している」（ともに9件）、「情報提供や相談体制が充実している」（7件）などがあげられている。また、しやすいまちだと思うが「施設やサービス、手当・補助はもっと充実してほしい」という意見も22件あげられている。

◆ 《しやすいとは思わない》まちだと思う理由

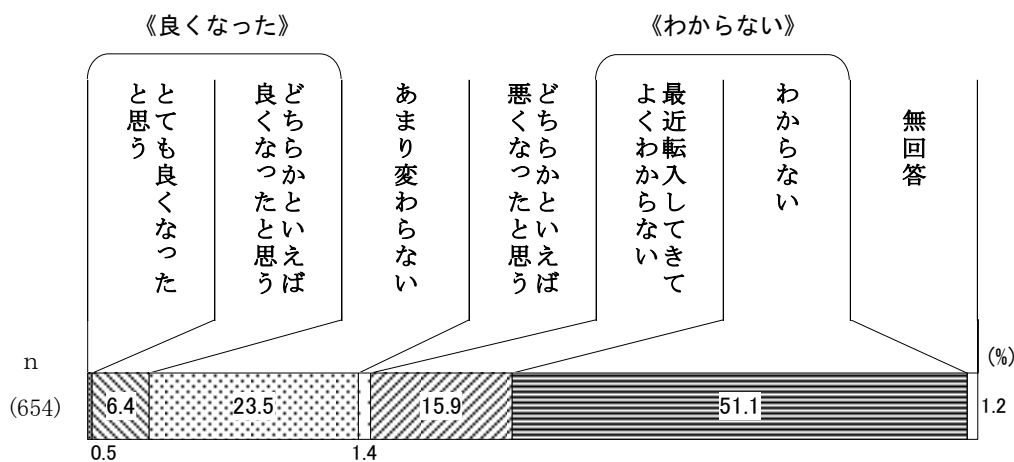
しやすいと思わない理由は、「遊び場（屋内外）や公園がない／充実していない」が63件で最も多く、以下、「子どもを預ける場が不足している」（48件）、「医療機関が少ない／充実していない」（23件）、「施設やサービス、手当・補助が少ない／充実していない」（21件）、「育児関連施設への交通の便が悪い」（14件）、「医療費が高い／医療費補助が不足」（13件）、「保育料が高い」（12件）、「病児病後児保育できる施設がない」（10件）などがあげられている。

◆ 「わからない」理由

わからない理由は、「他の自治体の子育て環境は知らないので、比較できない」が30件で最も多く、以下、「引っ越してきて間もないから」（11件）、「子どもがうまれたばかりなので」（5件）などがあげられている。

（3）以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由

問32 以前（3～5年前）に比べ、登別市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（1つに○）



以前（3～5年前）に比べ、登別市の子育て環境が良くなったかどうか聞いたところ、「とても良くなったと思う」は0.5%、「どちらかといえば良くなったと思う」は6.4%で、両者をあわせた《良くなった》は6.9%となっている。一方、「どちらかといえば悪くなったと思う」は1.4%と少なく、「あまり変わらない」が23.5%となっている。また、「最近転入してきてよくわからない」（15.9%）と「わからない」（51.1%）をあわせた《わからない》は67.0%と多くなっている。

◆ 《良くなった》と思う理由

良くなったと思う理由は、「各種施設やサービスが充実した」（17件）、「子ども向けイベントが多い」（3件）などがあげられている。

◆ 「あまり変わらない」と思う理由

あまり変わらない理由は、「変化を実感しない／改善したところが見当たらない」（29件）、「利用したいものがない／近くにない」（6件）、「遊び場（屋内外）や公園がない」（5件）などがあげられている。

◆ 「どちらかといえば悪くなったと思う」理由

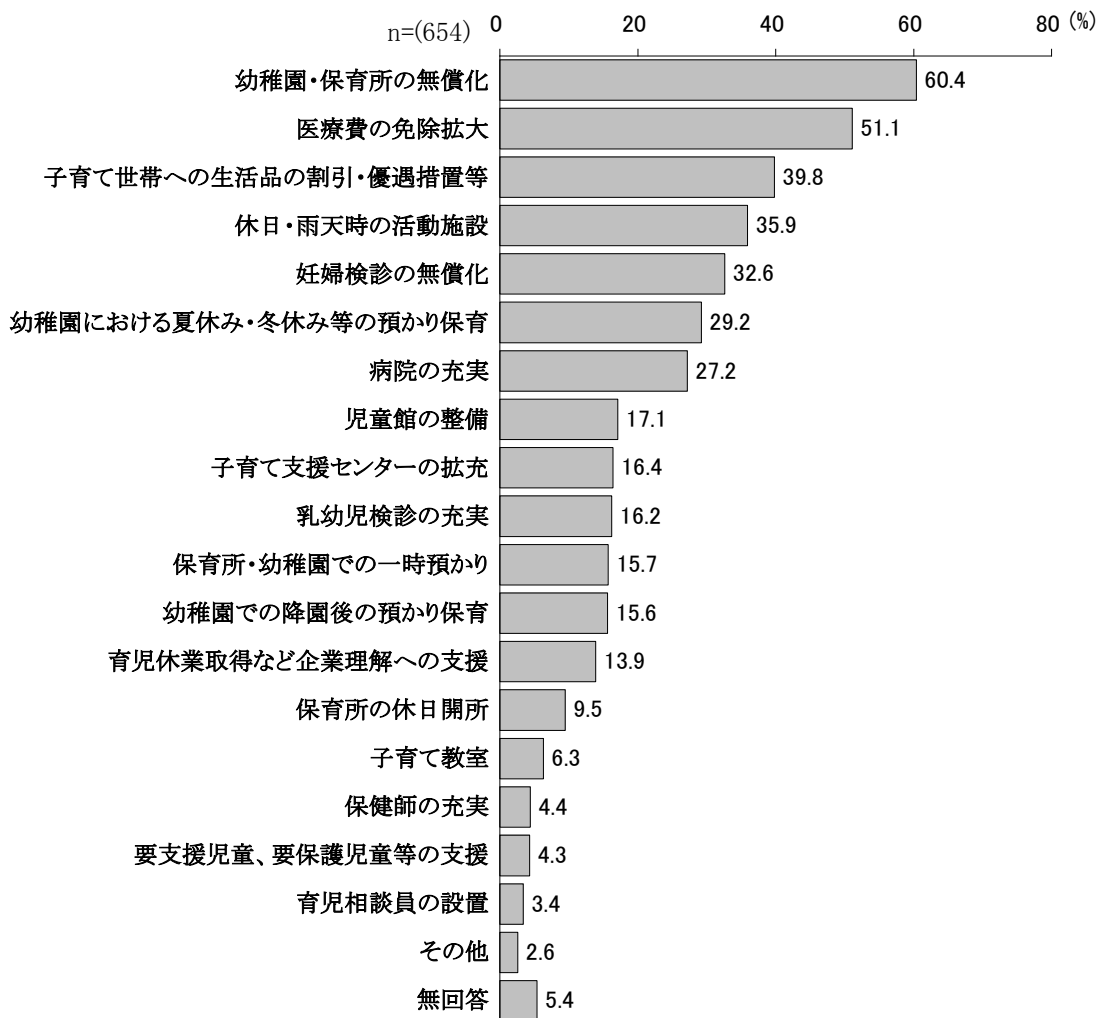
どちらかといえば悪くなったと思う理由は、「子育て関連の事業が縮小されているように感じる」（2件）、「不審者が多い」、「よくなったところが何もない」、「不正な手当受給を受ける人がいるから」（それぞれ1件）あげられている。

◆ 《わからない》理由

わからない理由は、「（転入して数年／子どもがいなかった等のため）以前と比較ができない」（86件）、「考えた（意識したこと）がない」（6件）、「変化がないから」（3件）、また「（わからないが）他自治体と比較すると劣っている」（同3件）があげられている。

（4）市に望む子育て支援策

問33 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。ある場合は該当する番号5つまでに○をつけてください。



登別市に望む子育て支援策は、「幼稚園・保育所の無償化」が60.4%で最も多く、以下、「医療費の免除拡大」(51.1%)、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」(39.8%)、「休日・雨天時の活動施設」(35.9%)、「妊婦検診の無償化」(32.6%)、「幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育」(29.2%)、「病院の充実」(27.2%)が続いている。



居住地区別に上位5位をみると、「幼稚園・保育所の無償化」はすべての地区で第1位にあげられている。「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」もすべての地区で、「医療費の免除拡大」は登別温泉・カルルス地区以外のすべての地区で上位にあげられている。また、「休日・雨天時の活動施設」と「妊婦健診の無償化」も多くの地区であげられている。この他、富岸・若山地区、幌別地区では「幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育」、登別・富浦地区、登別温泉・カルルス地区では「病院の充実」があげられ、地区による違いもみられる。

居住地区別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=654	幼稚園・保育所の無償化 60.4	医療費の免除拡大 51.1	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 39.8	休日・雨天時の活動施設 35.9	妊婦健診の無償化 32.6
鷲別・美園地区 n=144	幼稚園・保育所の無償化 59.7	医療費の免除拡大 48.6	妊婦健診の無償化／子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 35.4		休日・雨天時の活動施設 34.7
若草・新生地区 n=92	幼稚園・保育所の無償化 63.0	医療費の免除拡大 44.6	妊婦健診の無償化 35.9	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 33.7	休日・雨天時の活動施設 31.5
富岸・若山地区 n=81	幼稚園・保育所の無償化 58.0	医療費の免除拡大 48.1	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 46.9	休日・雨天時の活動施設 43.2	幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育 34.6
幌別地区 n=287	幼稚園・保育所の無償化 59.9	医療費の免除拡大 55.4	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 43.2	休日・雨天時の活動施設 37.3	幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育 33.8
登別・富浦地区 n=38	幼稚園・保育所の無償化 63.2	医療費の免除拡大 57.9	妊婦健診の無償化 50.0	病院の充実 47.4	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 34.2
登別温泉・カルルス地区 n=6	幼稚園・保育所の無償化 66.7	病院の充実 50.0	乳幼児健診の充実／妊婦健診の無償化／子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等		33.3

## （5）自由記述

問34 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援に関して意見や要望を自由に記述していただいたところ、422件の記入があった。以下は、分類ごとに意見を抽出して掲載したものである。1人で複数の内容にわたって書かれている場合もあるため、件数は延べ件数となる。

### 保育所・幼稚園・認定子ども園（79件）

- ・保育所の数を増やしてほしい。職場近くにあったほうが発熱や病気の時、早くお迎えに行っていられるから。今の保育所にも満足はしています。
- ・室蘭市の保育所には空きがあるのに、登別市には空きがない。仕事をしたいのにできない。子どもを預かってくれる私の母はいないので、保育所に預けたい。室蘭市でもいいので利用したいのに、登別市は室蘭の保育所は利用させてくれない。
- ・幼稚園に入園したい希望はあるが、子ども本人がいやがるためプレ入園の期間を延ばしたり、増やしたり、園開放を定期的にしたたりして、慣らす期間があればいいなと思います。3歳児だとプレがない幼稚園があったり、バス通園の範囲外だったり、ちょっと不便を感じます。子どもがすんなり受け入れてくれればいいのですが、そんな簡単にもいかず、入園を先延ばしにしてしまいます。慣れた所に預けたりと思うのは過保護なのでしょうか。
- ・幼稚園、保育所の無償化までいなくても、もう少し金額を下げてほしい。
- ・転入してきたばかりの際、幼稚園選びにとっても悩みました。でも今通っている幼稚園はとても良い所です。でも個々の幼稚園によって指導の温度差を感じました。もっとその子どもの性格でいろいろ指導方法などを考えてくださる方々が多く必要だと思います。事務的ではなくもっと熱い気持ちで、子どもと接していけばうれしいです。
- ・共働きで両親共にフルタイムで働いている家庭でも、他の家庭のお子さんと同じ教育を受けることが出来るよう、認定子ども園の制度を取り入れたり、早朝保育などがあると助かります。
- ・保育所の空きがないとか困る。親と暮らしているけどお金の面はいっさい面倒見てもらっていないのに、親の年収で見られるのも困る。
- ・働きたいと思った時に子どもを安心して預けられる施設をもっと増やしてほしい。特に乳児の受け入れ人数を増やしてほしい。仕事が決まってからでなければ、保育所に入所できないと職探しも難しい。期間を決めて仕事を探している時にも保育所に入所できるようにしてほしい。保育料が高すぎる。

### 子どもやその家族が安心して遊べる場の確保（57件）

- ・登別には天気の悪い時に遊べる所がない。子どもが安全に楽しく遊べる所を沢山作ってほしい。公園なども車を止める所がなく、遊具の整った所が少ない。
- ・整備された公園をもっと増やしてほしいです。
- ・コロポックルの森のような所がもう1ヶ所あっても良い。

- ・公園も少ないし、遊具も少ない。公園ももう少し人目につく場所にあってほしい（防犯面で）。たとえば子どもと高齢者が一緒に使える公園や、支援センターなどが複数あれば今後活用の幅が広がるのではと思う。
- ・とにかく外で遊べる所が少ない。公園もただすべり台、ブランコがおいてあるだけであまり魅力がない。苦小牧のように遊べる大型の遊具、水遊びできる等の整った場所がない。屋内でも自由に遊べる大きな施設があればうれしい。
- ・運動不足が1番心配しています。おもいきり体を動かせる場所、体操できるなど指導してくれる場がほしいです。

#### 医療・保健・健（検）診（54件）

- ・子どもを産みたくても婦人科のある病院がなかったり、子どもを産んでも小学校からの医療費が大人と同じように掛かるので、持病がある子どもがいると大変。ぜひ中学または高校までの医療費の免除をお願いしたいです。また、小児科の救急外来がないので、ぜひ作ってほしい。子どもを産みたくても病院が無かったり、産んだ後の心配も多くあるので、安心して子どもを産み育てられ、市からの子育て支援が充実していれば「ぜひ子どもを登別市で産みたい」と他の市からの移住もありえるかもしれません。
- ・小児科が少ないし、あっても遠くて不便。
- ・乳幼児検診の時、しんた21まで行くのが遠いので、市内で3ヶ所くらいに分けて検診できる場所があると良いと思う。
- ・乳幼児検診での待ち時間が長すぎて子どもがあきてしまいます。赤ちゃんほどもたないの、効率的にしてほしい。日にちを分けて1日の人数を減らす等。

#### 経済的支援（手当・助成）（32件）

- ・子どもを2人、3人産んでも大丈夫と思えるような支援があれば良いと思う。人口増や、人が集まるような市になっていない。出来れば2人、3人子どもがほしいと思っている人は沢山いると思います。
- ・家庭用ゴミ袋やおむつ等、生活用品の割引等があれば助かります。
- ・子育て世代にもう少し手厚い事業と対応を期待します。
- ・子育て世帯への優遇措置が他の街に比べて遅れていると思う。引越してきてから本当に不便だと感じる。
- ・保育所の無償化など無理でも、生活用品の割引などあればうれしい。どこかの町でオムツ使用の子どもがいる世帯には、ゴミ袋（指定）をプレゼントしたりしている。そういうのは嬉しいのではないかな。

#### 情報・相談（27件）

- ・子育て支援に関する情報が少なく、利用したくてもできないので、改善してほしい。
- ・相談したいがどうしていいかわからない。
- ・しんた21の乳幼児相談に通っていますが、保健師さんたちは皆さん親切に相談に乗って下さいます。とてもありがたく感謝しています。

#### 行政施策、子育てサービス・施設（26件）

- ・0歳児からの一時預かりの場所があると良い。兄弟の参観日や行事の時、病院を受診する時など、小さい子を預けられると助かる人が多いと思う。
- ・長期の休み（夏休み・冬休み・春休み）に幼稚園やそれ以外の所で預ける施設や場所があると良いと思う。
- ・高齢者には色々なサービスがあるけれど、子どものサービスが少ない。親にあわせて支援をしてほしい。
- ・休日や時間外の預かり保育は保育士の負担増になるので、あまり好ましくありません。保育士が余るほどいるなら別ですが、今いる人材を大切にすることも大事だと思います。

#### 子育て全般（22件）

- ・子育て支援にもっと一步踏み込みやすい（知る、参加する）チャンスや体制があればと思う事があります。スタッフや取り組みはとても素晴らしいので、そう願っています。
- ・もう少し広域保育に柔軟性があつたほうが良いと思います。市の予算等もあると思いますが、仕事の内容、時間帯も人それぞれありますから。
- ・将来子どもが大人になったときに、登別に住んで子育てしたくなるように、経済的、精神的に余裕が持てるような政策を希望します。

#### 子育て支援センター（19件）

- ・あまり知り合いも多くない中で、一人で子育て支援センターなどに連れて行くのも少し勇気がいるものでした。初めてや知り合いがいなくても利用しやすい所であればいいなと思います。
- ・支援センターが2か所しかなく、利用しづらい。せめて児童館と同じくらいあれば、徒歩でも利用できるのがありがたい。例えば、児童館で小学生が来ない午前中の時間を未就学児に開放するとか、支援センターの代わりになるのでは。子どもと気軽に掛けられる場がなくて、日中息が詰まりそうになる。
- ・子育て支援センター等が土・日は休みなので、平日仕事をしていたら利用する事がないので、月2回位あると良いと思う。

#### 就労、企業・事業所（17件）

- ・共働き世帯が増えてきて、地元の子以外は子育てと両立できる環境ではないので、益々少子高齢化が進むはず。仕事もしやすく、子育てもしやすい環境を本気で考えてほしい。
- ・企業側へは採用の際、子どもの病気で休むことへの理解、配慮を促して欲しい。働きたい母親は沢山いるのに働けない現状がある。登別だからこそ目の行き届いたケア、対策、支援ができると思います。本気出して下さい。期待しています。

#### 放課後児童クラブ（14件）

- ・児童クラブは一ヶ月単位の利用料ではなく、突発的な利用もできるように一回ごとの利用料もつくってほしい。（就労時間のみだと利用料がとても高すぎると思う）児童クラブも休日利用できる所があればと思う。

- ・放課後児童クラブだが、登別市は6,000円と高い。室蘭の学校の児童クラブは月600円で毎日通える所があるのに、どうしてこの金額の差があるのですか。もっと安くしてほしい。

#### 教育、学校・食育（11件）

- ・子どもは社会の宝だと思います。子ども（小学生）が管理されすぎているように感じる。公園で野球が出来ない、中学生になってからも大型ショッピングセンターへの出入りでも内申書にひびくと聞きます。今の子どもは不自由であるとも感じます。何か起きないように子どもの身の危険を守るのは親の責任でもあると思いますが、自由もないと自ら考えて行動する子どもが育たないし。学力を向上させていくことも課題だと思いますが、良い大学に入って良い会社に就職することを人生の目標にするべきではないと思います。
- ・食物アレルギー対策を充実させて欲しいです（学校給食等）。登別市では市内に食物アレルギーを持つ子どもの人数等把握できているのでしょうか。震災時の非常食は食物アレルギーの子ども達はどのような対応が取られるのか心配に感じています。何か対応して頂けると有難く思います。

#### 住環境の整備（8件）

- ・公営住宅の子育て世帯の枠を増やしてほしい。もう2年くらい抽選にはずれています。子どもはかわいいから兄弟をつくってあげたいけど、経済的に不安があります。経済面でもっと不安なく子育てしていきたい。

#### 児童館、図書館（7件）

- ・小学校の近くに児童館が欲しい。また以前近所にあったが、乳幼児の利用がないと言われた。午前中の児童館の使い方を工夫してもらいたい。
- ・図書館をもう少し新しくしてもらいたい。図書館で子どもが座ってゆっくりできる所があればもっと利用しやすいと思う。

#### 障害児、ひとり親世帯（7件）

- ・母子家庭の為、どうしても働かないといけないので、低料金での預かり保育や一時預かりなどが充実してもらえれば子育てしやすい街になると思います。
- ・療育へ通う為の送迎（バスまではいかなくても）、少々お金がかかって払ってもいい位、片道いくらか。

#### 行事・イベント（6件）

- ・同年齢の子ども同士や母親同士が気軽に交流できるような場所、イベント等がもっとたくさんある場所、回数で行われるようになると参加しやすくなります。

### 第3章 調査結果の詳細（就学前児童調査）

#### 病児・病後児保育（4件）

- ・来年から仕事復帰をするため、保育園に入園させる予定です。（公立）保育所の民営化について実態としてどの程度進んでいるのかわかりません。また、病児保育をしてくれる施設をできるだけ早くお願いしたいです。

#### 防犯・防災、交通安全（4件）

- ・公園とかでケガしたのは仕方ないが、ケガさせられたり、不審者とかも多いので、地域の方々や市でパトロール等をしていただきたい。

#### 地域・交流（3件）

- ・幼い子どもを抱えている家庭が、孤独に悩んで息詰まらないよう声を掛け合い、地域のサポート体制を充実すること。

#### 今回のアンケート調査（14件）

- ・子ども達のために、こういう形で親の気持ちを聞いてくれてありがとうございます。少しずつでもみんなの思いが形になるように私たち親も頑張ります。
- ・このアンケートをもとに少しでも改善していただけると助かりますが、調査するだけで終わるだけは止めて下さい。アンケートするだけ無駄です。

#### その他（11件）

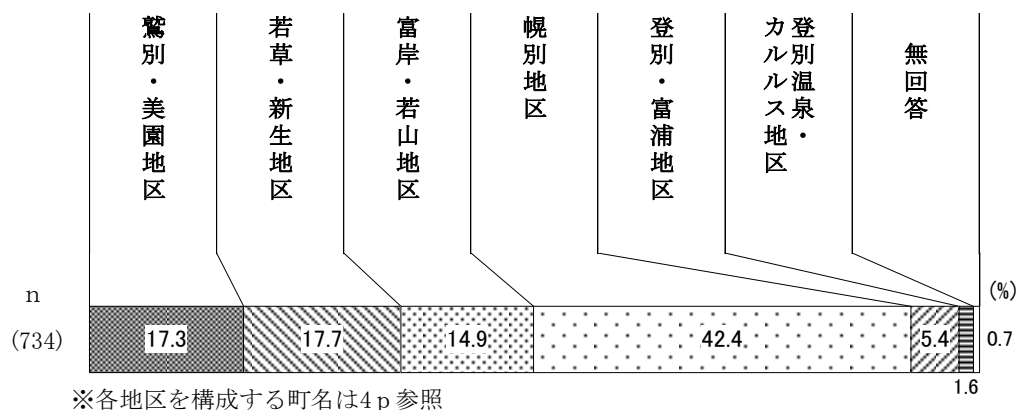
## 第4章 調査結果の詳細（小学生調査）





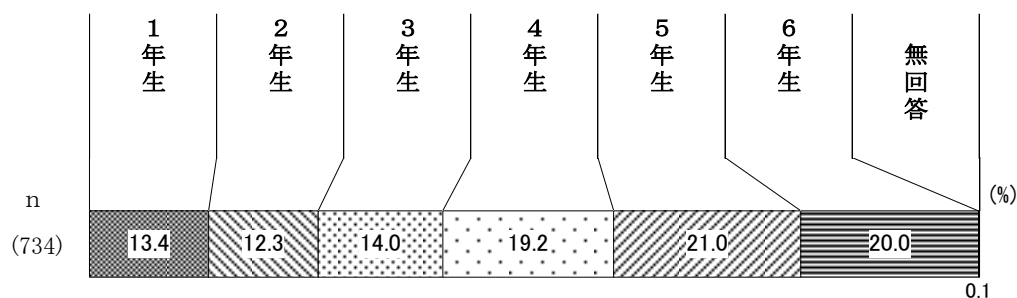
## 1. 基本属性

### (1) 居住地区



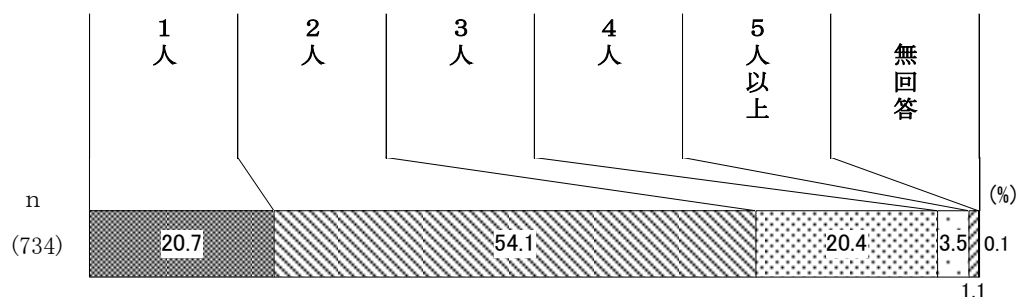
居住地域は、「幌別地区」が42.4%、「鷺別・美園地区」、「若草・新生地区」、「富岸・若山地区」が1割台となっている。

### (2) 子どもの学年



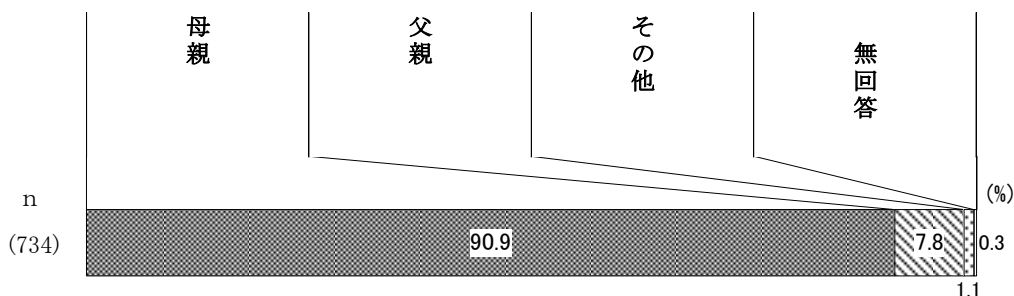
学年は、高学年（「4年生」～「6年生」）が2割前後、低学年（「1年生」～「3年生」）が1割台となっている。

### (3) 子どもの人数



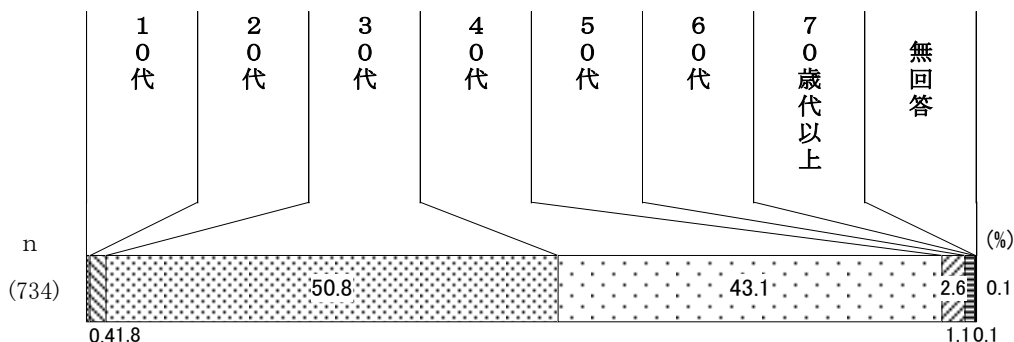
子どもの人数は、「2人」が54.1%と半数以上を占め、「1人」(20.7%)、「3人」(20.4%)が2割台となっている。

(4) 調査票回答者



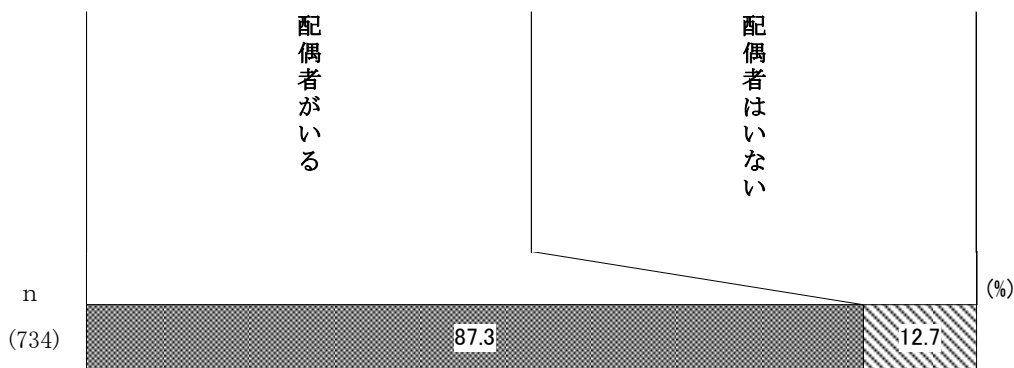
この調査への回答者は、「母親」が90.9%を占めている。

(5) 回答者の年代



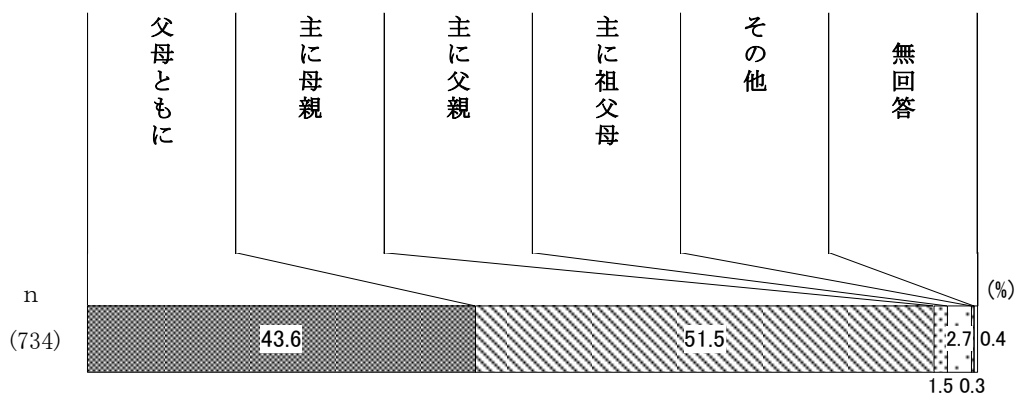
回答者の年代は「30代」が50.8%で最も多く、「40代」が43.1%で次いでいる。

(6) 回答者との配偶関係



回答者との配偶関係は、「配偶者がいる」が87.3%、「配偶者がいない」が12.7%となっている。

(7) 子どもの身の回りの世話をを行う方



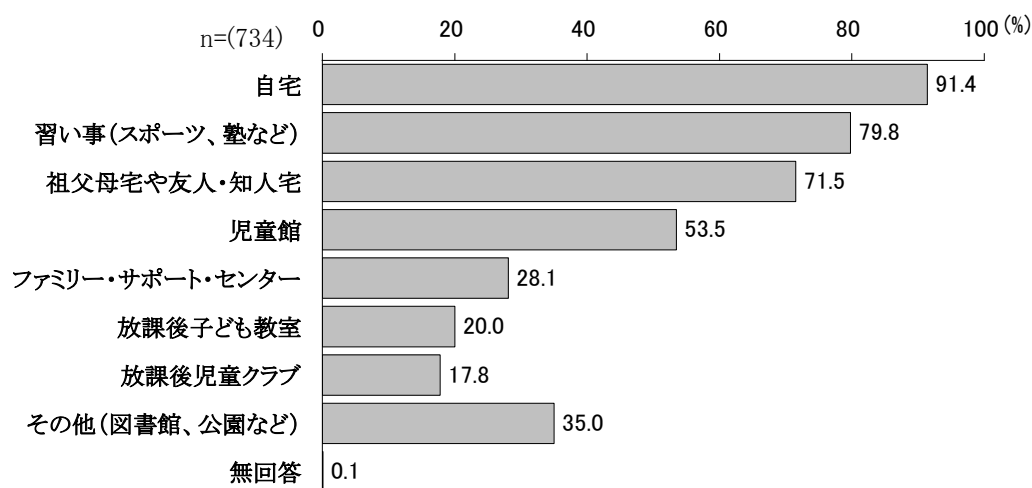
子どもの世話は、「主に母親」が51.5%で最も多く、「父母ともに」も43.6%と多くなっている。

## 2. 放課後の過ごし方

### （1）放課後を過ごしている場所の現状と希望

問8 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。お子さんは、放課後（平日の授業・クラブ活動など終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか。現状と希望について、1週当たりの日数をお答えください。

#### 放課後を過ごす場所【複数選択可】



放課後の時間をどのような場所で過ごしているかでは、「自宅」が91.4%で最も多く、以下、「習い事（スポーツ、塾など）」（79.8%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（71.5%）が7割台、「児童館」（53.5%）が5割台で続いている。

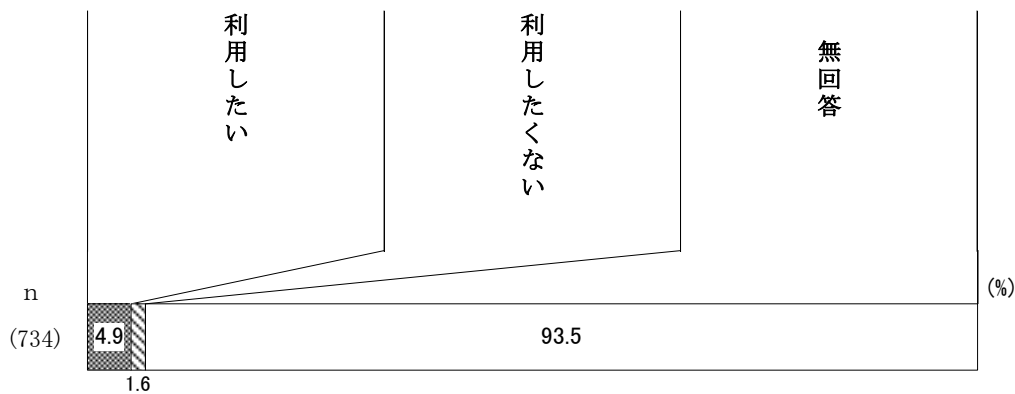
#### 1週当たりの日数【数字を記入】

	現状		希望	
	調査数	日/週	調査数	日/週
自宅	641	3.7	405	3.2
祖父母宅や友人・知人宅	324	1.8	229	1.6
習い事（スポーツ、塾など）	472	2.5	349	2.3
ファミリー・サポート・センター	53	0.2	49	0.2
児童館	166	1.1	170	1.6
放課後児童クラブ	90	3.6	69	3.3
・放課後児童クラブの利用希望（終了時間）	75	1.7時	47	1.7時
放課後子ども教室	55	0.7	59	1.6
その他（図書館、公園など）	212	1.8	211	2.2

放課後を過ごす場所の現状1週当たりの平均日数は、「自宅」が3.7日、「放課後児童クラブ」が3.6日、「習い事（スポーツ、塾など）」が2.5日となっている。希望1週当たりの平均日数は、「放課後児童クラブ」が3.3日、「自宅」が3.2日となっている。

（2）放課後の療育専門機関の利用意向（障がい児等）

問9 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にうかがいます。放課後の時間を過ごす場所として、療育の専門機関を利用できるとしたら利用したいですか。  
（1つに○）



放課後を過ごす場所として、療育の専門機関を「利用したい」は4.9%となっている。

（3）放課後を安心して過ごすために必要な場所やサポート（自由記述）

問9-1 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にうかがいます。放課後を安心して過ごすためには、どのような場所やサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

周囲からどのようなサポートがあればよいか自由に記述していただいたところ、30件の記述があった。一人で複数の内容を記述している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

障害児のサポート	12件
大人の目が行き届く場所	4件
預けられる場所やサービス（特に一時的や急な対応）	3件
放課後児童クラブ	3件
安心して遊ばせられる場所	2件
預かり場所への送迎	1件
病児・病後児保育／0歳児保育／夜間保育	1件
下校時の見守り等のサポート	1件
十分である／問題ない／必要ない／わからない	1件
情報、相談場所（相手）	1件
その他	1件

### 3. 放課後児童クラブの利用希望

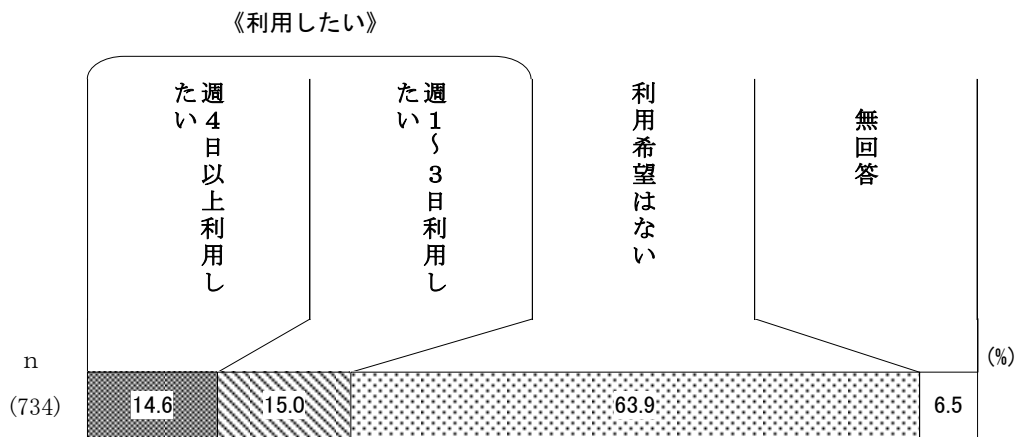
#### (1) 放課後児童クラブの利用希望

問10 現在利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日、土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）における、放課後児童クラブの利用希望の有無と利用したい時間帯をお答えください。

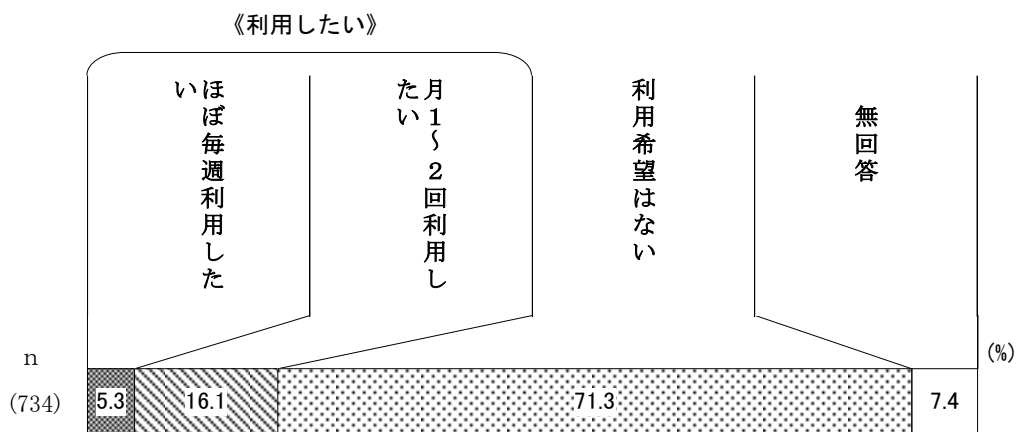
- ・放課後児童クラブは両親が共働きであるなど、家庭において子どもを保育することが困難な場合に利用でき、一定の利用料が発生します。利用したい時間帯の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

#### 利用希望の有無【1つ選択】

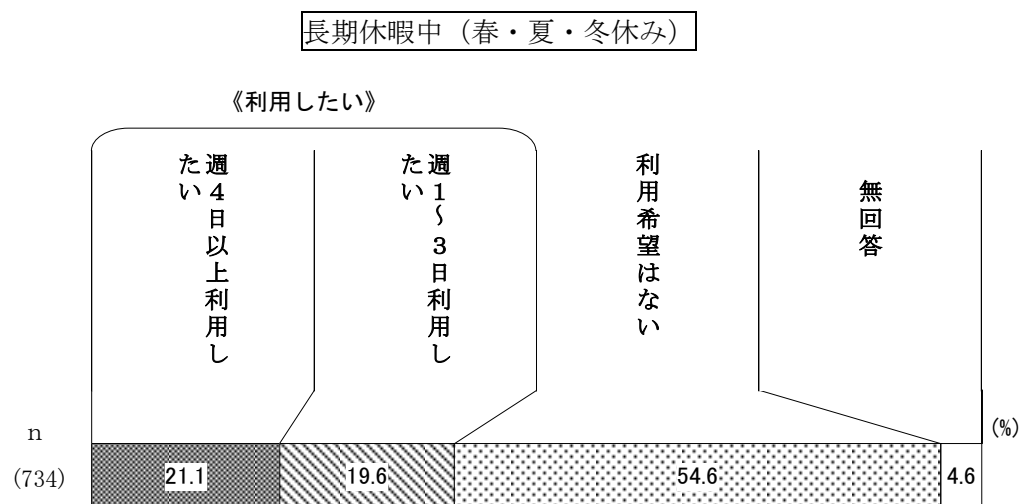
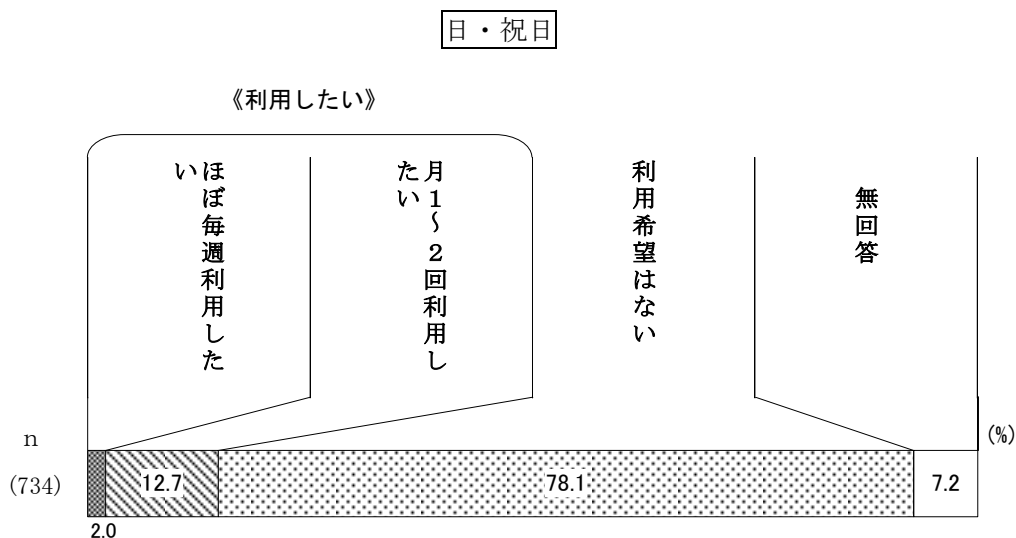
平日



土曜日



第4章 調査結果の詳細（小学生調査）



現在の利用の有無に関わらず、放課後児童クラブの利用希望を聞いた。

平日では、「週4日以上利用したい」が14.6%、「週1〜3日利用したい」が15.0%で、両者をあわせた《利用したい》は29.6%となっている。

土曜日は「ほぼ毎週利用したい」は5.3%にとどまるが、「月1〜2回利用したい」は16.1%となっており、《利用したい》は21.4%となっている。

日・祝日の《利用したい》は14.7%となっており、曜日や時期より利用希望は少ない。

長期休暇中では「週4日以上利用したい」は21.1%、「週1〜3日利用したい」でも19.6%となっており、《利用したい》は40.7%と多くなっている。

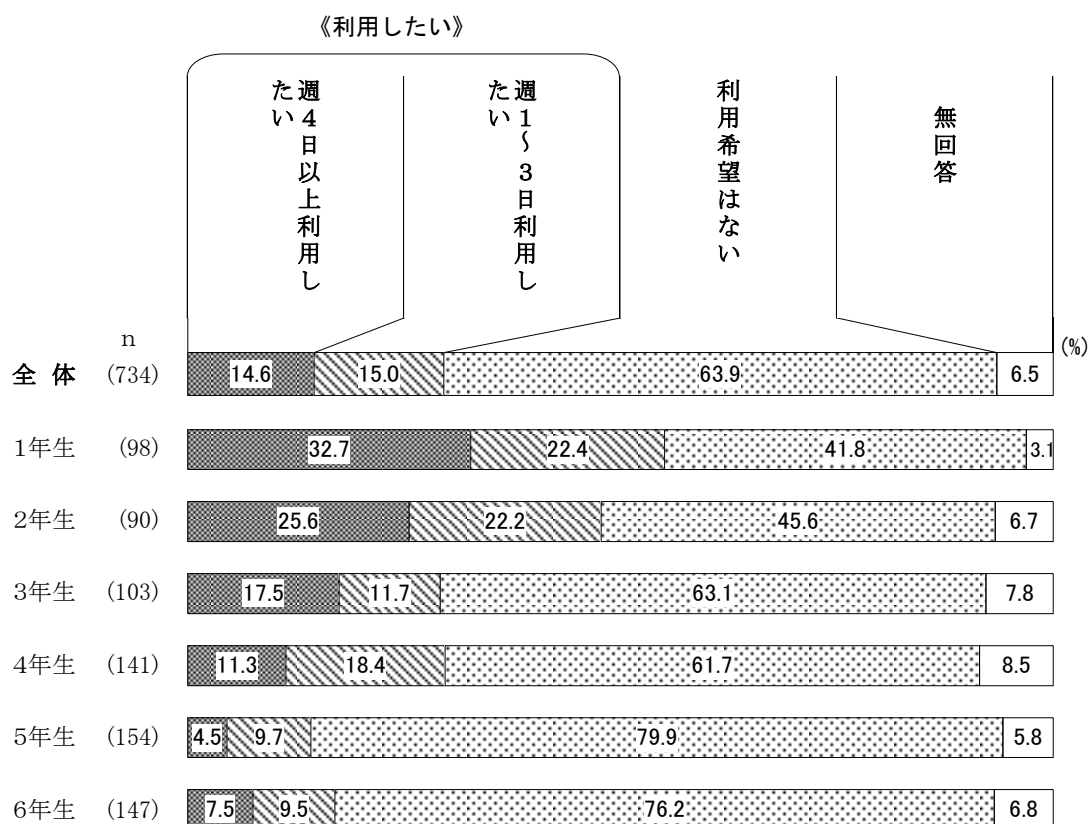
全体として、長期休暇中の利用希望が多くみられる。

学年別にみると、平日、土曜日、長期休暇中ではいずれも学年が低いほど《利用したい》が多くなっている。日・祝日は全体では利用希望は低めとなっているが、1年生（26.5%）や2年生（21.1%）での利用意向は比較的多くなっている。

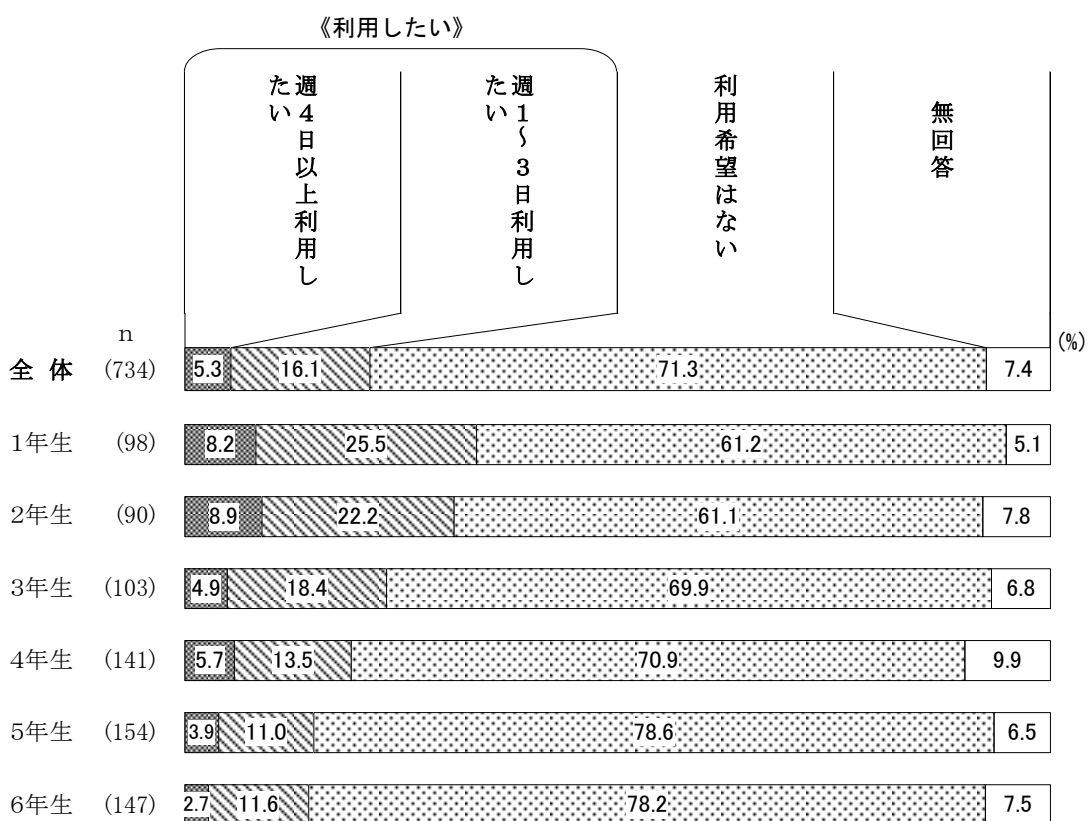


学年別

平日

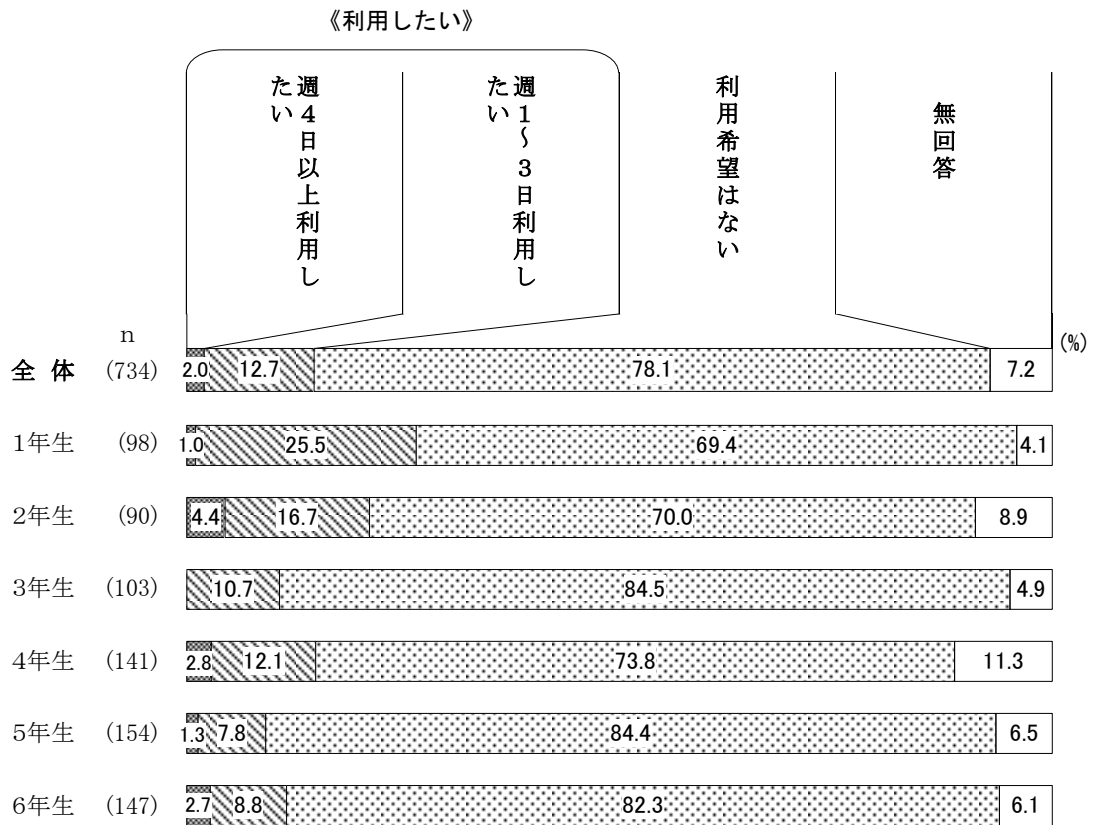


土曜日

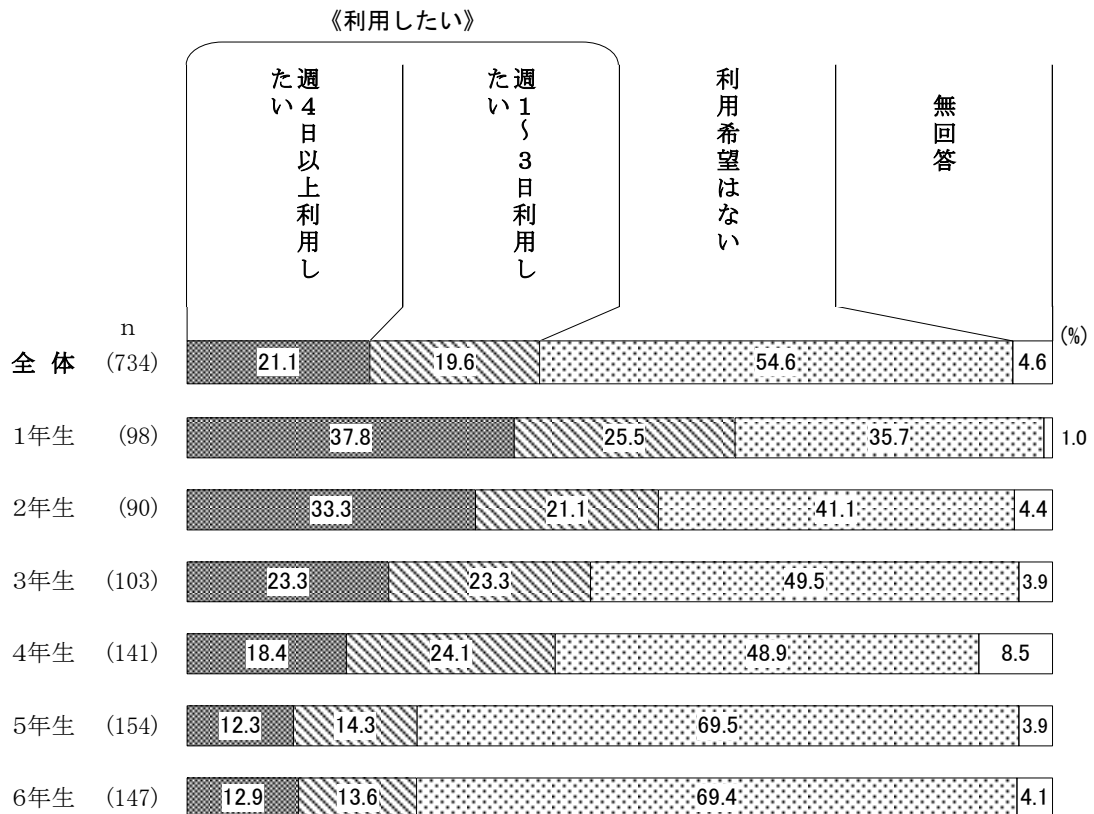


第4章 調査結果の詳細（小学生調査）

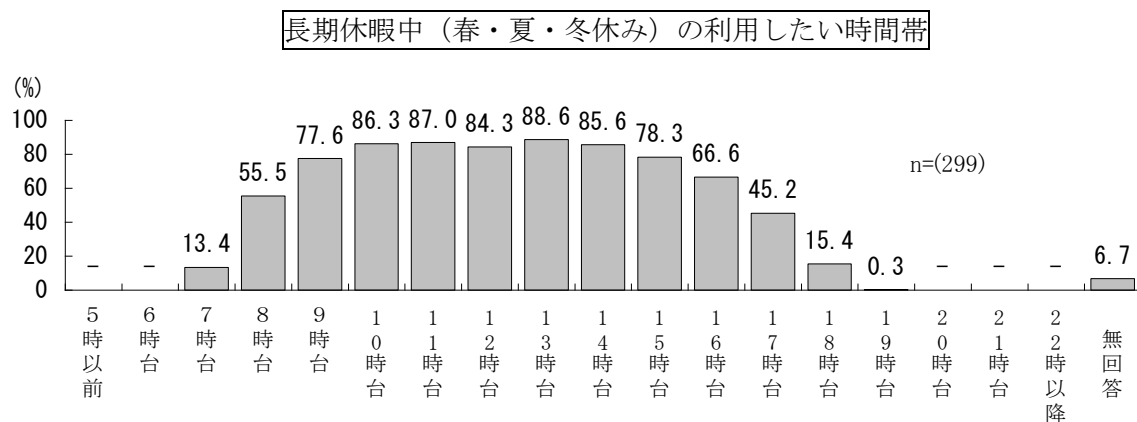
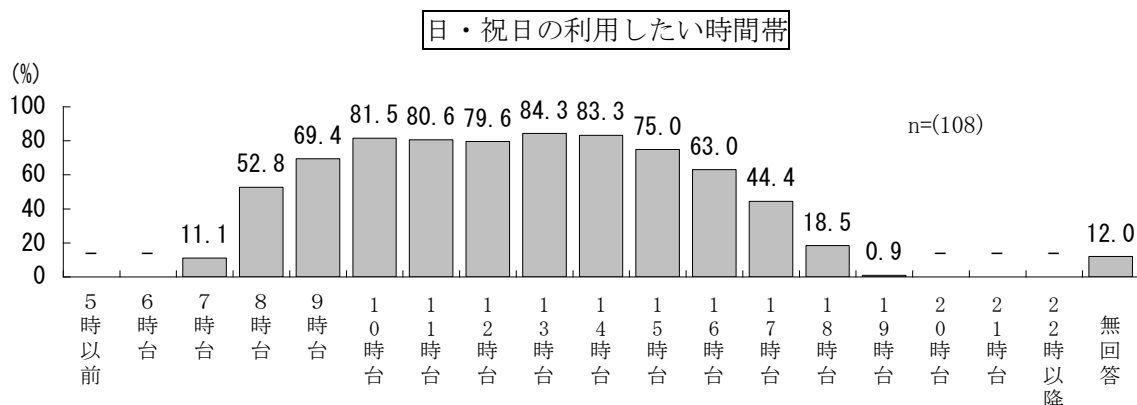
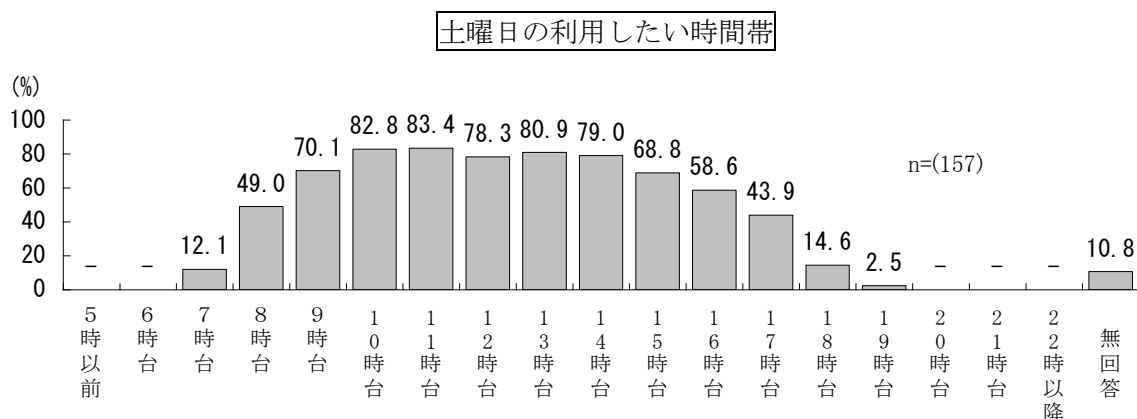
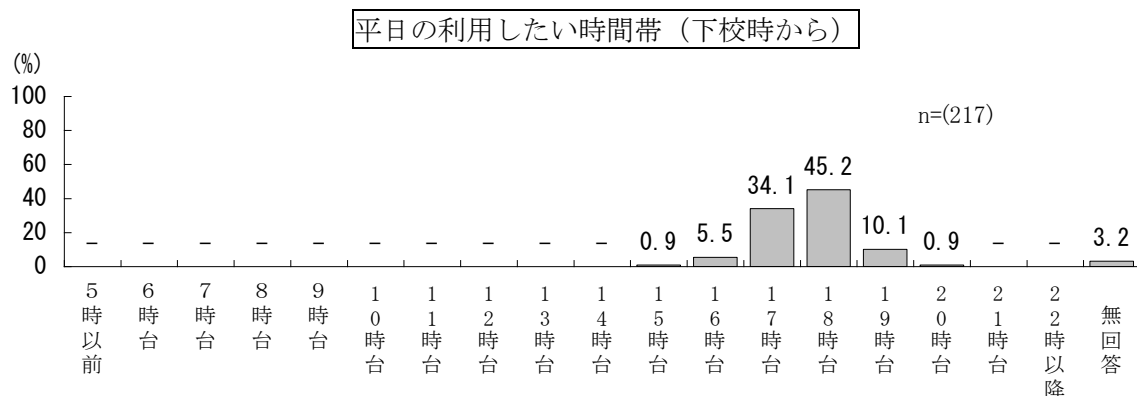
日・祝日



長期休暇中（春・夏・冬休み）



利用したい時間帯【数字を記入】－《利用したい》を選んだ方



放課後児童クラブの利用したい時間帯を聞いた。

平日では下校時から18時台までが45.2%、17時台までが34.1%と多くなっている。

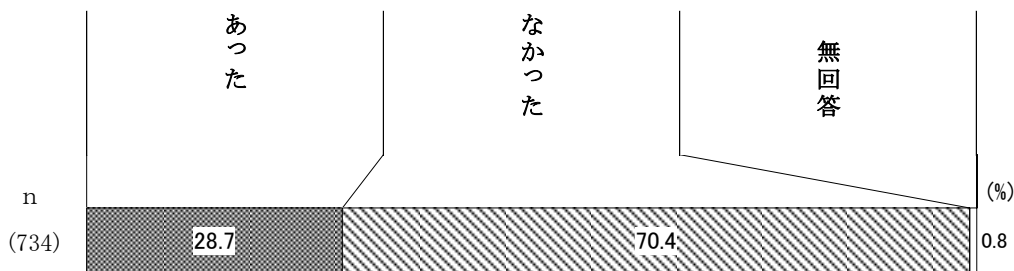
土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）では、8時台から17時台の間の希望が多い。

## 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用

### （1）家族以外に子どもをみてもらう必要性の発生状況（過去1年間）とその対応

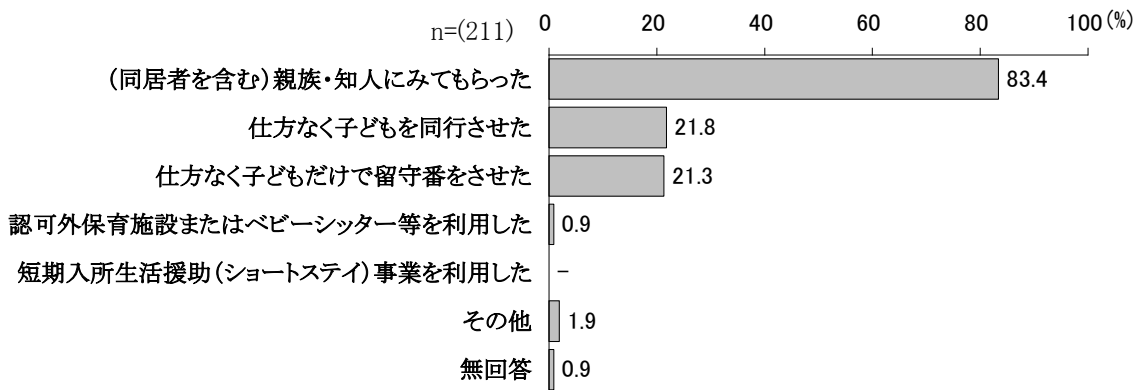
問11 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを日帰りまたは泊りがけで、家族以外に預けなければならないことはありましたか。あった場合には、「その際の対処法」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

#### 発生状況【どちらか選択】



この1年間に、子どもを日帰りまたは泊りがけで、家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」は28.7%、「なかった」は70.4%となっている。

#### その際の対処法【複数選択可】－（家族以外に預ける状況が）「あった」を選んだ方



その際の対処は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が83.4%で最も多く、以下、「仕方なく子どもを同行させた」（21.8%）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」（21.3%）が2割台で続いている。

## 年間利用日数【数字を記入】日帰り／泊りがけ

	日帰り		泊りがけ	
	調査数	日／年 (平均)	調査数	日／年 (平均)
(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	1 2 1	9	1 1 6	7
短期入所生活援助（ショートステイ）事業を利用した	—	—	—	—
認可外保育施設またはベビーシッター等を利用した	2	1 6	1	3 0
仕方なく子どもを同行させた	3 4	6	1 5	3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	4 2	9	1 2	2
その他	2	1	1	0

日帰りにおける年間平均利用日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」や「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が9日、「仕方なく子どもを同行させた」が6日となっている。

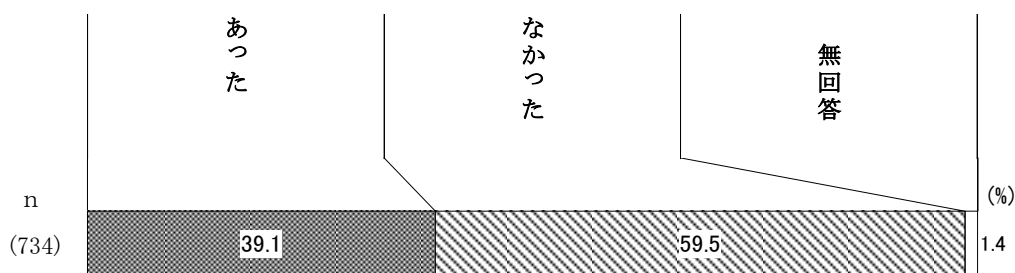
泊りがけの年間平均利用日数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が7日となっている。

## 5. 病気の際の対応

### （1）病気等で小学校に通学できず特別な対応をとる必要性の発生状況

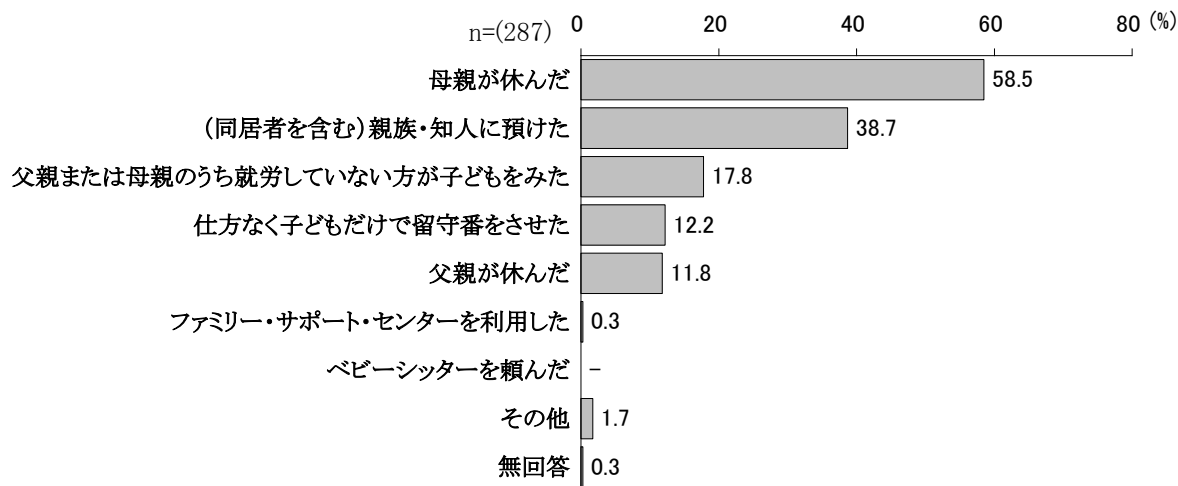
問12 あて名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性がありましたか。必要性があった場合はこの「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数をお答えください。（半日の場合も1日とカウントしてください。）

#### 必要性の有無【どちらか選択】



この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性が「あった」は39.1%、「なかった」は59.5%となっている。

#### 1年間の対処方法【複数選択可】－（特別な対応をとる必要性が）「あった」を選んだ方



その際の対処方法は、「母親が休んだ」が58.5%で最も多く、以下、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」(38.7%)、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」(17.8%)などが続いている。

## 年間利用日数【数字を記入】

	調査数	日／年 (平均)
父親が休んだ	34	3
母親が休んだ	162	4
(同居者を含む) 親族・知人に預けた	102	3
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	50	5
ベビーシッターを頼んだ	—	—
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	32	3
その他	5	3

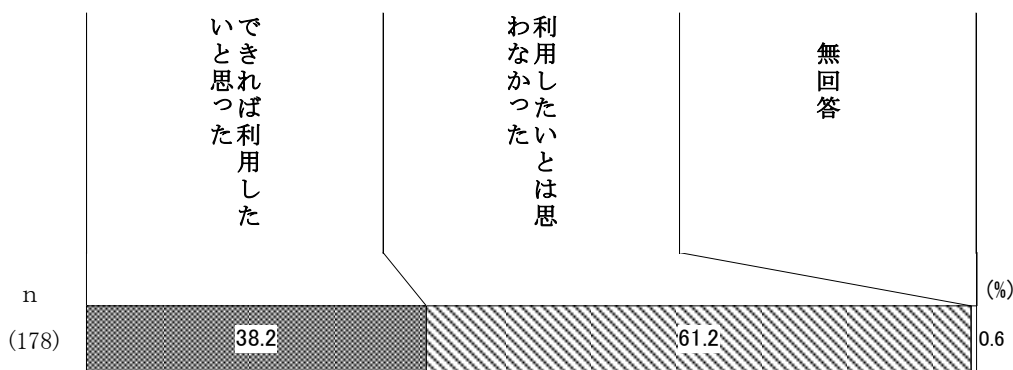
年間の平均利用日数は、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が5日、「母親が休んだ」が4日、「父親が休んだ」、「(同居者を含む) 親族・知人に預けた」や「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がそれぞれ3日となっている。

（2）病児・病後児保育事業の利用意向と希望

＜問12の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方にうかがいます。＞

問12-1 その際、できれば「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望日数と利用したい事業をお答えください。  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

病気の際の意向【どちらか選択】



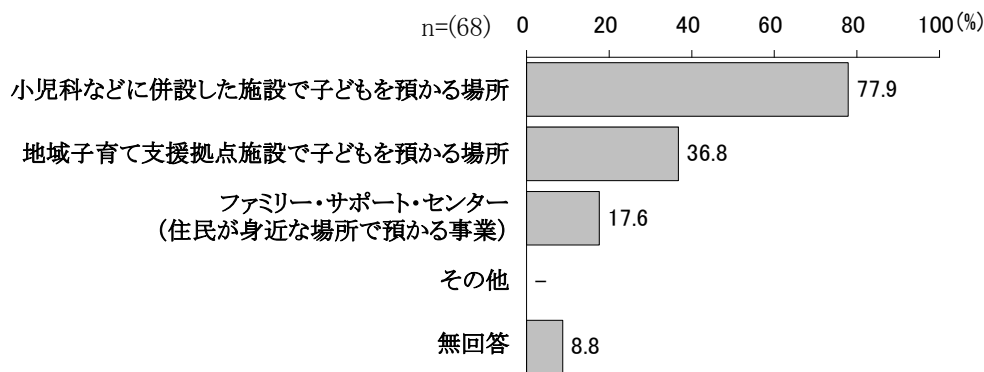
父親あるいは母親が休んで対処した際、病児・病後児保育を「できれば利用したいと思った」は38.2%、「利用したいとは思わなかった」は61.2%となっている。

希望日数【数字を記入】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方

調査数	日／年 (平均)
62	4

病児・病後児保育を利用したいと思った方の希望平均日数は4日となっている。

利用したい事業【複数選択可】－「できれば利用したいと思った」を選んだ方



病児・病後児保育で利用したい事業は、「小児科などに併設した施設で子どもを預かる場所」が77.9%で最も多く、以下、「地域子育て支援拠点施設で子どもを預かる場所」(36.8%)、「ファミリー・サポート・センター(住民が身近な場所で預かる事業)」(17.6%)と続いている。

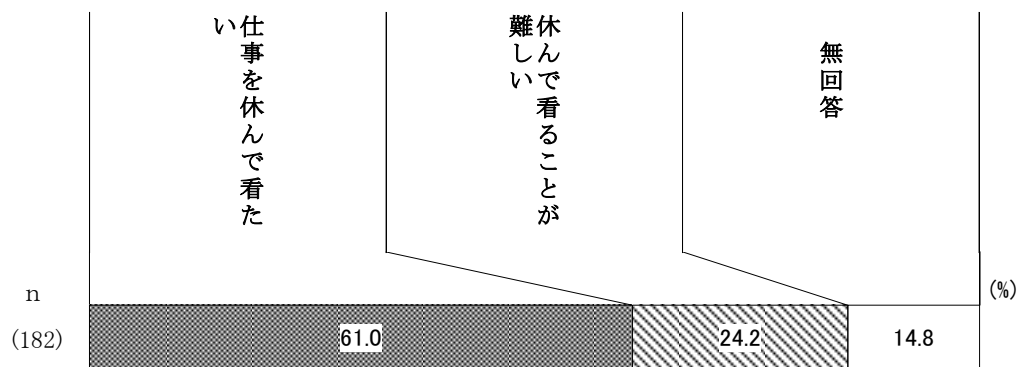


（3）仕事を休んでの看病意向と希望日数

＜問12の「1年間の対処方法」で「父親が休んだ」あるいは「母親が休んだ」以外のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問12-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。思われた場合は「仕事を休んで看たい」日数をお答えください。

希望の有無【どちらか選択】



父親あるいは母親が仕事を休んで子を見るができなかった際、仕事を休んで看たいと思ったかどうか聞いたところ、「仕事を休んで看たい」は61.0%、「休んで看ることが難しい」は24.2%となっている。

希望日数【数字を記入】－「仕事を休んで看たい」を選んだ方

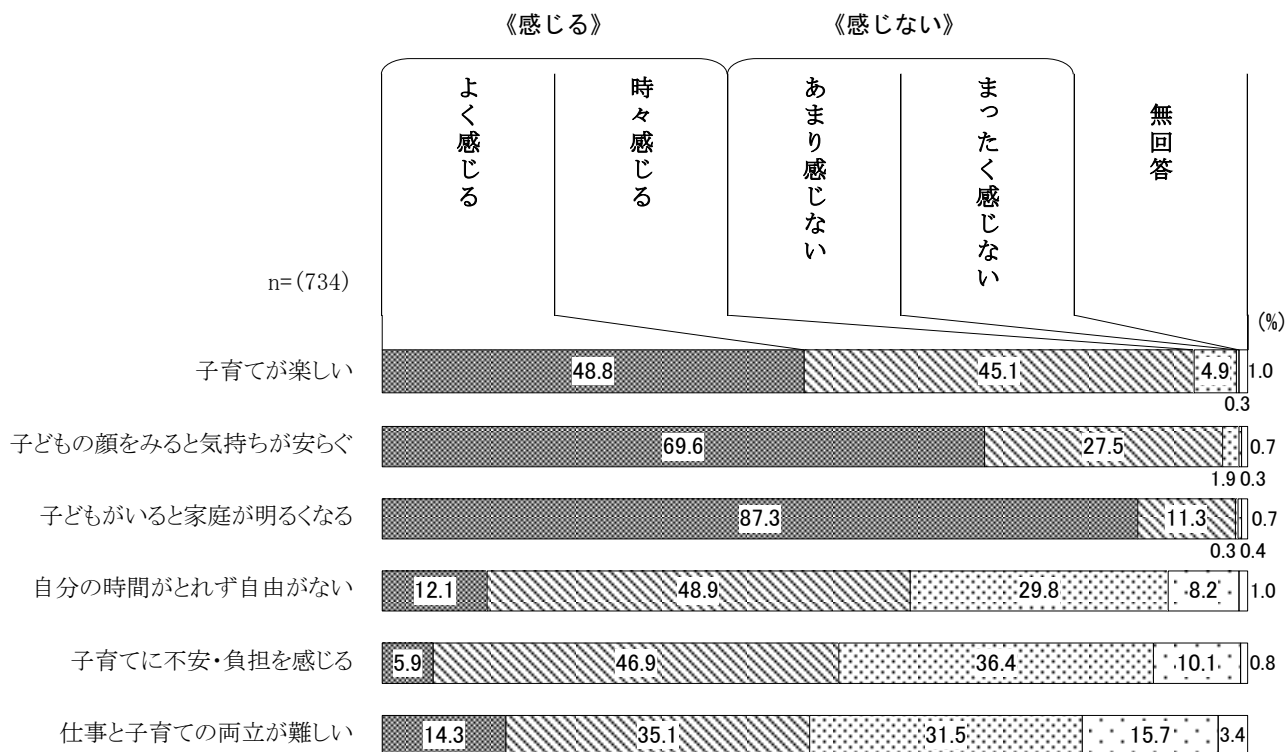
調査数	日／年 (平均)
109	4

仕事を休んで看たいと思った方の希望平均日数は4日となっている。

## 6. 子育て支援全般

### (1) 子育てをしていて感じること

問13 子育てをしていて感じることはありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

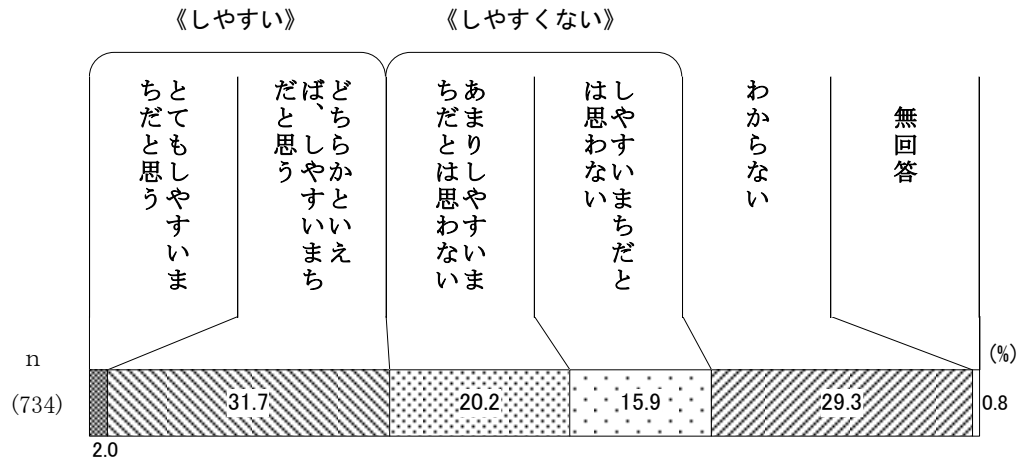


子育てをしていて感じることを聞いた。

「よく感じる」は“子どもがいると家庭が明るくなる”が87.3%と多く、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”も69.6%と多くなっている。これに「時々感じる」をあわせた《感じる》でみると、“子どもがいると家庭が明るくなる”（98.6%）、“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”（97.1%）、“子育てが楽しい”（93.9%）といったプラス的な項目ではいずれも9割台を占めて多くなっている。一方、マイナス的な項目として《感じる》では、“自分の時間がとれず自由がない”が61.0%と多く、“子育てに不安・負担を感じる”や“仕事と子育ての両立が難しい”も5割前後となっている。

## （2）市の子育てのしやすさとその理由

問14 登別市は子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（1つに○）



登別市が子育てしやすいまちかどうか聞いたところ、「とてもしやすいまちだと思ふ」は2.0%、「どちらかといえば、しやすいまちだと思ふ」は31.7%で、両者をあわせた《しやすい》は33.7%となっている。一方、「しやすくないまちだと思わな」は15.9%、「あまりしやすいまちだと思わな」は20.2%で、両者をあわせた《しやすくない》は36.1%となっている。また、「わからない」も約3割と比較的が多くなっている。

### ◆ 《しやすい》と思ふ理由

しやすいと思ふ理由は、「施設やサービス、手当などが充実しているから」が31件と最も多い。以下、「遊び場（屋内外）や公園が多い／充実している」（19件）、「特に何か不便を感じることはないから」（13件）、「市や町内会のイベントが充実している」（8件）などがあげられている。

また、しやすいまちだと思ふが「施設やサービス、手当・補助はもっと充実してほしい」という意見が13件、「遊び場や公園を充実してほしい」が8件あげられている。

### ◆ 《しやすくない》と思ふ理由

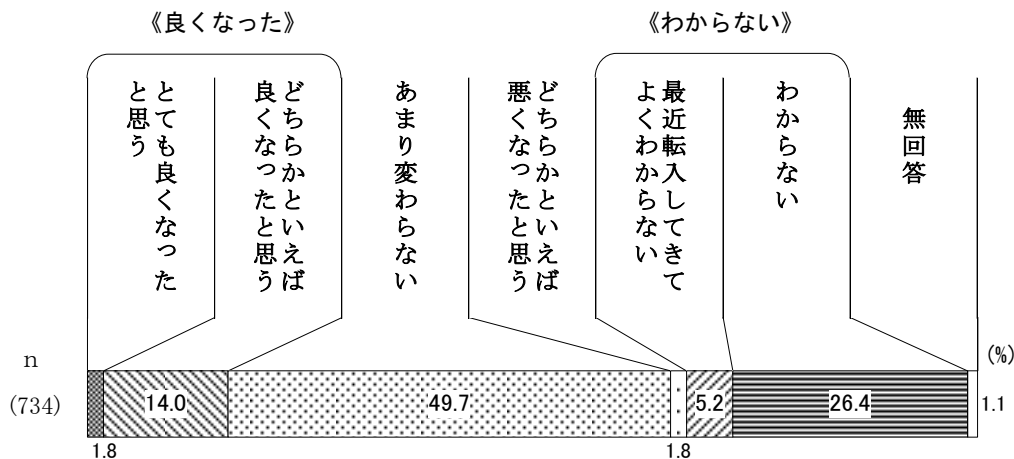
しやすいと思わな理由は、「遊び場（屋内外）や公園がない／充実していない」が65件で最も多く、以下、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室がない／利用しにくい」（37件）、「施設やサービス、手当・補助が少ない／充実していない」（26件）、「医療機関が少ない／検診の施設が少ない」（18件）、「子どもを預ける場が不足している」（16件）などがあげられている。

### ◆ 「わからない」理由

わからない理由は、「他の自治体の子育て環境は知らないので、比較できない」が24件で最も多く、以下、「可もなく不可もなし／良い面もあれば悪い面もあるため」（8件）、「考えた事がない／子育てしやすいまちというもののイメージが不明」（6件）などがあげられている。

（3）以前と比較した市の子育て環境の改善状況とその理由

問15 以前（3～5年前）に比べ、登別市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。（1つに○）



以前（3～5年前）に比べ、登別市の子育て環境が良くなったかどうか聞いたところ、「とても良くなったと思う」は1.8%、「どちらかといえば良くなったと思う」は14.0%で、両者をあわせた《良くなった》は15.8%となっている。一方、「どちらかといえば悪くなったと思う」は1.8%と少なく、「あまり変わらない」（49.7%）が約半数を占めている。また、「最近転入してきてよくわからない」（5.2%）と「わからない」（26.4%）をあわせた《わからない》も31.6%と比較的多くなっている。

◆《良くなった》と思う理由

良くなったと思う理由は、「各種施設やサービスが充実した」（14件）、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室が充実した」（13件）、「遊び場（屋内外）が増えた／公園が整備されたい」（7件）、「家族の時間プロジェクトが評価できる」（6件）などがあげられている。

◆「あまり変わらない」と思う理由

あまり変わらない理由は、「変化を実感しない／改善したところが見当たらない」が66件と特に多く、「放課後児童クラブ、放課後子ども教室が利用しにくい」（8件）、「遊び場（屋内外）や公園がない」（7件）などがあげられている。

◆「どちらかといえば悪くなったと思う」理由

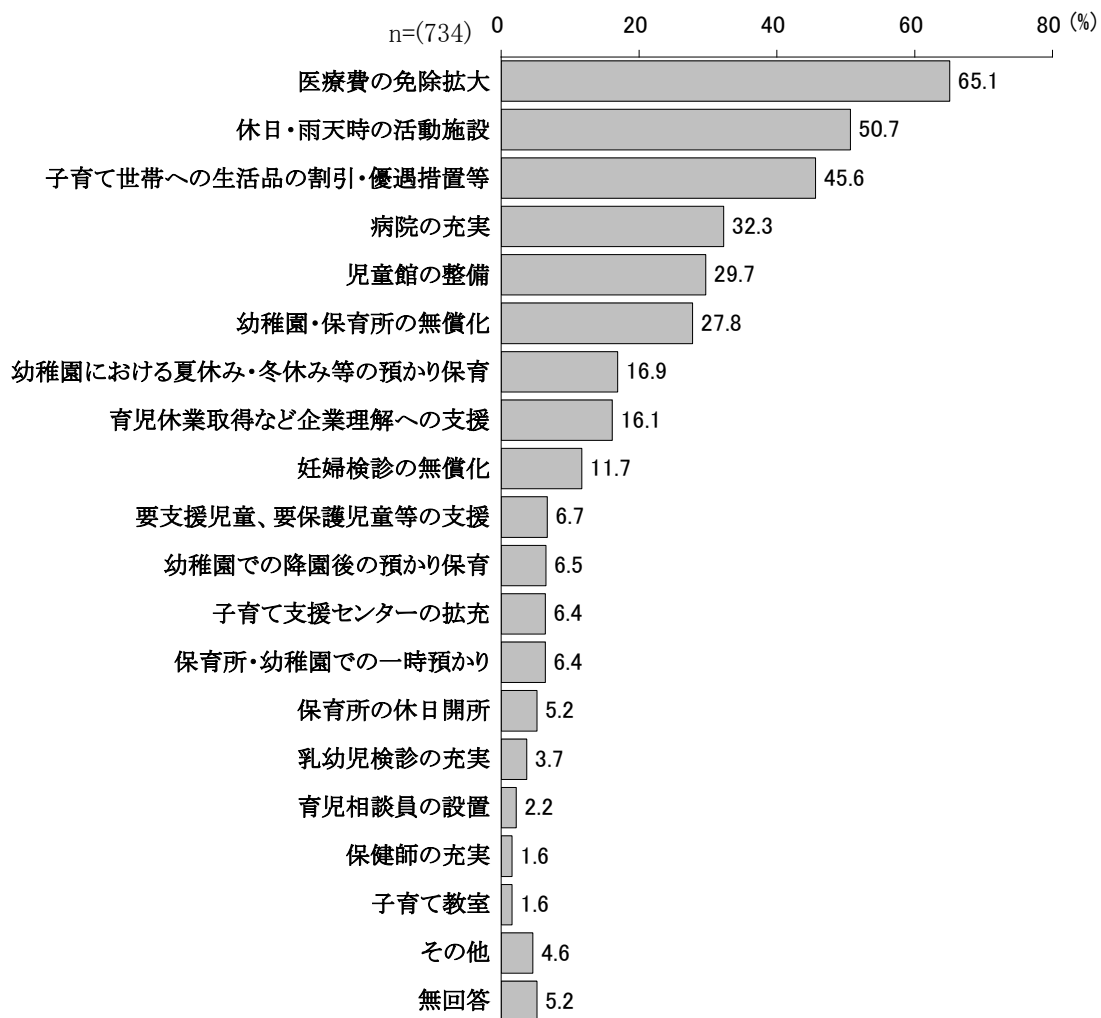
どちらかといえば悪くなったと思う理由は、「公立幼稚園が廃止されたから」（3件）、「遊び場（屋内外）や公園が少ない」（2件）があげられている。

◆《わからない》理由

わからない理由は、「転入して数年／子どもの環境が異なるため）以前と比較ができない」（13件）、「変化がないから」（8件）、「情報がなくわからない／わからなかったから」（4件）、「市のサービスや子育て環境を知らない」（3件）があげられている。

（4）市に望む子育て支援策

問16 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。ある場合は該当する番号5つまでに○をつけてください。



登別市に望む子育て支援策は、「医療費の免除拡大」が65.1%で最も多く、以下、「休日・雨天時の活動施設」（50.7%）、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」（45.6%）、「病院の充実」（32.3%）、「児童館の整備」（29.7%）、「幼稚園・保育所の無償化」（27.8%）が続いている。

#### 第4章 調査結果の詳細（小学生調査）

居住地区別に上位5位をみると、「医療費の免除拡大」、「休日の雨天時の活動施設」、「子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等」はすべての地区で上位にあげられている。また、「児童館の整備」も幌別地区以外のすべての地区で上位にあげられている。この他、鷲別・美園地区、若草・新生地区、幌別地区では「幼稚園・保育所の無償化」、富岸・若山地区、幌別地区では「病院の充実」があげられ、地区よる違いもみられる。

居住地区別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=734	医療費の免除拡大 65.1	休日・雨天時の活動施設 50.7	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 45.6	病院の充実 32.3	児童館の整備 29.7
鷲別・美園地区 n=127	医療費の免除拡大 69.3	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 59.8	休日・雨天時の活動施設 53.5	児童館の整備 37.0	幼稚園・保育所の無償化 32.3
若草・新生地区 n=130	医療費の免除拡大 59.2	休日・雨天時の活動施設 55.4	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 45.4	児童館の整備 29.2	幼稚園・保育所の無償化 24.6
富岸・若山地区 n=109	医療費の免除拡大 65.1	休日・雨天時の活動施設 50.5	児童館の整備 42.2	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 40.4	病院の充実 32.1
幌別地区 n=311	医療費の免除拡大 68.5	休日・雨天時の活動施設 48.6	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 43.1	病院の充実 37.3	幼稚園・保育所の無償化 28.9
登別・富浦地区 n=40	医療費の免除拡大 57.5	病院の充実 52.5	子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等 42.5	休日・雨天時の活動施設 40.0	児童館の整備 35.0
登別温泉・カルルス地区 n=12	休日・雨天時の活動施設 58.3	病院の充実 41.7	医療費の免除拡大／児童館の整備／ 子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等		33.3

### （5）子育て支援に関する意見・要望（自由記述）

問17 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育て支援に関して意見や要望を自由に記述していただいたところ、483件の記入があった。以下は、分類ごとに意見を抽出して掲載したものである。1人で複数の内容にわたって記述されている場合もあるため、件数は延べ件数となる。

#### 子どもが安全に身体を動かしたり集えたりする場の確保（77件）

- ・川上公園など広い公園がもっとにぎやかで家族が集まれる遊具や噴水、コンビニがあるとうれしいです（苫小牧の駒澤大学近くの公園が利用しやすく子どもが小さい時によく行っていました）。
- ・専業主婦なのであまり参考にはならないと思いますが、八雲町にある噴火湾パノラマパークのように大きく遊具がたくさんあり、かつ雨天時でも遊べる公園があったらとてもよいと思います。
- ・休日など公園に行くとき人で混み合っている事があり、人が多すぎて危ないと思う事があるので、子どもが遊べる場所をもっと増やして欲しいです。
- ・小学生が外でのびのび体を動かせる施設がほしい。
- ・子どもが増えてきているわりには遊具の多い充実した公園が少なすぎる。冬場の室内での遊び場があればよいと思う。
- ・公園はもっと整備できないのでしょうか。遊具も少ないし、おもしろくないし、わざわざ室蘭や苫小牧の公園に連れて行くと子どもに言われます。
- ・公園の事で最近トイレがきれいになり、雑草もきれいになってくれて、とても景観は良いのですが、ボールを使ってはダメ、遊具は少なく、いまいち。広い公園なのにあまり意味がないように思います。結局子ども達は集まってもゲームをやったり（DS等）、シール帳を見たりしているだけで、室内と変わらない遊びをしています。公園とはどんな目的で作っているのですか。小さい幼児だけが遊ぶ事だけの目的なのでしょうか。小学生にはのびのび遊べる場所はないのでしょうか。
- ・気軽に室内でスポーツができる場所があるとよい。体育館等混んでいる。利用可能な場所をネット等でわかりやすく検索できるとよい。

#### 放課後児童クラブ、放課後子ども教室（68件）

- ・放課後子ども教室を他の地区でもやってほしいです。
- ・児童クラブ、児童館の数と同じくらい放課後子ども教室があると良いです。
- ・放課後児童クラブについて、私（母親）が仕事をしており、小学校の下校時間に間に合うように仕事を終わらせて帰宅するようにしていますが、月に2～3回だけ間に合うかどうか、ギリギリになる日があります。児童クラブは月に2～3回だけの利用というシステムがないようです。毎日びっちり利用していないけど、月に何回かだけ利用できるような回数券みたいなシステム（1回につきいくら）があると助かると思う事がよくあります。

## 第4章 調査結果の詳細（小学生調査）

- ・ 現在妹1年を児童クラブに預け、姉4年は留守番をしています。私の仕事が4時に終わる為、普段は大丈夫なのですが、夏、冬休みに妹の通う児童クラブに預けられると助かります。
- ・ 小学校の（放課後）児童クラブの金額が高いと思う。
- ・ 近くに放課後こども教室があれば利用したいのと思います。冬はなかなか体を動かす機会もなく、どうしてもゲーム時間が増えたり、ゴロゴロして過ごしがちなので、同年代の子と一緒に勉強したり、スポーツしたりして過ごせたらいいのと思います。
- ・ 放課後児童クラブの利用できる学年を6年生までにしてほしい。施設の関係でむずかしいのであれば、長期休業の期間でも1日くらいでもいいので、預けられる日がほしいです。そうやって意見を出しても間に合わないと思いますが。

### 医療・保健・健（検）診（48件）

- ・ 子どもの健診、3～4カ月のあと、10カ月でそのあとは1歳半までないので、もう少しあると子どもの成長もみられるのでいいと思います。
- ・ 夜間の急病などの対応等を電話で相談、質問、病院紹介等があると良いと思います。
- ・ 病院（小児科）は少なく、毎年すごくインフルエンザ時期は混んでいるので、病院の充実は必要性大だと思います（皮膚科、産婦人科に至ってはゼロなので、特に不便）。医療費の助成も小学生（通院）まで引き上げてもらえるとすごく助かります。
- ・ 医療費は中学卒業迄無償化をしてもらえたら助かる。
- ・ この季節になるとインフルエンザの予防接種の話題になる事がよくあるのですが、兄弟が多い家庭の負担額は大きく、中にはしない家庭もあると聞きます。せめてインフルエンザの予防接種費ぐらいは全額じゃなくても市の方でいくらか負担していただけるよう、早く対処していただきたいです。

### 児童館（43件）

- ・ 小・中学生の全学年が集える児童館を希望。
- ・ 児童館に本はマンガ本だけで…。もっと普通の図書を置いて欲しい。有名なマンガであっても殺される設定など、あまり…特に低学年には見せたくない。
- ・ 校区の真ん中に小学校、はじに児童館が1ヶ所ずつあるが家が離れている。児童同士で児童館で遊ぶとなると、移動距離が長くなってしまい、なかなか遊べないことがある。それぞれの家の真ん中にある学校、または学校の近くに児童館のように子どもが集まれる場所があればよいと思う。
- ・ 子どもが良く児童館を利用しています。スポーツ交流会やお祭り、ゲームなど子どもが楽しめるものをして下さり、感謝しています。
- ・ 近くに児童クラブがありますが、親が就労していなくても利用できる児童館があればいいなと思います。富岸小学校は児童が多いわりには、周辺の施設、設備が少ないと感じます。

### 保育所・幼稚園（36件）

- ・ 一時預かりが出来る保育園が、コロポックルだけというのが困る。位置的にはずれすぎる。利用しづらい。



- ・私は自営業なので子どもたちは保育所に預けていました。他の市に比べ、保育料が高いと聞いています。私自身も年収の割に保育料が高い印象を受けました。
- ・子どもが幼稚園に通っていた時、疑問に思う事がありました。幼稚園は毎月決まった金額を払います。でも夏休みと冬休みがあります。夏と冬1ヵ月ずつ、登園しないのに同じ額をムダに払っていた気がしていました。給食費込みなのに、長期休みの時は、家でごはんを食べますよね…。それは仕方ないとしても、長期休みの時に一時保育を利用すると更に高額（1日1,500円）な支払いをしなくてはなりません。よって気軽に一時保育を利用する事は出来ませんでした。幼稚園と保育園の一体化している所だった為、先生方の負担はそれほど大変ではないのではと、少し不満に思っていました。子育て支援が今より充実していく事を願います。
- ・幼稚園の長期休みの預かり保育を本当に早急に対応していただきたいと思います。子どもの預け先がないので、本当に困ります。

### 教育、学校・給食（27件）

- ・フリースクールのような教育施設があってもいいかなあと不登校の生徒・児童で勉強したい子のために…。中学生になるとクラスに1人は不登校がいる。いろいろな場合があり、複雑だけれど…。学校だけで対応が足りない気がする。不登校生徒・児童のケアマネージャー的な人とかもいいかも。むずかしいか。
- ・学校や児童クラブの先生達も一生懸命がんばってくれているからありがたいです。
- ・学校間の設備の格差が大きすぎると思います。子どもの人数のみであまり差がありすぎるのは変。同じ税金を払っているのに…。登別小学校は寒すぎます。学校を新しくとは言わないけれど、せめて暖房はキッチンとしてほしいです。席が廊下側だとかなり厚着です。今現在でもヒートテック、カイロ毎日必要です。これからもっと寒くなるとどうしたら良いのですか。
- ・給食費の未納問題がニュースでありましたが、登別市はどうなのでしょう。子どもの為に使うものだし、子ども手当から天引きしても良いと思います。

### 子育て全般（24件）

- ・高齢者の人口率が高い隣町の方が育児のしやすい町として市民が感じている事は事実で、どうして登別市が子育ての事業にもっと力を注いでくれないのだろう…と毎月広報を読みながら感じます。
- ・色々な支援策がありますが、皆が平等に受けられて楽しく子育てが出来るような環境になればいいなと思います。
- ・幼稚園で給食体験があったり、3年生のサケの採卵や温泉入浴体験など、他の地区の人から「うらやましい」と言われることも多い登別の子育て支援なので、ぜひ充実させてほしいです。
- ・それぞれ家庭によって事情は違うと思いますが、昔は子どもの面倒は親がみるのが当たり前だったと思います。最近はシングルマザー、シングルファザーも多く、子育て対策が必要な家庭もあるのはわかりますが、ぜいたくを望むあまり母親も子どもに負担をかけてまでフルタイムや夜勤までして働く人もたくさんいると思います。専業主婦も立派に仕事をしています。外に出て働かないとダメな人みたいな風潮を無くし、専業主婦の位置を確立させれば、少子化対策にもなるし、他人に子どもを預けることもしなくてすむのでは…と思います。

### 障害児、ひとり親家庭（20件）

- ・一人親（母子、父子）家庭への子育て支援を充実してほしい。父親サポートや母親サポート（子どもにとってのサポート）があれば、子どもにとってどれほど助かるか。母を助ける、父を助けるではなくて片親の子どもに対して母代わり、父代わりになってサポートしてくれる方がいたらとても助かると思う。1時間子どもとキャッチボールをしてくれる父親代行とか、1時間子どもと料理をつくる母親代行とか…。
- ・支援を必要としていた場合、支援する教員が少ない。又、全教員が支援教員と同等の知識を持ってほしい。
- ・保育所時代は加配をつけていただき、安心して仕事と子育てを両立して生活できましたが、小学生に入りまして放課後と長期休暇中に、障害を持つ息子が家庭以外に安心して過ごせる場所がない現実にとってもショックを受けました。ぜひとも障害児の放課後の居場所を作っていただきたいです。よろしくお願いします。

### 行政施策、子育てサービス・施設（19件）

- ・もっと一般企業で働く人の目線に立って考えてもらえないか。土・日が休みなのは公務員だけ、サービス業の多い町なのだからそういう人達への配慮がもっとあっていいと思う。
- ・ファミリー・サポート・センターの利用料金が高いので、もっと利用しやすい金額設定をして頂きたい。
- ・小さい子どもを連れての買い物はとても大変です。少しの間だけでも預けられる場所があればとても助かります。

### 情報・相談・窓口（19件）

- ・登別市に引っ越してきた時、子育て支援に関する情報がまったくなかった。引っ越してきたばかりで、誰に聞けばいいのかもまったくわからなかった。ある程度の年数がたって、友人が出来て「ああ、そういう支援もあったんだなあ…」と。引っ越しの手続き等で市役所に行った際に（案内とか）教えてもらえれば、登別市での子育ての不安も少しは解消されていたかもしれません。今後子連れ転入の人には、ご案内をお願いしたいと思います。
- ・他の市の友人と話すとき登別は子育てに関しては、とても良い所だと改めて感じます。この先市の中に目を向けて色々してくれるのはうれしいのですが、外の人にも知らせるのにも力を入れるのはどうでしょうか。あまり登別市の良さを知らない人が多いと感じます。
- ・小さなお子様ばかりではなく、思春期の子を持つ家庭や家族が気軽に相談できる対策もあればよいと思います。

### 経済的支援（手当・助成）（19件）

- ・子育て世帯へ毎年生活用品や学校用品などに使える割引クーポンみたいなものがあると助かる。
- ・4人の子どもを育てていますが、やはり子育てにお金がかかる事を実感しています。来年から消費税も上がるので、とても不安です。子ども1人の家と子どもが1人増えるとかかるお金も変わってくるので、少子化が進む今、子どもが多い家に対しての支援を考えてほしいです。

### 防犯・交通安全（12件）

- ・事件などもあり、登別の治安も悪くなっている気がする。子ども達が放課後安心して遊べる場所がほしい。小さい頃は親の手が必要で手をかけやすいが、小学生以上になると自分達の意思で動いたりするので、地域の手や目が必要。不審者情報などよくあるけど、その後どうなったのか分からないので不安。
- ・交通事故の危険性の高い所を整備（横断歩行、信号機）して欲しい。学校、町内会ともに危険と認識していても市が対策をしていないように見える。

### ファミリー・サポート・センター事業（12件）

- ・ファミリーサポートを利用しています。信頼できる方々にサポート支援して頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・正直ファミリーサポートで他人の家の中に、我が子一人を入れることには不安が強く抵抗があり、利用する気にはなりません。

### 図書館や文化施設（12件）

- ・図書館の充実（箱と中身共に）をする事により学力向上にも役立つはずですが。
- ・登別も科学館みたいなどころがあれば…といつも思っています。年間科学館に12回も行っています。近ければきっとすごく行っているかと（子どもの希望で）。料金が安いのがやっぱり利用しやすいです。

### 「家族の時間プロジェクト」（9件）

- ・今回「家族の時間プロジェクト」という取り組みをした結果、結局会社を休めるわけもなく、学校が休みの為、有料で他人へ預ける事になり、どうなのかと考えました。「企業等に理解とご協力を～」なんて言っていますが、パートで働く、又はシングルマザーで働く女性はそんな理由で休めないのが現状だと思います。市の活性化の為にもよい計画なのかもしれませんが、私の場合は余計に子どもに寂しい思いをさせたかもしれません。
- ・「家庭の時間づくりプロジェクト」施設利用券の条件をもっと考慮するべきだ。親が休めなかったりした場合は逆に子どもがかわいそう。

### 就労、企業・事業所（7件）

- ・都市部では母親、女性の社会進出が当たり前になってきていますが、この地域では「一時預かり」や「病児保育」の場がなく、祖父母等にいざという時に子どもをみてもらう等の協力なしでは、なかなか就労が難しいと思います。もっと女性が進出しやすい支援がある事を望みます。

### 子育て支援センター（6件）

- ・支援センターなども車がなければバス時間などの関係で行けない。支援センター開設の時間も中途半端すぎる。12時～14時の昼休みのため、全く利用価値がない。そのことを支援センターの先生に訴えても「子どもの生活リズムのためにはこの時間で充分」的なことを言われる。もう少し子どもと気軽に立ち寄れる施設になってほしい。

**住環境や交通網の整備（6件）**

- ・登別温泉に住んでいて共働きだと習い事など、バスを利用する事になります。道南バスだけだと不便なので、多少お金がかかっても市で巡回バスなどが出ているとうれしいです。本当に不便です。

**地域・交流（3件）**

- ・普段近所付き合いは少ないが、地域のお年寄りと子どもたちが接する場、機会を増やしてほしい。

**行事・イベント（2件）**

- ・白老町のお友達のうちは、町内のイベントが色々あり、老若男女問わず、充実していると聞くので、ぜひ登別も幼児だけではない、イベントなどで盛り上げてほしいです。自分も仕事が休める時など協力しますので、よろしくお願いします。

**今回のアンケート調査（15件）**

- ・アンケート調査で実施することで、すべての内容に変化を期待する訳ではありませんが、せめて部分的にでも子ども達のためにより方向へ変化して頂けることを望みます。
- ・子どもは大きくなっていくので、その時困ったことがあっても過ぎてしまえば問題にならなくなりますので、定期的にこのようなアンケートを取ることで、次の子育て世代の方に向けて改善できるようになればと思います。
- ・何度かこのようなアンケートに答えたことがありますが、未だに変わったなと感じることはありません。変わらないアンケートなら負担になるのでやめていただきたいです。早く出せと要求する意味もよくわかりません。

**その他（7件）**

## 第5章 調査票



# 登別市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

## 小学校就学前のお子さん用



このアンケート結果は、これからの登別の子育て支援に活かされます！！

登別市観光PRキャラクター「登夢(とむ)くん」

調査ご協力のお願い

日頃より、登別市のまちづくりにご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。登別市では、新たに「子ども・子育て支援事業計画」を作成することになりました。この調査は、市内にお住まいの小学校就学前のお子さん(平成19年4月2日以降生まれ)を持つ1,000世帯の保護者の方に、皆様が教育・保育について日頃お考えになっていることや、子育てに関する支援サービスの利用状況や今後のご希望などをお伺いし、計画に反映させることを目的に実施いたします。

ご回答いただいた内容は、市や国、北海道の「子ども・子育て支援事業計画」の検討にのみ利用させていただきます。回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にのれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の進捗をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月30日  
登別市長 小笠原 春一

### 【記入にあたってのお願い】

- ・ 質問項目の「あて名のお子さん～」とは、封筒のあて名のお子さんになります。
- ・ 設問や選択肢の「マーク」については、別紙「用語説明」をごらんください。
- ・ 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時は18時)でご記入ください。

ご回答いただくうえでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、次までお願いいたします。

登別市 保健福祉部 子育てグループ  
電話：0143-85-5634  
担当：吉賀・立藤

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の速送用封筒に入れて封をし、

**11月25日(月)までにご投函ください。**

## 1. お子さんご家族の状況

問1 お住まいの町名に○をつけてください。

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. カルス町  | 19. 新栄町 | 28. 富岸町  |
| 2. 上登別町  | 20. 新川町 | 29. 新生町  |
| 3. 登別温泉町 | 21. 砥山町 | 30. 栄町   |
| 4. 中登別町  | 22. 桜木町 | 31. 若草町  |
| 5. 登別東町  | 23. 川上町 | 32. 鷺別町  |
| 6. 登別本町  | 24. 青葉町 | 33. 美園町  |
| 7. 登別港町  | 25. 緑町  | 34. 上鷺別町 |
| 8. 利内町   | 17. 柏木町 | 26. 大和町  |
| 9. 富浦町   | 18. 富士町 | 27. 若山町  |

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。 □内に数字でご記入ください。

平成 □□年 □□月 □□日生まれ

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは全員で何人いらっしゃいますか。

2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

子どもの数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月 □□日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみただけでお答えください。(1つに○)

1. 母親 ( ) 2. 父親 ( ) 3. その他 ( )

問5 この調査票にご回答いただく方の年代をお答えください。(1つに○)

1. 10代	3. 30代	5. 50代	7. 70歳代以上
2. 20代	4. 40代	6. 60代	

問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

・配偶者とは、結婚している相手の方のことを言います。

1. 配偶者がいる ( ) 2. 配偶者がいない ( )

問7 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にやっている方はどなたですか。(1つに○)

1. 父母とも ( )	4. 主に祖父 ( )
2. 主に母親 ( )	5. その他 ( )
3. 主に父親 ( )	

## 2. お子さんの育ち環境

問8 日頃、お子さんを預かってもらえる親族や知人はいますか。

1. いる  
2. いない ⇒ 問9へ

<問8で「1(いる)」に○をした方にかがいます。>

問8-1 「預かってもらえる人」と「預かってもらう時の状況」をお答えください。

預かってもらえる人【複数選択可】	預かってもらう時の状況【複数選択可】
1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際は祖父母等の親族に預かってもらえる 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	1. 祖父母等が子どもを預かることについて、特に問題はない 2. 祖父母等の身体的負担が心配である 3. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が心配である 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 5. その他( )
1. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 2. 日常的に子どもを預かることについて、特に問題はない 3. 友人・知人の身体的負担が心配である 4. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である 5. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 6. その他( )	1. 知人・友人が子どもを預かることについて、特に問題はない 2. 友人・知人の身体的負担が心配である 3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい 5. その他( )

問9 子育てについて、気軽に相談できる人はいいますか。

1. いる  
2. いない ⇒ 問10へ

<問9で「1(いる)」に○をした方にかがいます。>

問9-1 相談相手はどのような方ですか。【複数選択可】

相談相手
1. 祖父母等や家族、親族 2. 友人や知人 3. 近所の人 4. 保育士 5. 幼稚園教諭 6. 小学教諭 7. 民生委員・児童委員 8. かかりつけの医師 9. その他( )

問10 子育てについて、気軽に相談できる場所はありますか。

1. ある  
2. ない ⇒ 問11へ

<問10で「1(ある)」に○をした方にかがいます。>

問10-1 相談できる場所はどのような場所ですか。【複数選択可】

相談場所
1. 中央・登別子育て支援センター※4 2. 富岸子育てひろば※10 3. 児童館等※9 4. 子育てサロン※3 5. 保健所 6. 市の子育て関連担当窓口 (子育てグループ、健康推進グループ、障害福祉グループ) 7. 児童サービスセンター「のぞみ園」※7 8. ことばの教室※5 9. 登別市総合相談支援センター「em」※8 10. その他( )

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

・周囲とは・・・例：身近な人、保育所、幼稚園、子育て支援センターや市の窓口など

.....

.....

.....

.....

.....



### 3. お子さんの保護者の就労状況

#### ◆母親の就労状況と今後の希望◆

問12 母親の現在の就労状況についてお答えください。

(父子家庭の場合は問13へ進んでください。  
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。  
フルタイムとは1週5日程度で1日8時間程度の就労を指します。

(1) 母親の就労状況 (1つに○)

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ 問13 へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問13 へ
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない ⇒ 問12 (2) へ
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である ⇒ 問12 (2) へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問12 (3) へ
6. これまで就労したことがない ⇒ 問12 (3) へ

<「パート・アルバイト等で就労している方」にうかがいます。>

(2) フルタイムへの希望はありますか。(1つに○)

1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない(理由: )
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

<「就労していない方」にうかがいます。>

(3) 就労したいという希望はありますか。

1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【どちらか選択】	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) 2. パートタイム、アルバイト等(「1.フルタイム」以外)
上記で2.を選じた方 希望する就労時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間

2. 1年以上先、一番下の子どもが  歳になったところに就労したい
3. 就労希望はあるが、実現できる見込みはない(理由: )
4. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

#### ◆父親の就労状況と今後の希望◆

問13 父親の現在の就労状況についてお答えください。

産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。  
フルタイムとは1週5日程度で1日8時間程度の就労を指します。

(1) 父親の就労状況 (1つに○)

1. フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ 問14 へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ 問14 へ
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない ⇒ 問13 (2) へ
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である ⇒ 問13 (2) へ
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問13 (3) へ
6. これまで就労したことがない ⇒ 問13 (3) へ

<「パート・アルバイト等で就労している方」にうかがいます。>

(2) フルタイムへの希望はありますか。(1つに○)

1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない(理由: )
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

<「就労していない方」にうかがいます。>

(3) 就労したいという希望はありますか。

1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態 【どちらか選択】	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) 2. パートタイム、アルバイト等(「1.フルタイム」以外)
上記で2.を選じた方 希望する就労時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間

2. 1年以上先、一番下の子どもが  歳になったところに就労したい
3. 就労希望はあるが、実現できる見込みはない(理由: )
4. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

**4. お子さんを妊娠、出産した時の状況**

＜すべての方にかかります。＞

問14 あて名のお子さんが生まれた後、育児休業を取得しましたか。また取得した場合の期間はどれくらいですか。当てはまる番号に○をしてください。

(1) 母親

1. 取得した(取得中) 2. 取得していない

1. 6か月未満 2. 1年未満 3. 2年未満 4. 3年未満

(2) 父親

1. 取得した(取得中) 2. 取得していない

1. 6か月未満 2. 1年未満 3. 2年未満 4. 3年未満

問15 あて名のお子さんの母親は、出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。(1つに○)

1. 離職した  
2. 継続的に働いていた(育児・転職も含む) ⇒ 問16へ  
3. 出産一年前にすでに働いていなかった ⇒ 問16へ

＜問15で「1」(離職した)に○をした方にかかります。＞

問15-1 どのような環境が整っていたら、お仕事を続けましたか。

(当てはまる番号すべてに○)

- 1. 認可保育所が確実に利用できる見込みがある
- 2. 祖父母や知人に預かってもらえる見込みがある
- 3. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の面立支援制度が整っている
- 4. 保育サービスと職場の面立支援制度がどちらも整っている
- 5. 職場が自宅から近い
- 6. 妊娠中・出産後の身体的負担がもつと少なかったら
- 7. 家族の理解があり協力を得られるなど、疲労する条件が整っている
- 8. いずれにしても離職した
- 9. その他( )

**5. 平日の定期的な幼稚園・保育所などの利用状況**

＜すべての方にかかります。＞

問16 あて名のお子さんは現在、幼稚園・保育所などを平日定期的に利用していますか。当てはまる番号に○をしてください。

・ここでいう「定期的」とは、月単位で利用していることを指します。

1. 利用している

2. 利用していない ⇒ 問16-3へ

＜問16で「1」(利用している)に○をした方にかかります。＞

問16-1 あて名のお子さんが年間を通じて平日定期的に利用している事業等をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

また、現在の週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間、利用時間帯をお答えください。なお、希望日数等もあわせてお答えください。

・利用時間の表記は、24時間制(例：8時00分～18時30分)でご記入ください。

1. 幼稚園									
現在	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分
希望	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分
2. 幼稚園の預かり保育 <sup>※16</sup>									
現在	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分
希望	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分
3. 認可保育所									
現在	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分
希望	週当たりの利用日数	( ) 日	( ) 日	1日当たりの利用時間	( ) 時間	( ) 分	( ) 分	( ) 分	( ) 分

➡ 続きます。

問16-2 利用している事業等の場所はどこですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 登別市内	2. 市外	市・町・村
---------	-------	-------

他市町村を利用している最も大きい理由【1つ選択】

1. 教育・保育の内容
2. 利便性
3. 利用料
4. 利用希望施設が無い
5. 勤務先がある
6. 通勤経路
7. 家族(祖父母など)などがいる
8. その他 ( )

＜問16で「2」(利用してはいない)に○をした方にかがいます。＞

問16-3 利用していない理由は何か。(当てはまる番号すべてに○)

1. 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の施設に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、施設の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため ( ) 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. 利用したいが、子どもに病気・障がい、発達不安などがあるため
10. その他 ( )

＜すべての方にかがいます。＞

問17 現在、利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんが、「定期的に」利用したいと考える幼稚園・保育所などの事業等がありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

・なお、これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生します。また、世帯の所得に応じて金額が変わります。

1. 幼稚園 (2万～3万円程度/月額)	8. その他認可外の保育施設 (3万～4万円程度/月額)
2. 幼稚園の預かり保育 <sup>※19</sup> (500～600円程度/回)	9. 居宅訪問型保育 <sup>※20</sup> (現在、市内にはありません)
3. 認可保育所 (3万～6万円程度/月額)	10. ファミリー・サポート・センター (500～600円程度/時間)
4. 認定こども園 (現在、市内にはありません)	11. 子ども発達支援センター「あいくる」 (1,000円程度/回)
5. 小規模な保育施設 (現在、市内にはありません)	12. 児童デイサービスセンター「のぞみ園」 (500～600円程度/回)
6. 家庭的保育 (保育ママ) <sup>※1</sup> (現在、市内にはありません)	13. その他 ( )
7. 事業所内保育施設 (企業等により異なる)	14. 特になし

<b>4. 事業所内保育施設</b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
<b>5. その他の認可外保育施設<sup>※11</sup></b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
<b>6. ファミリー・サポート・センター<sup>※19</sup></b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
<b>7. 子ども発達支援センター「あいくる」<sup>※7</sup></b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
<b>8. 児童デイサービスセンター「のぞみ園」<sup>※7</sup></b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
<b>9. その他 ( )</b>	
現在	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで
希望	週当たりの利用日数 ( ) 日 1日当たりの利用時間 ( ) 時間 利用時間帯 ( ) 時 から ( ) 時 分まで

<問17で「1」から「13」のいずれかに○をつけた方うかがいます。>

問 17-1 利用したい場所はどちらですか。

1. 登別市内	2. 市外	市・町・村
---------	-------	-------

➔

他市町村を利用している最も大きい理由【1つ選択】

1. 教育・保育の内容
2. 利便性
3. 利用料
4. 利用希望施設が無い
5. 勤務先がある
6. 通勤経路
7. 家族(祖父母など)などがいる
8. その他 ( )

**6. 土・日や長期休暇中の幼稚園・保育所などの利用希望**

<すべての方うかがいます。>

問 18 あて名のお子さんについて、土・日・祝日における定期的な幼稚園・保育所などの利用希望はありますか（一時的な利用は除く）。「土曜日」、「日曜日」、「祝日」ごとに当てはまる番号に○をつけてください。

また、利用希望がある方は時間帯も記入してください。

利用時間の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

・これらの事業等の利用には、一定の利用者負担が発生します。

土曜日	日曜日・祝日
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎週利用したい</li> <li>2. 月に1～2回利用したい</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     利用したい時間帯                      時 分から                      時 分まで                 </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ほぼ毎週利用したい</li> <li>2. 月に1～2回利用したい</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     利用したい時間帯                      時 分から                      時 分まで                 </div>
3. 利用する必要はない	3. 利用する必要はない

<問18の土曜日または日曜日・祝日で「2. 月に1～2回利用したい」  
1つでも○をつけた方うかがいます。>

問 18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	4. 息抜きのため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	5. その他 ( )
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	

<「幼稚園を利用されている方」にうかがいます。>

問 19 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中に幼稚園・保育所などの利用を希望しますか。希望する場合は利用したい時間帯を、(例) 09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	□ □ 時から □ □ 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	□ □ 時から □ □ 時まで

＜問19で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。＞

問19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| 1. 週に数回仕事が入るため       | 4. 息抜きのため |
| 2. 買物等の用事をまとめて済ませるため | 5. その他( ) |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため   |           |



※後半の質問

- 「7. お子さんの病気の際の対応について」
- 「8. 一時預かり等の利用状況」
- 「9. 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況」
- 「10. お子さんが来年(平成26年4月1日)から小学生になる方へ」
- 「11. 子育て支援全般について」

7. お子さんの病気の際の対応について

＜問16で幼稚園・保育所などを平日、定期的にご利用していると答えた方にかがいます。＞

＜利用していない方は、問21へお進みください。＞

問20 この1年間にあて名のお子さんが病気やケガのために通常の幼稚園・保育所などを利用できなかったことはありませんか。  
利用できなかったことがあった場合は「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数もお答えください。

利用できなかった ことの有無 【どちらか選択】	1年間の対処方法(複数選択可)	年間利用日数 【数字を記入】
1. あった	1. 父親が休んだ	□ □ 日
	2. 母親が休んだ	□ □ 日
	3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	□ □ 日
	4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
	5. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
	6. ベビーシッターを頼んだ	□ □ 日
	7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
	8. その他( )	□ □ 日
2. なかった		

⇒問20-1へ

⇒問20-2へ

**8. 一時預かり等の利用状況**

<すべての方にかかいます。>

問21 あて名のお子さんについて、一時預かり等の事業を利用したことがありますか。

利用の有無 【どちらか選択】	利用した事業 【複数選択可】	利用日数 【数字記入】
1. 利用した	1. 保育所の一時的預かり 2. 幼稚園の預かり保育 3. ファミリー・サポート・センター 4. 短期入所生活援助(ショートステイ) ※9 5. ベビーシッター 6. その他( )	<input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 日
2. 利用しなかった	1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 事業の質に不安がある 4. 利便性がよくない(立地や利用可能時間・日数など) 5. 利用料がかかる、高い 6. 利用料が分からない 7. 自分が事業の利用対象者かどうか分からない 8. 利用方法(手続き等)が分からない 9. その他( )	

<問20の「1年間の対処方法」で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」を選んだ方にかかいます。>

問20-1 その際、できれば「病児・病後児保育」※12を利用したいと思われましたか。思われた場合は年間の希望日数と利用したい事業をお答えください。

病気の際の意向 【どちらか選択】	希望日数 【数字記入】	利用したい事業 【複数選択可】
1. できれば利用しよと思った	<input type="text"/> 日 ~ <input type="text"/> 日 ← 問20で1、2と答えた日数の合計に対して	1. 小児科などに併設した施設で子どもを預かる事業 2. 保育所や幼稚園に併設した施設で子どもを預かる事業 3. ファミリー・サポート・センター(住民が身近な場所で預かる事業) 4. その他( )
2. 利用したいとは思わなかった		

<問20の「1年間の対処方法」で「3 から「8」のいずれかを選んだ方にかかいます。>

問20-2 その際、できれば父親のいずれかが仕事を休んで看たいと思われましたか。思われた場合は「仕事を休んで看たい」年間の希望日数をお答えください。

希望の有無 【どちらか選択】	希望日数 【数字記入】
1. 仕事を休んで看たい	<input type="text"/> 日 ~ <input type="text"/> 日 ← 問20で3~8と答えた日数の合計に対して
2. 休んで看ることが難しい	

問22 あて名のお子さんについて、幼稚園・保育所などや病気のための事業以外に、私用（買い物・習い事等）の目的で不定期に利用したい事業はありますか。

利用希望の有無 【どちらか選択】	利用目的 【複数選択可】	年間利用日数 【数字を記入】
1. 利用したい	1. 私用(買い物や兄弟姉妹や親の習い事等)、リフレッシュ目的 2. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等 3. 不定期の就労 4. その他( )	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. 利用する必要はない	1. 幼稚園や保育所など大規模施設で子どもを保育する事業 2. 地域子育て支援拠点など小規模施設で子どもを保育する事業 3. ファミリー・サポート・センターなど地域住民等が子育て支援等の近隣の場所で開催する事業 4. その他( )	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回

・地域子育て支援拠点: 保育所などを活用して育児に関する相談や指導を行うほか、子育てサークル養成のための講習会などを企画・運営する事業

問23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか。あった場合には「その際の対応」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

【どちらか選択】	その際の対応【複数選択可】	年間利用日数 【数字を記入】
1. あった	1. (同居者を含む)親族・知人にもてもらった 2. ファミリー・サポート・センター事業を利用した 3. 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した 4. 仕方なく子どもを同行させた 5. 仕方なく子どもだけで留守番させた 6. その他( )	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. なかった		

### 9. 子育て支援センターや子育てひろばの利用状況

問24 あて名のお子さんについて、現在、「中央・中央・登別子育て支援センター」や「富岸子育てひろば」を利用していますか。

① 「中央・登別子育て支援センター」

1. 利用している	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. 利用していない	

② 「富岸子育てひろば」

1. 利用している	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. 利用していない	

問25 今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいという希望はありますか。

① 「中央・登別子育て支援センター」

1. これから利用したい	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. 利用回数を増やしたい	
3. 特に希望はない	

② 「富岸子育てひろば」

1. これから利用したい	1週当たり <input type="text"/> 回 もしくは 1月当たり <input type="text"/> 回
2. 利用回数を増やしたい	
3. 特に希望はない	

<問24で「2. 利用していない」、または問25で「3. 特に希望はない」を1つでも選んだ方におたずねします。>

問25-1 現在利用していない、または今後特に希望はない理由をお答えください。  
(当てはまる番号すべてに○)

1. 利用したい内容の事業がない	6. 時間が無い
2. 質に不安がある	7. サービスの利用方法(手続き等)がわからない
3. 利便性(立地・時間・日数等)が悪く利用づらい	8. 子どもにも病気・怪しい・乗達の不安があるため
4. 自分がサービスの利用対象者になるかわからない	9. その他( )
5. どのような事業があるかわからない	10. 特に理由はない

問26 次の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。(1)～(10)の事業等ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

・お住まいの地域によっては、実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
(1) 母親(父親)学級、両親学級、育児学級	はい	はい	はい
(2) 保健師の情報・相談事業	はい	はい	はい
(3) 家庭教育に関する学級・講座	はい	はい	はい
(4) 教育相談センター・教育相談室	はい	はい	はい
(5) 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	はい	はい
(6) 子育ての総合相談窓口	はい	はい	はい
(7) 自治体発行の子育て支援情報誌	はい	はい	はい
(8) 子育てサロン	はい	はい	はい
(9) 児童発達支援センター※7	はい	はい	はい
(10) 総合相談支援センター※8	はい	はい	はい

**10. お子さんか来年(平成26年4月1日)から小学生になる方へ**  
(小学校就学後の放課後の過ごし方)

**該当しな方は問30へ進んでください。**

問27 お子さんが小学校に就学された後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいとお考えですか。低学年時(1～3年生)と高学年時(4～6年生)に分けて、それぞれ希望する場所と週当たりの希望日数をお答えください。

希望する場所(複数選択可)	週当たりの希望日数(数字を記入)	
	低学年時(1～3年生)	高学年時(4～6年生)
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(スポーツ、塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 児童館	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ※15	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から 時 分まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい 下校時から 時 分まで
7. 放課後子ども教室※14	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他(図書館、公園など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

問28 土曜日、日・祝日、長期休暇中(春・夏・冬休み)について、放課後児童クラブの利用希望をお答えください。

	利用希望の有無(1つ選択)
土曜日	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 小学生の間はずっと利用したい 3. 利用希望はない
日・祝日	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 小学生の間はずっと利用したい 3. 利用希望はない
長期休暇中(春・夏・冬休み)	1. 低学年(1～3年生)の間だけ利用したい 2. 小学生の間はずっと利用したい 3. 利用希望はない



問29 病氣や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にかかっています。  
療育※17の専門機関で放課後の保育を実施したら利用したいですか。

1. 利用したい	2. 利用したくない
----------	------------

問29-1 病氣や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にかかっています。  
放課後を安心して過ごすためには、どのような支援があればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。


**11. 子育て支援全般について**

<すべての方にかかいます。>

問30 子育てをしていると感じることはありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	まったく感じない
1. 子育てが楽しい	1	2	3	4
2. 子どもの顔をみると気持ちが安らぐ	1	2	3	4
3. 子どもがいると家庭が明るくなる	1	2	3	4
4. 自分の時間がとれず自由がない	1	2	3	4
5. 子育てに不安・負担を感じる	1	2	3	4
6. 仕事と子育ての両立が難しい	1	2	3	4

問31 登別市は子育てがしやすいまちだと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)

1. とてもしやすいまちだと思います	4. しやすいまちだとは思わない
2. どちらかといえば、しやすいまちだと思います	5. わからない
3. あまりしやすいまちだとは思わない	
<理由欄>	

問32 以前(3~5年前)に比べ、登別市の子育て環境は良くなったと思いますか。また、その理由についてご記入ください。(1つに○)

1. とても良くなったと思う	4. どちらかといえば悪くなったと思う
2. どちらかといえば良くなったと思う	5. 最近転入してきてよくわからない
3. あまり変わらない	6. わからない
<理由欄>	

問33 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。  
ある場合は該当する番号5つまでに○をつけてください。

登別市に望む子育て支援策	
1. 子育て支援センターの拡充	11. 幼稚園・保育所の無償化
2. 育児相談員の設置	12. 幼稚園での降園後の預かり保育※10
3. 保母館の充実	13. 幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育
4. 乳幼児検診の充実	14. 保育所の休日開所
5. 医療費の免除拡大	15. 保育所・幼稚園での一時預かり
6. 病児の充実	16. 子育て世帯への生活品の割引・優遇措置等
7. 妊婦検診の無償化	17. 要支援児童、要保護児童等の支援
8. 子育て教室	18. 育児休業取得など企業理解への支援
9. 児童館の整備	19. その他 ( )
10. 休日・雨天時の活動施設	

問34 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

**以上でアンケート調査は終了です。  
ご協力ありがとうございました。**

**同封の封筒に入れ、11月25日(月)までにご投函ください。**

別紙

用語説明

か行

※1 家庭的保育(保育ママ)	保育をする人の自宅で行われる小規模の保育事業です。 現在、市内にはありません。
※2 居宅訪問型保育	利用する人の自宅に保育士が訪問し子どもを預かる保育事業です。 現在、市内にはありません。
※3 子育てサロン	子育てを楽しみながら仲間を作り、互いに支え合う活動を行っています。 親子で参加し自由に遊んだり会話をしたりすることができ、また子育てを終えた世代の方たちや親同士で情報交換ができる場です。 市内には4か所の子育てサロンがあります。 【場所・開催日時】 ・西陵地区「どんぐり・ココロ」 「こぶしの家」(柏木町4丁目) 毎週木曜日 10時～12時 ・朝別地区「フレンド」 「ゆめみへる」(朝別町5丁目) 日曜日除く毎日 15時～17時 ・高別地区「と～ます」 「高別西園地集会所」(高別町5丁目) 毎月第3金曜日 10時～12時 ・桜本地区「登別子ども劇場ひよびよ」 「いふりたすけ愛、ともかなん」(桜木町3丁目) 毎週月・金曜日 10時半～13時 【利用料】なし
※4 子育て支援センター	親子に遊びの場を提供し、育児の情報交換や育児相談を行っている施設です。 市内には2か所の子育て支援センターがあります。 【場所】 ・中央子育て支援センター(富士保育所となり) ・登別子育て支援センター(コロボックルの森ない) 【開放日時】 祝祭日以外の毎週月・水・金 10時～12時 14時～16時 【利用料】なし
※5 ことばの教室	普段は普通学級で生活していますが、障がいに基づくとことばの遅れなどを自立に向けて学習する場です。 【場所】朝別小学校内(中央町6丁目) 【利用料】なし

さ行

※6 児童館	児童に健全な遊びの場を与え、その情懷を育み、健康を増進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする施設です。 小学校入学前のお子さんには保護者の方と一緒に利用できます。また小学生から高校生は自由に利用する事ができます。 市内には11か所の児童館があります。 【市内児童館】 ・富浜児童館(栄町2丁目) ・朝別児童館(朝別町4丁目) ・富士児童館(富士町1丁目) ・富浦児童館(富浦町1丁目) ・登別児童館(登別東町4丁目) ・朝別児童館(朝別町1丁目) ・常盤児童館(常盤町2丁目) ・美園児童センター(美園町5丁目) ・若菜児童館(若菜町) ・若草つとせセンター児童室(若草町4丁目) ・登別温泉公民館児童室(登別温泉町) 【開館日】日・祝祭日を除く毎日 【時間】 ・9時～17時(3月～10月) ・9時～16時(11月～2月) 【利用料】なし
※7 児童発達支援センター	心身の発達に心配のある児童(20歳未満)が通所し、日常の生活動作の指導や集団への通函訓練を行う施設です。 【場所・時間】 ・児童サービスセンターのぞみ園(朝別町3丁目) 平日9時～17時半 ・子ども発達支援センターあいくる (室蘭市母恋南町2丁目) 平日9時～17時 【利用料】あり ・保護者の所得に依り、利用料の負担があります。
※8 総合相談支援センター	障がい者の相談支援を通して、だれもが自分らしく、より豊かな生活が送れるようお手伝いをする施設です。 【場所・時間】 ・登別市総合相談支援センター-en(スん)(美園町2丁目) 平日9時～17時、土曜日9時～12時 【利用料】一部あり ・相談支援の利用料金はかかりません ・入浴1回200円 シャワー1回100円

**た**

※9 短期入所生活援助 (ショートステイ)事業	お子さんを養育している保護者が、病気などでお子さんをお預かりすることが一時的にできなくなったりした場合に児童養護施設等で養育する事業です。(原則7日以内) 【場 所】 ・わかさぎ学園(室蘭市母恋南町5丁目) ・室蘭言葉学園(室蘭市母恋北町1丁目) 【利用料】あり 2歳未満の児童 0円～5,350円 2歳以上の児童 0円～2,750円 ※所得に応じて利用料金が変わります。 子育て中の家庭を対象に気軽に集まって、交流を図ったり、また育児相談などを行う施設です。 【場 所】 亀田記念公園(かめだわんはーく)内 【開設日時】 毎週火・木・土 10時～15時 【利用料】なし
※10 子育てひろば	子育て中の家庭を対象に気軽に集まって、交流を図ったり、また育児相談などを行う施設です。 【場 所】 亀田記念公園(かめだわんはーく)内 【開設日時】 毎週火・木・土 10時～15時 【利用料】なし

**な**

※11 認可外保育施設	児童福祉法上の認可を受けていない保育施設で、乳児または幼児を保育することを目的とする施設です。 市内には2か所の施設があります。(事業所内保育所を除く) 【利用料】あり お子さん1人につき月額3万円～4万円程度
----------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**は**

※12 病児・病後児保育	保護者の就労などの理由により、病中もしくは病気の回復期にある児童を、家庭内で保育できない場合、病院、診療所、保育所などに付属して設置された専用スペースで一時的に行う保育事業です。 現在、市内にはありません。
※13 ファミリー・サポート・センター	「子育てを支援してほしい人」と「子育てを応援したい人」が会員となっており、地域ぐるみで育児を支援していく事業です。 【利用料】あり 通常(平日7時～21時) 1時間あたり 500円 早朝・夜間(通常以外の時間) 1時間あたり 600円 土・日・祝日 1時間あたり 600円 病児の場合 1時間あたり 600円
※14 放課後子ども教室	放課後や週末に教室等を開放し、学習やスポーツ等をして過ごすなど、子どもの居場所を提供する事業です。 市内には2か所の放課後子ども教室があります。 【場 所】 ・個別小学校(ひなわしメート) ・個別東小学校(はまなすメート) 【開設日】 週2回程度 【時 間】 ・通常 放課後～17時 ・長期休業日等 9時～16時(12時一時帰宅) 【利用料】なし

※15  
放課後児童クラブ

保護者の就労などにより風通し不在の小学校低・中学年等に適切な遊びや生活の場を提供する施設です。 市内の小中学校及び公共施設内7か所に設置されています。 【場 所】 ・富津児童クラブ(富津町2丁目) ・常盤児童クラブ(常盤町2丁目) ・芝罘児童クラブ(芝罘町1丁目) ・青葉児童クラブ(桜木町2丁目) ・鶴別西児童クラブ(片倉町5丁目) ・鶴別児童クラブ(鶴別町4丁目) ・登別児童クラブ(登別本町2丁目) 【開設日】 日・祝祭日を除く毎日 【時 間】 放課後～18時(土曜、長期休業中は8時から18時) 【利用料】 月額6千円(軽減される場合もあります。)
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**や**

※16 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して、お子さんを預かる保育事業です。 【利用料】あり 1回 500円程度
------------------	------------------------------------------------------

**ら**

※17 療育	障がいをもつお子さんが社会的に自立することを目的として行われる医療と保育のことです。
-----------	--------------------------------------------

## 登別市子ども・子育て支援に関するニース調査

### 小学生用



このアンケート結果は、これからの  
登別の子育て支援に活かされます!!!

登別市観光PRキャラクター「登夢(とむ)くん」

#### 調査ご協力をお願い

日頃より、登別市のまちづくりにご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。  
登別市では、新たに「子ども・子育て支援事業計画」を作成することになりました。  
この調査は、市内にお住まいの小学生(平成13年4月2日～平成19年4月1日生まれ)を持つ1,200  
世帯の保護者の方に、皆様が教育・保育について日頃お考えになっていることや、子育てに関する  
支援サービスの利用状況や今後のご希望などをお伺いし、計画に反映させることを目的に実施いた  
します。

ご回答いただいた内容は、市や国、北海道の「子ども・子育て支援事業計画」の検討にのみ利用さ  
せていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にのれたり、他の目的に  
利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいます  
ようお願い申し上げます。

平成25年10月30日  
登別市長 小笠原 善一

#### 【記入にあたってのお願い】

- ・ 質問項目の「あて名のお子さんへ」とは、封筒のあて名のお子さんになります。
- ・ 性別や選択肢のマークについては、別紙「用語説明」をごらんください。
- ・ 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時は18時)でご記入  
ください

ご回答いただくうえで不明な点、調査に関するお問い合わせは、次までお願いいたします。

登別市 保健福祉部 子育てグループ  
電話：0143-85-5634  
担当：登夢・工藤

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れて封をし、

**11月25日(月)までにご投函ください。**

## 1. お子さんご家族の状況

問1 お住まいの町名に○をつけてください。

- |          |         |         |          |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. カルス町  | 10. 新栄町 | 19. 片倉町 | 28. 富岸町  |
| 2. 上登別町  | 11. 幸町  | 20. 新川町 | 29. 新生町  |
| 3. 登別温泉町 | 12. 千歳町 | 21. 砥山町 | 30. 栄町   |
| 4. 中登別町  | 13. 幌別町 | 22. 桜木町 | 31. 若草町  |
| 5. 登別東町  | 14. 栄馬町 | 23. 川上町 | 32. 鷺別町  |
| 6. 登別本町  | 15. 常盤町 | 24. 青葉町 | 33. 美園町  |
| 7. 登別港町  | 16. 中央町 | 25. 緑町  | 34. 上鷺別町 |
| 8. 札内町   | 17. 柏木町 | 26. 大和町 |          |
| 9. 富浦町   | 18. 富士町 | 27. 若山町 |          |

問2 あて名のお子さんの学年をご記入ください。 内に数字でご記入ください。

小学校  年生

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは全員で何人いらっしゃいますか。

2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

子どもの数 人 末子の生年月 平成 年 月生れ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみられた関係で  
お答えください。(1つに○)

1. 母親  2. 父親  3. その他( )

問5 この調査票にご回答いただく方の年代をお答えください。(1つに○)

1. 10代	3. 30代	5. 50代	7. 70歳代以上
2. 20代	4. 40代	6. 60代	

問6 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

・ 配偶者とは、結婚している相手方のことを言います。

1. 配偶者がいる  2. 配偶者がいない

問7 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にやっている方はどなたですか。(1つに○)

1. 父母ともに <input type="checkbox"/>	4. 主に祖父母 <input type="checkbox"/>
2. 主に母親 <input type="checkbox"/>	5. その他( ) <input type="checkbox"/>
3. 主に父親 <input type="checkbox"/>	

## 2. 放課後の過ごし方について

問8 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。  
 お子さんには、放課後（平日の授業・クラブ活動など終了後）の時間をどのような場  
 所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいです  
 か。現状と希望について、1週当たりの日数をお答えください。

放課後を過ごす場所(複数選択可)	1週当たりの日数(数字記入)	
	週 日	週 日
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
3. 習い事(スポーツ、塾など)	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
4. ファミリー・サポート・センター※5	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
5. 児童館※1	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
6. 放課後児童クラブ※7	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ
7. 放課後子ども教室※6	下校時から <input type="text"/> 時まで	下校時から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
8. その他(図書館、公園など)	週 <input type="text"/> 日くらゐ	週 <input type="text"/> 日くらゐ

問9 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にかがいます。  
 放課後の時間を過ごす場所として、療育※9の専門機関を利用できるとしたら利用  
 したいですか。(1つに○)

1. 利用したい	2. 利用したくない
----------	------------

問9-1 病気や障がい、発達に不安のあるお子さんがいらっしゃる方にかがいます。  
 放課後を安心して過ごすためには、どのような場所やサポートがあればよいと  
 お考えでしょうか。ご自由にお書きください。

## 3. 放課後児童クラブの利用希望について

くまべての方にうかがいます。>

問10 現在利用している、していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日、  
 土曜日、日・祝日、長期休暇中（春・夏・冬休み）における、放課後児童クラブの  
 利用希望の有無と利用したい時間帯をお答えください。

・放課後児童クラブは両親が共働きであるなど、家庭において子どもを保育することが困難な  
 場合に利用でき、一定の利用料が発生します。  
 利用したい時間帯の表記は、24時間制（例：8時00分～18時30分）でご記入ください。

	利用希望の有無【1つ選択】	利用したい時間帯(数字記入)
<b>平日</b>	1. 週4日以上利用したい 2. 週1～3日利用したい 3. 利用希望はない	下校時から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
<b>土曜日</b>	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月1～2回利用したい 3. 利用希望はない	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
<b>日・祝日</b>	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月1～2回利用したい 3. 利用希望はない	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで
<b>長期休暇中 (春・夏・冬休み)</b>	1. 週4日以上利用したい 2. 週1～3日利用したい 3. 利用希望はない	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分まで

### 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問11 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気など）により、あて名のお子さんを日帰りまたは泊りがけて、家族以外に預けなければならないことはありませんか。あつた場合は、「その際の対処法」を選択し、それぞれの日数をお答えください。

【どちらか選択】	その際の対処法【複数選択可】	年間利用日数【数字記入】	
		日帰り	泊りがけ
1. あつた	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらつた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	2. 短期入所生活援助(ショートステイ)事業※2を利用した	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	3. 認可外保育施設※3 またはベビージンナー等を利用した	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	4. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	5. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	6. その他( )	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2. なかつた			

4

### 5. 病気の際の対応について

問12 あて名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのために小学校に通うことができず、特別な対応をとる必要性がありましたか。必要性があつた場合はこの「1年間の対処方法」を選択し、それぞれの利用日数をお答えください。(半日の場合も1日とカウントしてください。)

必要性的有無【どちらか選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	利用日数【数字記入】	
		⇒問12-1へ	
1. あつた	1. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	2. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	5. ベビージンナーを頼んだ	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2. なかつた	6. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	7. 仕方なく子どもだけで留守番させた	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
	8. その他( )	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

5

問 16 あなたが登別市に望む子育て支援策はありますか。  
ある場合は該当する番号5つまでに○をつけてください。

登別市に望む子育て支援策	
1. 子育て支援センターの拡充	11. 幼稚園・保育所の無償化
2. 育児相談員の設置	12. 幼稚園での降園後の預かり保育*
3. 保健師の充実	13. 幼稚園における夏休み・冬休み等の預かり保育
4. 乳幼児検診の充実	14. 保育所の休日開所
5. 医療費の免除拡大	15. 保育所・幼稚園での一時預かり
6. 病院の充実	16. 子育て世帯への生活用品の割引・優遇措置等
7. 妊婦検診の無償化	17. 妻支援児童、妻保護児童等の支援
8. 子育て教室	18. 育児休業取得など企業理解への支援
9. 児童館の整備	19. その他 ( )
10. 休日・雨天時の活動施設	

問 17 最後に、子育て支援に関してご意見・ご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

**以上でアンケート調査は終了です。  
ご協力ありがとうございました。  
同封の封筒に入れ、11月25日(月)までにご返函ください。**



**別紙**

**用語説明**

**さ行**

※1 児童館	児童に健全な遊びの場を与え、その情操を育み、健康を増進することにより、児童の健全育成を図ることを目的とする施設です。 小学生から高校生は自由に利用する事ができます。 市内には11か所の児童館があります。 【市内児童館】 ・常流児童館(栄町2丁目) ・鶴別児童館(鶴別町4丁目) ・富士児童館(富士町1丁目) ・高浦児童館(高浦町1丁目) ・登別児童館(登別東町4丁目) ・鶴別児童館(鶴別町1丁目) ・常盤児童館(常盤町2丁目) ・美園児童センター(美園町5丁目) ・青葉児童館(青葉町) ・若草つどいセンター(居室(若草町4丁目)) ・登別温泉公民館(登別温泉町) 【開館日】日・祝祭日を除く毎日 【時 間】 ・9時～17時(3月～10月) ・9時～16時(11月～2月) 【利用料】なし
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**た行**

※2 短期入所生活援助 (ショートステイ)事業	お子さんを養育している保護者が、病気などでお子さんを養育することが一時的にできなくなったりした場合に児童養護施設等で養育する事業です。(原則7日以内) 【場 所】 ・わかすき学園(室蘭市母恋南町5丁目) ・室蘭言葉学園(室蘭市母恋北町1丁目) 【利用料】あり 2歳未満の児童 0円～5,350円 2歳以上の児童 0円～2,750円 ※所得に応じて利用料金が異なります。
-------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**な行**

※3 認可外保育施設	児童福祉法上の認可を受けていない保育施設で、乳児または幼児を保育することを目的とする施設です。 市内には2か所の認可外保育所があります。(事業所内保育所を除く) 【利用料】あり お子さん1人につき月額3万円～4万円程度
---------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**は行**

※4 病児・病後児保育	保護者の就労などの理由により、病中もしくは病気の回復期にある児童を、家庭内で保育できない場合、病院、診療所、保育所などに付属して設置された専用スペースで一時的に行う保育事業です。 現在、市内にはありません。
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※5 ファミリー・サポート・センター	「子育てを支援してほしい人」と「子育てを応援したい人」が会員となって、地域ぐるみで育児を支援していく事業です。 【利用料】あり 通常(平日7時～21時) 1時間あたり500円 早朝・夜間(通常以外の時間) 1時間あたり600円 土・日・祝日 1時間あたり600円 病児の場合 1時間あたり600円
※6 放課後子ども教室	放課後や週末に教室等を開放し、学習やスポーツ等をして過ごすなど、子どもたちの居場所を提供する事業です。 市内には2か所の放課後子ども教室があります。 【場 所】 ・鶴別小学校(ひなわしメート) ・鶴別東小学校(はまなすメート) 【開設日】週2回程度 【時 間】 ・通常 放課後～17時 ・長期休業日等 9時～16時(12時一時帰宅) 【利用料】なし
※7 放課後児童クラブ	保護者の就労などにより居間不在の小学校低・中学年等に適切な遊びや生活の場を提供する施設です。 市内の小学校及び公共施設内7か所に設置されています。 【場 所】 ・常盤児童クラブ(常盤町2丁目) ・若草児童クラブ(若草町1丁目) ・青葉児童クラブ(桜木町2丁目) ・鶴別西児童クラブ(片倉町5丁目) ・鶴別児童クラブ(鶴別町4丁目) ・登別児童クラブ(登別本町2丁目) 【開設日】日・祝祭日を除く毎日 【時 間】 放課後～18時(土曜、長期休業中は8時から18時) 【利用料】月額6千円(軽減される場合もあります。)

**や行**

※8 幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して、お子さんを預かる保育事業です。 【利用料】あり 1回500円程度
-----------------	-----------------------------------------------------

**ら行**

※9 療育	障がいをもつお子さんが社会的に自立することを目的として行われる医療と保育のことです。
----------	--------------------------------------------



登別市子ども・子育て支援に関する

ニーズ調査報告書

平成26年5月

【編集・発行】登別市保健福祉部子育てグループ

〒059-8701 登別市中央町6丁目11番地

☎ 0143-85-2111